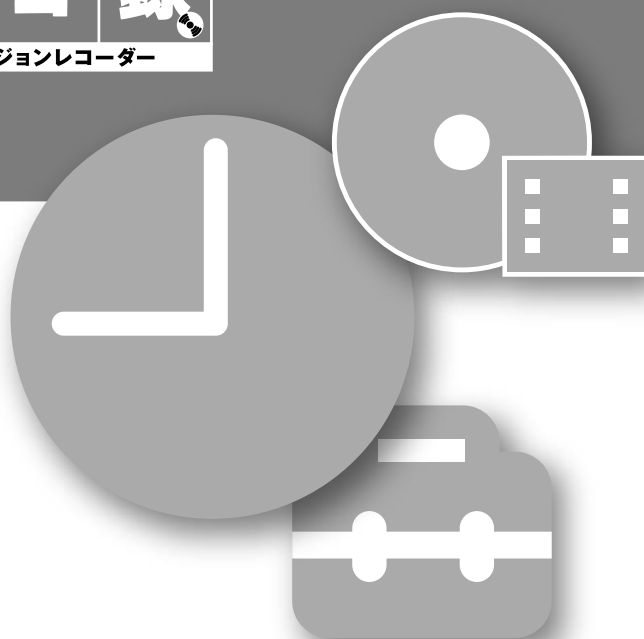


VHSビデオ一体型 DVDレコーダー

RDZ-D60V



取扱説明書 接続と準備



HDMI

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。この「取扱説明書」をよくお
読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管し
てください。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は全て、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

2～3ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。10ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

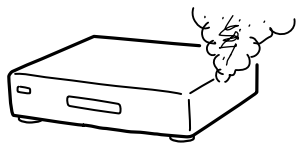
設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグを
コンセントから抜く
- ③ お買い上げ店または
ソニーサービス窓口
に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指のケガに
注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコン
セントから抜く



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んではいけません。
 - 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
 - 熱器具に近づけない。加熱しない。
 - 移動させるときは、電源プラグを抜く。
 - 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて交換をご依頼ください。



禁止

本機の上に水が入ったものや、重たいものを置かない

感電や故障の原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のある場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。



禁止

内部に水や異物を入れないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。



禁止

- 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

- 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて依頼ください。



分解禁止

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。



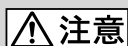
接触禁止

本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用する、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。



指示

**注意**

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



禁止

大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くとにご注意ください。



禁止

→呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。



禁止

トレイの前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。



禁止

本体の前に物を置かないでください。

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口やVHSテープの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



指のケガに注意

コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。



禁止

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。



禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

警告**電池の液が漏れたときは****素手で液をさわらない**

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。



接触禁止

必ず次の処理をする

→液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。



指示

→液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。



禁止

→万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

注意**指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない**

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

→マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



指示

→機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



指示

リモコンのフタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。



指示

→マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

はじめに

安全のために	2	必ずお読みください	8
最初にお読みください	6	使用上のご注意	10
付属品	7		

接続・準備

各入出力端子とおもな接続機器	14	ビデオデッキを接続する	36
接続のながれ	16	オーディオ機器を接続する	38
アンテナ線を接続する	20	アナログ接続で音声を楽しむ場合の接続	38
VHF/UHF(地上アナログ)放送を見る場合の		デジタル接続で音声を楽しむ場合の接続	39
接続(基本的な接続)	20	電話回線に接続する	40
VHF/UHF(地上アナログ)放送と地上デジタル		電源を入れるための準備とリモコンの	
放送を見る場合の接続	21	準備をする	42
BS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続		電源プラグをコンセントに接続する	42
(アンテナを単独で設置している場合)	23	リモコンに乾電池を入れる	42
VHF/UHF(地上アナログ)放送とBS・110度CS		リモコンの使いかた	42
デジタル放送を見る場合の接続		操作するための準備をする	43
(アンテナが共聴(混合)タイプの場合)	25	テレビと本機の準備をする	43
VHF/UHF(地上アナログ)放送と地上・BS・			
110度CSデジタル放送を見る場合の接続			
(アンテナが共聴(混合)タイプの場合)	27		
ケーブルテレビ(CATV)ボックスを使って			
ケーブルテレビ(CATV)を見る場合の接続	30		
本機とテレビを接続する	32		
基本的な接続(S映像・映像・音声入力端子付き			
テレビと接続する場合)	32		
よりきれいな映像で楽しみたい場合の接続			
(D映像入力端子付きテレビと接続する場合) ...	33		
よりきれいな映像で楽しみたい場合の接続			
(コンポーネント映像入力端子付きテレビと			
接続する場合)	34		
よりきれいな映像で楽しみたい場合の接続			
(HDMI入力端子付きテレビと接続する場合) ...	35		

設定

設定のながれ	46	地上デジタル放送の番組表取得設定をする	85
かんたん設定をする	47	地上デジタル放送の電子番組表(EPG)情報を 取得する	86
時計を合わせる(時刻設定)	54	リモコンに登録されているチャンネルを 確認する(BS・110度CSデジタル放送) ...	87
VHF/UHF(地上アナログ放送)の チャンネルを設定する	56	チャンネルボタンにBS・110度CSチャンネルを 追加登録する	88
地域番号で自動設定する	57	リモコンに登録されているチャンネルを 確認する(地上デジタル放送)	89
1局ずつ手動で設定する	59	チャンネルを追加設定する	92
地域番号早見表/一覧表	64	文字入力のしかた	93
地上アナログ放送の電子番組表(Gガイド) を表示するためのデータを取得する	70	文字入力画面について	93
地上・BS・110度CSデジタル放送を 視聴するための準備	71	文字を入力する	95
地上・BS・110度CSデジタル放送を 見るためには	72	プロバイダー設定を行う	97
B-CASカードについて	73	プロバイダー設定を行う	97
BS・110度CS共用アンテナの設定	74	ネットワーク設定を行う	99
アンテナレベルを確認する	75	ネットワーク設定を行う	100
電話回線の設定	76	優先接続設定	103
電話会社設定	78	リモコンモードを設定する	105
地域と郵便番号を設定する	79	リモコンで他機も操作できるようにする ...	107
地上デジタル放送を視聴するための準備 ...	81		
地上デジタル放送のチャンネルを自動設定する ...	83		
アンテナレベルを確認する	84		

ディスクについて

HDDやDVDに録画した番組の 構成について	110	本機の録画フォーマットとおもにできること ...	117
HDDについて	111	録画フォーマットの種類	117
本機で使えるディスクについて	112		
DVDについて	115		
ディスクの種類とフォーマットについて	115		
新品のディスクを使う前に(初期化)	116		
他のDVDプレーヤーで再生するときは (ファイナライズ)	116		

その他

接続に関する補足説明	120	設定に関する補足説明	122
アンテナとの接続に関する補足説明	120	よくあるお問い合わせ	123
テレビとの接続に関する補足説明	120	索引	125
外部機器との接続に関する補足説明	121		

最初にお読みください

- 取扱説明書は3冊あります。
 - 取扱説明書に記載しております「接続と準備」は本書を指します。
 - 取扱説明書に記載しております「操作編」は別冊の取扱説明書(操作編)を指します。
 - かんたん操作ガイドは、録画、再生、予約録画の基本的な操作について説明しています。
- 最初に本書「接続と準備」をお読みになってから「操作編」をお読みください。

- 取扱説明書では、「VHS ビデオ一体型 DVD レコーダー RDZ-D60V」を「本機」と表現しています。
- 取扱説明書では、ハードディスクを以降 HDD と表記しています。
- 取扱説明書に掲載しているイラストは説明のため簡略化していますので、実際の表示とは多少異なる場合があります。

「接続と準備」では、本機の接続方法と、最初に必要な設定を説明しています。

1

箱に入っているものを確認する

- 付属品を確認する

7

ページ

2

接続する

- アンテナ、テレビ、ビデオ機器、ケーブルテレビ(CATV)ボックス、オーディオ機器などと接続する

▼
電話回線に接続する

14~41

ページ

3

本機を使うための準備をする

- 本機の電源プラグをコンセントにつなぐ
- リモコンの準備をする
- 本機の電源を入れる

42~44

ページ

4

設定を行う

- かんたん設定をする
- 時計を合わせる
- VHF/UHF(地上アナログ放送)の設定をする
- デジタル放送の設定をする
- リモコンの設定をする

46~108

ページ

5

ディスクの基本を知る

- 本機で使えるディスクやディスクの持ちかたなどを知る

110~117

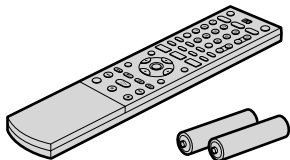
ページ

付属品

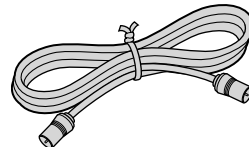
- 箱を開けて、本機と次の付属品が揃っているか確認してください。
- B-CASカードは開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。
開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

リモコン×1個、単3形(R6)乾電池×2個

使いかた→**42**ページ

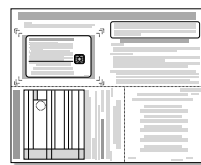


アンテナケーブル(約1m20cm)(両側F接栓ケーブル)×1本



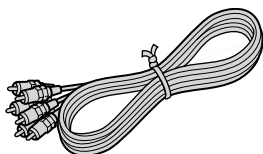
B-CASカード×1枚

使いかた→**73**ページ



(B-CASカードユーザー登録はがき、B-CASカード使用許諾契約約款付き)

映像・音声コード(約1m20cm)×1本



保証書

- 本機の保証書は、本機の梱包箱に貼り付けています。

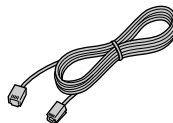
取扱説明書「接続と準備」(本書)

取扱説明書「操作編」(別冊)

かんたん操作ガイド(別冊)

テレホンコード(10m)×1本、モジュラーテレホンコードカブラー×1個

使いかた→**41**ページ



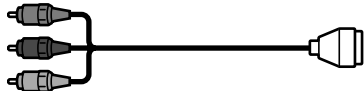
- S映像入力端子付きテレビと接続するときは、別売りのS映像コードをお使いください。



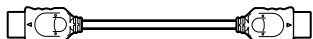
- D映像入力端子付きテレビと接続するときは、別売りのD映像ケーブル(D-D)をお使いください。



- コンポーネント入力端子付きテレビと接続するときは、別売りのコンポーネントビデオコード(D-3ピン)をお使いください。



- HDMI入力端子付きテレビと接続するときは、別売りのHDMIケーブルをお使いください。



必ずお読みください

内蔵ハードディスクについての重要なお願い

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しむことができます。その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動、衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ビデオやアンプなどの熱源となる機器の上に置かない。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しない。結露(露つき)の原因となります(10ページ)。
- 電源プラグをコンセントにさしたまま本機を動かさない。
- 電源が入っているときは、電源プラグをコンセントから抜かない。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源を切ってハードディスクが動作していないこと(表示窓に時計が表示され、録画状態、ダビング状態、データ取得状態でないこと)を確認してから、電源プラグをコンセントから抜く。
- 本機を移動する場合、コンセントから電源プラグを抜いて1分以上待ってから、振動、衝撃を与えずに行う。
- 故障の原因となるため、お客様ご自身でハードディスクの交換や増設をしない。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。ハードディスクは性質上長期的な記録場所として適しておりませんので、一時的な記録場所としてご利用ください。

内蔵ハードディスクの修理について

- 修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製・保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて消去されますのでご了承ください(著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます)。
- 弊社にて交換したハードディスクの保管や処分につきましては、弊社の責任のもとで、事業協力会社に作業を委託する場合を含め、第三者がハードディスク内の情報に不当に触れることがないように、合理的な範囲内の厳重な管理体制のもとで作業を行います。

本機の起動と終了について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に電源ボタンを押してから、実際に起動するまでと実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。

電源が切れる前やハードディスクが動作しているときにコンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

本機の電源について

- 衛星からの情報をハードディスクに取り込むため、電源プラグは差し込んだままにしてください。
- 移動などで電源プラグを抜く場合は、ハードディスク保護のため、高速起動設定を「しない」に設定してから電源を切った状態(本体表示窓の「電源切」の表示が消えた後、約2分程度待ってから)で行ってください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や、停電からの復帰後は、電源を「入」にしても、システム調整のため数十秒程度は動作しない場合があります。
- 電源を入れると冷却のためファンが回転します。
- 電源を切っても次のような場合は内部の電源が入っているため、冷却ファンが回転します。
 - ・電子番組表データの取得中は、本体内部の電源が入った状態となります。
 - ・「システムメニュー」→「設定」→「視聴・再生設定」→「チャンネル設定」→「地上デジタルチャンネル設定」で「番組表取得設定」が「する」に設定されているときは、電源を切ると番組表データを取得するため約30分本体内部の電源が入った状態となります。
 - ・「システムメニュー」→「設定」→「本体設定」→「高速起動設定」が「する(2時間のみ有効)」に設定されているときは、電源「切」の状態からすばやく起動できるようにするため、高速起動待機状態となります。そのため、冷却ファンが回転します。
 - ・本機がB-CASカードの内容を確認しているときは、本体内部の電源が入った状態となります。

録画について

- 本機で録画したDVD-RW(VRモード)またはDVD-R(VRモード)は、通常のDVDプレーヤーでは再生できません。DVD-RW(VRモード)またはDVD-R(VRモード)対応プレーヤーでのみ再生可能です。
- 大切な録画の場合には、DVD-R以外のディスクやハードディスクでかならず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。

個人情報の記録について

- 本製品内のハードディスク、メモリーには、各種機能の設定時に、IPアドレスなど、また、ご使用にあたってメール、番組購入履歴等が記録されます。
- 本製品内のハードディスク、メモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力された個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本製品を廃棄、譲渡等するときは、本製品内のハードディスク、メモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。消去の方法については「操作編」の「視聴・再生設定」→「個人情報初期化」をご覧ください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器等の記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償及びそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いません。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

著作権について

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本機は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペーパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は、本機とモニターを直接接続してお楽しみください。
- 本機は、録画防止機能(コピーガード)を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 本機は、無許諾のDVD(海賊版等)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなDVDを再生することはできません。
- 本機は、接続するテレビの画面に合わせて画郭サイズを選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画郭表示機能を利用して再生などを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先

〒107-0052

東京都港区赤坂5丁目4番6号赤坂三辻ビル2F

社団法人 私的録画補償金管理協会

TEL 03-3560-3107(代)

FAX 03-5570-2560

コピー防止信号について

別売りのチューナーで番組をご視聴の場合、番組にコピー防止信号が含まれている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

残像現象(画像の焼きつき)のご注意

本機のメニュー画面やDVDのメニューなどの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビまたは液晶テレビなどでは残像現象が起こりやすいのでご注意ください。

DVDレコーダーは、コンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、変な音やにおい、煙がでたときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。

Gガイドについて

- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドロゴ、Gコード、G-CODE、およびGコードロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. の日本国内における登録商標です。GガイドおよびGコードシステムは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはIC(集積回路)が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して差し込んでください。

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- 振動の多い所。
 - 直射日光が当たる所、湿度が高い所。
 - 極端に寒い所。
 - チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。(チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。)
- また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

DVDやCD、VHSテープを入れたまま本機を動かさないでください。DVDやCD、VHSテープを傷めることがあります。

結露(露つき)について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。

結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
電源を入れないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
電源を入れたまま放置してください。

結露があるときに、ご使用になると故障の原因になります。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

音量を調節するときは

再生を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。始めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。

ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

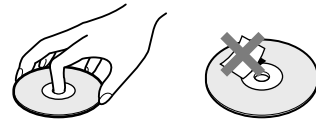


クリーニングディスクについて

レンズ用のクリーニングディスクやディスククリーナー(湿式またはスプレー式)は、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

DVDやCDの取り扱い上のご注意

- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。



- 直射日光が当たる所など温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。



- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 次のようなディスクを使用すると本機の故障の原因となることがあります。
 - ー 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスク
 - ー 紙やシールの貼られたディスク
 - ー セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

→ VHSテープの取り扱い上のご注意

次のようなVHSテープは使用しないでください。ヘッドの汚れや目詰まり、テープのからみなど、故障の原因になります。

- ー 粘着物、ジュースなどがついたテープ
- ー カビが生えたテープ
- ー つないだテープ
- ー 分解したテープ

VHSビデオヘッドのお手入れ

画像がザラついたり、不鮮明になるなどの症状が出たら、ヘッドが汚れています。

すぐに別売りの乾式クリーニングカセット(T-25CLD、T-25CLDRなど)で、ヘッドを連続1分間クリーニングしてください。クリーニングカセットは、お買い上げ店やお近くのソニーショップでお求めください。

VHSビデオヘッドを良い状態で維持するには

- 使用頻度の少ないVHSテープは、テープにカビやゴミなどが付着しないようにしてください。
 - ー 密閉したビニール袋などに入れて保管してください。
 - ー 3～4か月に1回程度、テープの初めから終わりまで早送り/巻き戻しをしてください。
- 古いテープや傷んだテープを使用しないでください。
- レンタルテープをお使いのときは、テープにカビや傷がないか確認してください。使用後はクリーニングカセットを使ってヘッドを約10秒間クリーニングしてください。
- 約20時間使ったら、ヘッドを10秒間クリーニングしてください。

🔔 ちょっと一言

- クリーニングカセットをすぐに手に入れられないときは、比較的新しい正常なテープを使って次の操作をすると、画像の乱れが軽減することがあります。再生▶ボタンを押します。次に早送り▶▶ボタンと巻き戻し◀◀ボタンを交互に10秒ずつ、4～5回繰り返して押します。
- 画像が出るクリーニングカセットをお使いになると、10数秒で終了のメッセージが出ることがあります。連続1分間クリーニングするには、停止せずに、そのままクリーニングを続けてください。

📌 ご注意

- クリーニングしても正常な画像に戻らないときは、ヘッドを繰り返しクリーニングします。ただし、3回以上繰り返さないでください。それでも正常にならないときは、テープの録画状態がよくないか、ヘッドの摩耗が考えられます。別のテープを再生しても、正常な画像が出ないときは、ヘッド交換が必要なため、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センター(裏表紙)にご相談ください。
- ソニー製湿式クリーニングカセット(T-25CLW)以外の湿式のクリーニングカセットは使わないでください。故障の原因になることがあります。ソニー製湿式クリーニングカセット(T-25CLW)は、定期的なクリーニングでの使用をおすすめします。お使いになるときは、クリーニングカセットの取扱説明書をご覧ください。
- 冷えた場所から暖かい場所に移すと、テープに水滴がつくことがあります。カビが生えたり、ビデオヘッドを傷める原因になりますので、乾燥するまで使用しないでください。

➡ ディスク(DVD・CD)・VHSテープの保存のしかた

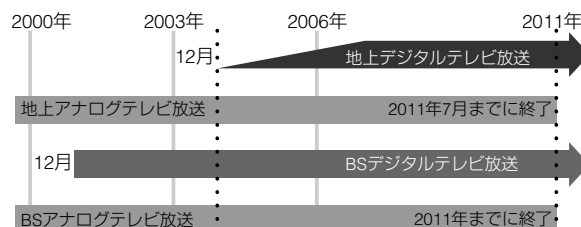
- ケースの中に入れ、立てて保存してください。
- 落としたり、強い振動やショックを与えないでください。
- 直射日光の当たる所や熱器具のそばなど温度の高い所、湿気の多い所は避けてください。
- ほこりの多い所およびカビの発生しやすい所は避けてください。
- VHSテープの巻きとり状態にムラのある場合は、もう一度巻きなおしてください。
- VHSテープに磁気(電気時計・磁石を使ったおもちゃなど)をもっているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、大切な記録が損なわれたりすることがあります。

本機のビデオ部について

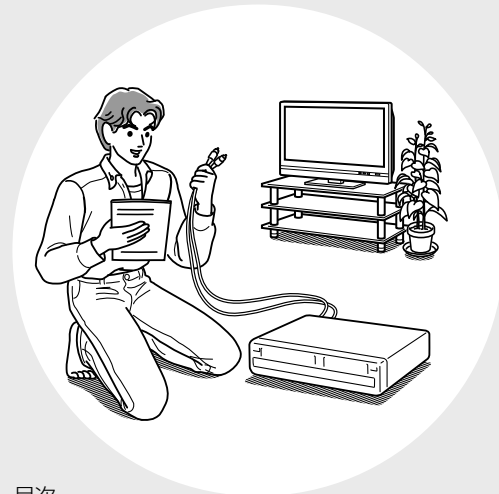
- 本機のビデオは**VHS**方式の長時間ビデオです。
VHSマークのついたVHSテープ以外は使用できません。
- 本機の3倍(EP)モードで録画したVHSテープは、標準(SP)モード専用**VHS**方式のビデオでは再生できません。
- S-VHSの市販ソフトは楽しめますが、本来の高画質は得られません。
- S-VHS録画はできません。

➡ アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。



接続・準備



目次

ページ

各入出力端子とおもな接続機器.....	14
接続のながれ	16
アンテナ線を接続する.....	20
VHF/UHF(地上アナログ)放送を見る場合の接続 (基本的な接続)	20
VHF/UHF(地上アナログ)放送と地上デジタル放送 を見る場合の接続	21
BS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続 (アンテナを単独で設置している場合)	23
VHF/UHF(地上アナログ)放送とBS・110度CSデジタル放送を 見る場合の接続(アンテナが共聴(混合)タイプの場合)	25
VHF/UHF(地上アナログ)放送と地上・BS・110度CSデジタル放送 を見る場合の接続(アンテナが共聴(混合)タイプの場合)	27
ケーブルテレビ(CATV)ボックスを使ってケーブルテレビ (CATV)を見る場合の接続	30
本機とテレビを接続する.....	32
基本的な接続(S映像・映像・音声入力端子付きテレビと 接続する場合)	32
よりきれいな映像で楽しみたい場合の接続 (D映像入力端子付きテレビと接続する場合)	33
よりきれいな映像で楽しみたい場合の接続(コンポーネント 映像入力端子付きテレビと接続する場合)	34
よりきれいな映像で楽しみたい場合の接続 (HDMI入力端子付きテレビと接続する場合)	35
ビデオデッキを接続する.....	36
オーディオ機器を接続する.....	38
アナログ接続で音声を楽しむ場合の接続	38
デジタル接続で音声を楽しむ場合の接続	39
電話回線に接続する	40
電源を入れるための準備とリモコンの準備をする	42
電源プラグをコンセントに接続する	42
リモコンに乾電池を入れる	42
リモコンの使いかた	42
操作するための準備をする.....	43
テレビと本機の準備をする.....	43

各入出力端子とおもな接続機器

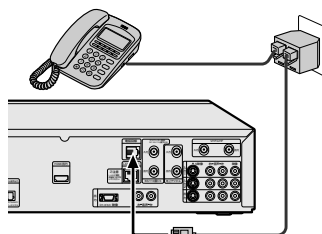
■ 各入出力端子にケーブルなどを接続するときは、ケーブルなどの接続端子を各入出力端子の奥までしっかり差し込んでください。

LAN端子

地上デジタル放送の双方向通信に使う端子です。インターネット接続環境があるご家庭で使用する場合などにLAN接続を行うと、電話回線に比べてより速い通信が可能となります。
(99ページ)

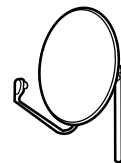
電話回線端子

付属のテレホンコードを接続します。(41ページ)



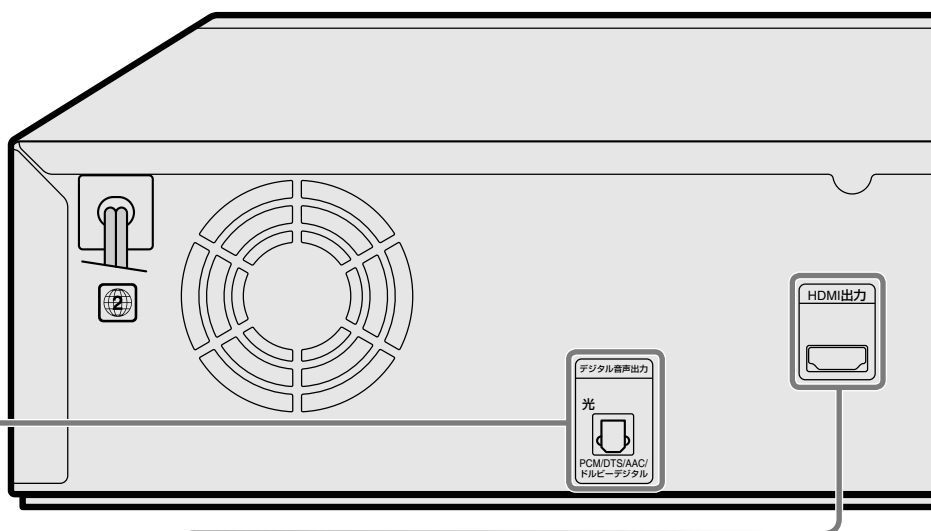
BS・110度CS入力端子

BS・110度CS共用アンテナを接続します。
(23～29ページ)



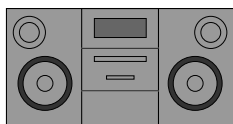
BS・110度CS出力端子

テレビのBS・110度CS入力端子に接続します。
(24・26・28・29ページ)



デジタル音声出力端子

光デジタル入力端子のあるAVアンプ、MDデッキ、オーディオデコーダーなどの機器と接続します。(39ページ)
※ 接続するときは、光デジタルケーブル(別売り)で接続します。



HDMI出力端子

映像と音声のデジタル信号を1本のケーブルでつなぐことができる新しい規格のデジタル専用端子です。(35ページ)
HDD/DVD/VHSの映像を出力できます。



D映像出力端子

D映像入力端子(コンポーネント映像入力端子)のあるテレビと接続します。
(33・34ページ)
HDD/DVD/VHSの映像を出力できます。
※ 接続するときは、D映像ケーブル(コンポーネントビデオコード/D-Dタイプ、別売り)と、音声コード(付属品または別売り)で接続します。



音声出力端子

D映像出力端子に接続したとき、音声コードを接続します。

地上デジタル入力端子

UHFアンテナ端子を接続します。
(21・22・27 ～ 29ページ)



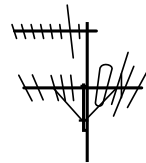
地上デジタル出力端子

テレビのアンテナ端子に接続します。
(21・22・29ページ)
地上デジタル放送と地上アナログ放送の両方を受信したいときは、地上デジタル出力端子をテレビのVHF/UHF入力端子に接続します。



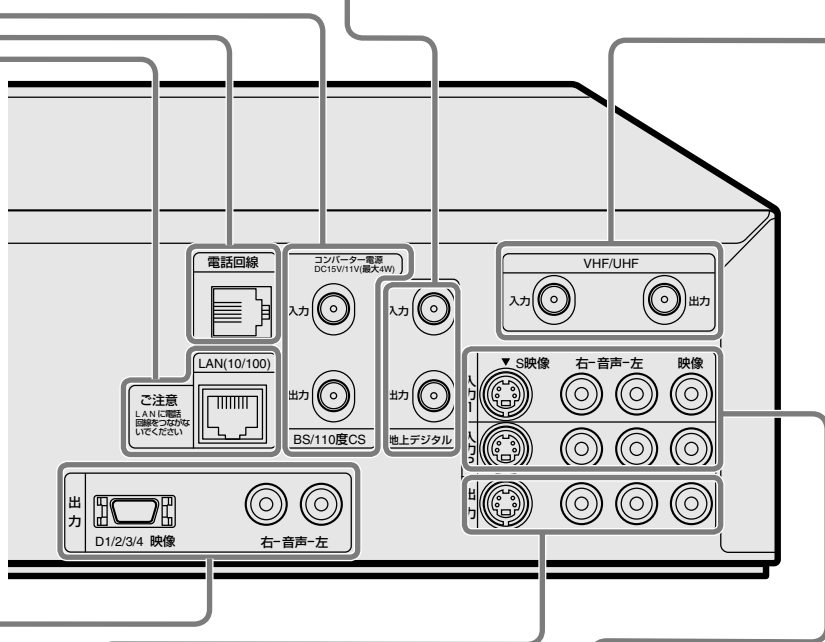
VHF/UHF入力端子

ご家庭のアンテナ端子、またはテレビに接続されていたアンテナ線を接続します。
(20 ～ 22・25 ～ 30ページ)



VHF/UHF出力端子

テレビのVHF/UHF入力端子に接続します。
(20 ～ 22・25 ～ 30ページ)



出力端子

- S映像出力端子
- 映像・音声出力端子

おもにテレビと接続します。
(32ページ)
HDD/DVD/VHSの映像・音声を切り換えて出力できます。

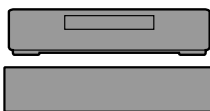


※ S映像入力端子のあるテレビと接続するときは、S映像コード(別売り)と、音声コード(付属品または別売り)で接続します。

入力1/入力2端子

- S映像入力端子
- 映像・音声入力端子

ケーブルテレビ(CATV)ボックス、ビデオデッキなどの機器と接続します。(31・37ページ)



※ 本機に内蔵しているビデオは、S-VHSタイプではありません。
※ S映像出力端子のある機器と接続するときは、S映像コード(別売り)と、音声コード(付属品または別売り)を接続します。

接続のながれ

■ ここでは、個人でアンテナを設置している場合の接続のながれを説明します。

step1 アンテナを 接続する

個人でアンテナを設置しているとき

アンテナの種類は？

BS・110度CS共用アンテナを設置していない。
(VHF/UHFのみ設置)

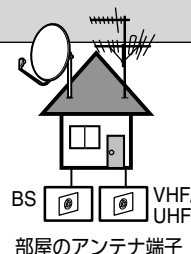
BS放送は視聴していない



BS・110度CS共用アンテナを個人で設置した。

(VHF/UHF信号とBS信号が、別々の端子で受信できる)

アンテナが別々



地上デジタル放送は？

視聴できない

視聴できる

テレビのタイプは？

VHF/
UHF
(地上アナログ)

20
ページ

ご覧になる
ページ

テレビのタイプは？

VHF/
UHF
(地上アナログ)
地上
デジタル
チューナー
内蔵

21
ページ

テレビのタイプは？

VHF/
UHF
(地上アナログ)
BS・110度
CSデジタル
チューナー
内蔵または
アナログBS
チューナー
内蔵

20
ページ
と
23
ページ

テレビのタイプは？

VHF/
UHF
(地上アナログ)
BS・110度
CSデジタル
チューナー
内蔵または
アナログBS
チューナー
内蔵
地上・BS・
110度CS
デジタル
チューナー
内蔵

21
ページ
と
23
ページ

21
ページ
と
24
ページ

22
ページ
と
24
ページ

step2

テレビと接続する（映像・音声コードで接続）

step3

その他の機器を 接続する

・ ビデオデッキを接続して使いたい



36ページの
接続をしましょう。

・ オーディオ機器を接続して使いたい



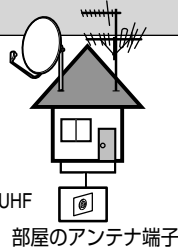
38ページの
接続をしましょう。

集合住宅などでアンテナが共聴タイプの場合は、18ページをご覧ください。

BS・110度CS共用アンテナを
個人で設置した。
(VHF/UHF信号とBS信号が混合され、
一つの端子で受信できる)

アンテナ信号が混合

BS/VHF/UHF



地上デジタル放送は？

視聴できない

視聴できる

テレビのタイプは？

**VHF/
UHF**
(地上アナログ)

BS・110度
CSデジタル
チューナー
内蔵または
アナログBS
チューナー
内蔵

25
ページ

26
ページ

テレビのタイプは？

**VHF/
UHF**
(地上アナログ)

BS・110度
CSデジタル
チューナー
内蔵または
アナログBS
チューナー
内蔵

地上・BS・
110度CS
デジタル
チューナー
内蔵

27
ページ

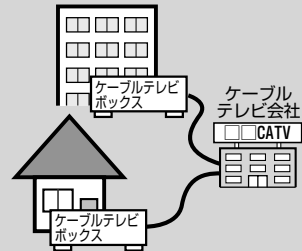
28
ページ

29
ページ

ご覧になる
ページ

30
ページ

ケーブル テレビ(CATV) ボックスを 使っている 場合



※ 本機で地上デジタル放送が受信できるケーブ
ルテレビ(CATV)の方式は、「CATVバススルー方
式」です。「トランスモジュレーション方式」に
は対応していません。

32ページの
接続をしましょう。

■ ここでは、集合住宅などでアンテナが共聴タイプの場合の接続のながれを説明します。

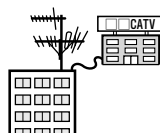
step1 アンテナを 接続する

集合住宅などでアンテナが**共聴タイプ**のとき

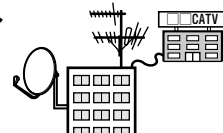
アンテナの種類は？

共聴タイプのアンテナ設備だがBS放送は配信されていない。また、個人でもBS・110度CS共用アンテナは設置していない。

BS放送は視聴していない



BS・110度CS共用アンテナを個人で設置した。



地上デジタル放送は？

視聴できない

視聴できる

テレビの
タイプは？

VHF/
UHF
(地上アナログ)

20
ページ

テレビのタイプは？

VHF/
UHF
(地上アナログ)
地上
デジタル
チューナー
内蔵

21
ページ

22
ページ

ご覧になる
ページ

地上デジタル放送は？

視聴できない

視聴できる

テレビのタイプは？

VHF/
UHF
(地上アナログ)
BS・110度
CSデジタル
チューナー
内蔵または
アナログBS
チューナー
内蔵

20
ページ
と
23
ページ

20
ページ
と
24
ページ

テレビのタイプは？

VHF/
UHF
(地上アナログ)
BS・110度
CSデジタル
チューナー
内蔵または
アナログBS
チューナー
内蔵
地上・BS・
110度CS
デジタル
チューナー
内蔵

21
ページ
と
23
ページ

21
ページ
と
24
ページ

22
ページ
と
24
ページ

step2

テレビと接続する（映像・音声コードで接続）

step3

その他の機器を 接続する

・ ビデオデッキを接続して使いたい



36ページの
接続をしましょう。

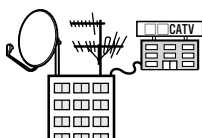
・ オーディオ機器を接続して使いたい



38ページの
接続をしましょう。

個人でアンテナを設置している場合は、
16ページをご覧ください。

共聴タイプのアンテナ
設備でBS放送も配信さ
れている。



地上デジタル放送は？

視聴できない

視聴できる

テレビのタイプは？

**VHF/
UHF**
(地上アナログ)

BS・110度
CSデジタル
チューナー
内蔵または
アナログBS
チューナー
内蔵

25
ページ

26
ページ

テレビのタイプは？

**VHF/
UHF**
(地上アナログ)

BS・110度
CSデジタル
チューナー
内蔵または
アナログBS
チューナー
内蔵

地上・BS・
110度CS
デジタル
チューナー
内蔵

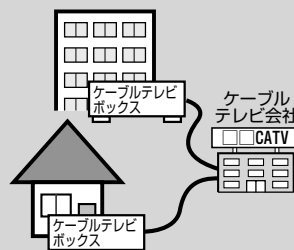
27
ページ

28
ページ

29
ページ

ご覧になる
ページ

ケーブル テレビ(CATV) ボックスを 使っている 場合



※ 本機で地上デジタル放送が受信できるケーブ
ルテレビ(CATV)の方式は、「CATVパススルー方
式」です。〈「トランスモジュレーション方式」に
は対応していません。〉

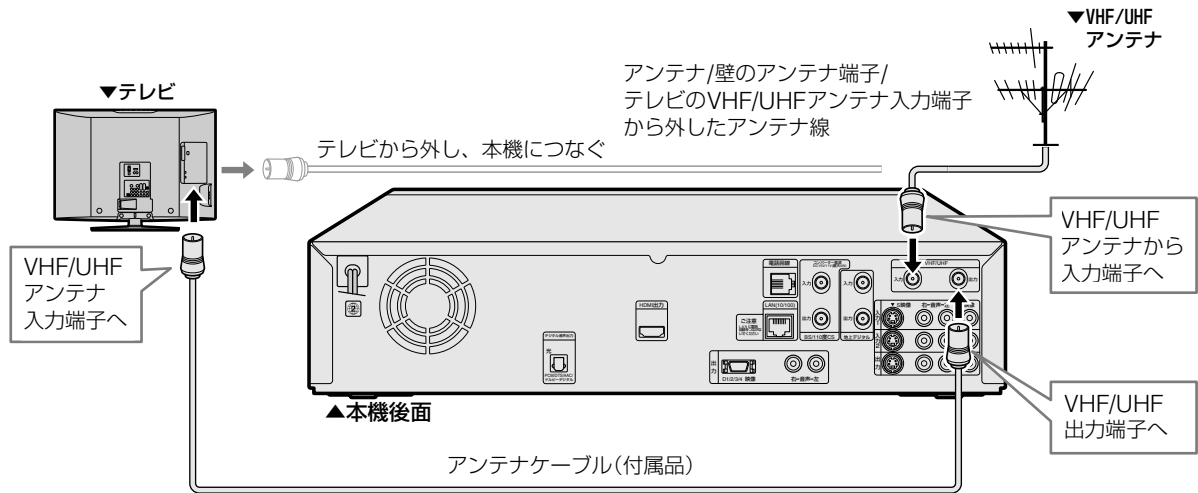
30
ページ

32ページの
接続をしましょう。

アンテナ線を接続する

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- アンテナケーブルの端子は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。

VHF/UHF(地上アナログ)放送を見る場合の接続(基本的な接続)



部屋のアンテナ端子や、テレビから外したアンテナ線、テレビのアンテナ入力端子の種類によりアンテナ線の加工が必要となります。下記を参考に本機やテレビと接続します。

VHF/UHFアンテナ線と本機との接続

本機の入力端子へ接続します。

- VHF/UHF混合または単独のアンテナ線 (F型コネクター付きのとき) そのまま接続します。

(F型コネクターなしのとき)
アンテナコネクター(別売り EAC-29Aなど)を取り付けます。

(フィーダー線の場合)
アンテナコネクター(別売り EAC-68など)を取り付けます。

- VHF/UHFが別々のアンテナ線
混合器(別売り EAC-68など)を取り付けます。

アンテナコネクター(別売り EAC-29Aなど)

アンテナ線との
接続が終わったら、
テレビと接
続します。

本機とテレビとの接続

本機の出力端子へ接続します。

※テレビの端子の図は一例で
す。テレビによってアンテナ
端子の形状が異なります。

- VHF/UHF混合のテレビの場合
付属のアンテナケーブルをそのまま
接続します。

- VHF/UHF端子が別々のテレビの場合
分波器(別売り EAC-44Aなど)を
取り付け、接続します。

- VHF/UHF端子が別々で、VHF端子が
留め金固定式のテレビの場合
分波器(別売り EAC-44Aなど)を
取り付け、接続します。

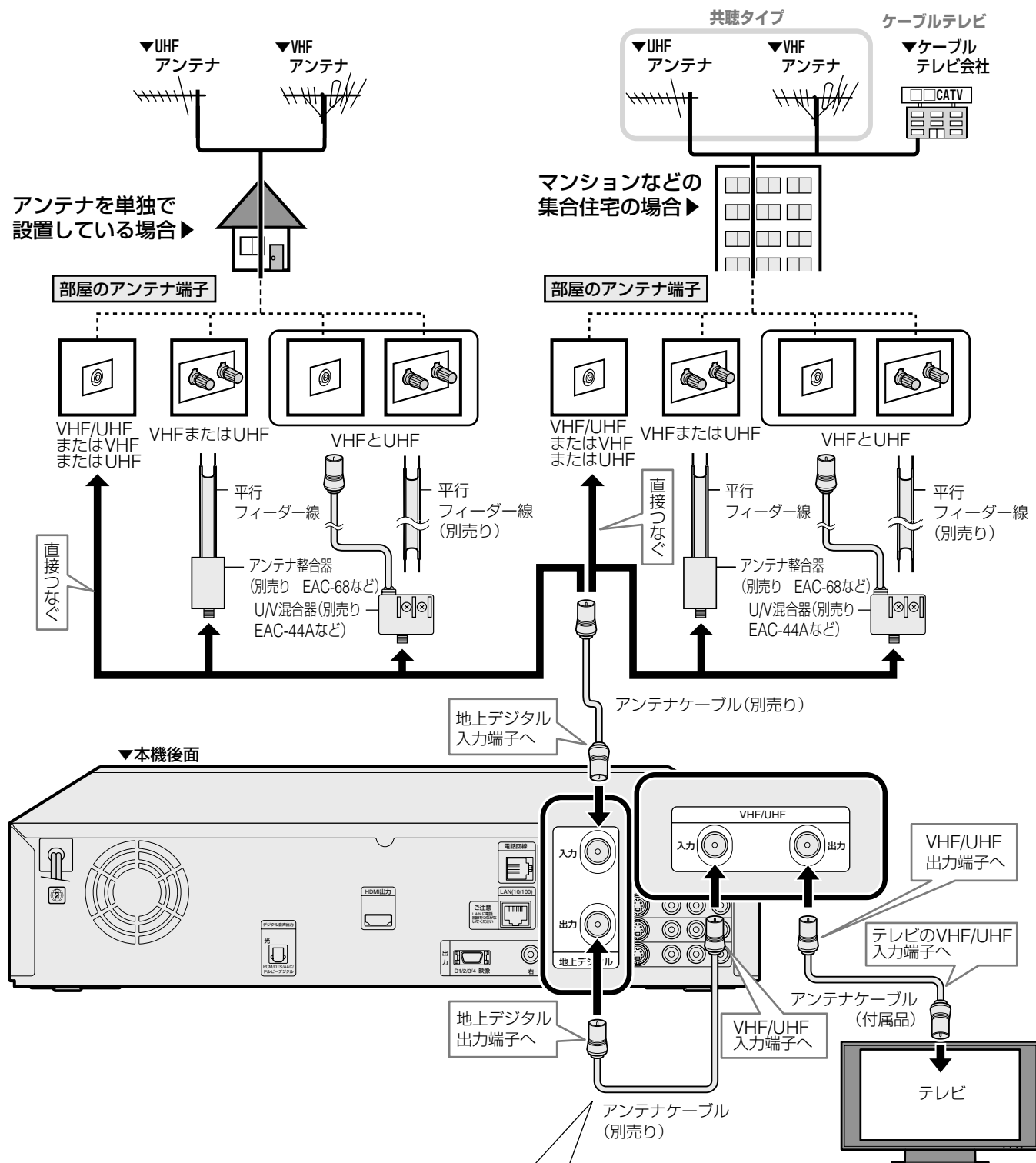
の中は市販品が必要です。

ちょっと一言

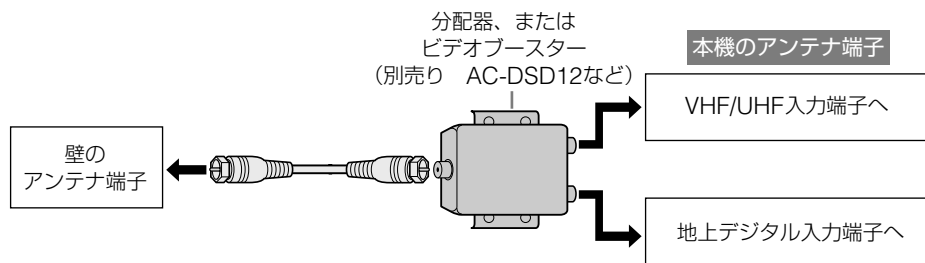
- アンテナ線がF型コネクターのついていない同軸ケーブルのときは、先端を加工してアンテナコネクター(別売り)を取り付けます。同軸ケーブルの先端加工のしかたと、アンテナコネクターの取り付け例について、図解の説明があります。120ページをご覧ください。

VHF/UHF(地上アナログ)放送と地上デジタル放送を見る場合の接続

→ 地上デジタルチューナーがないテレビをお使いの場合

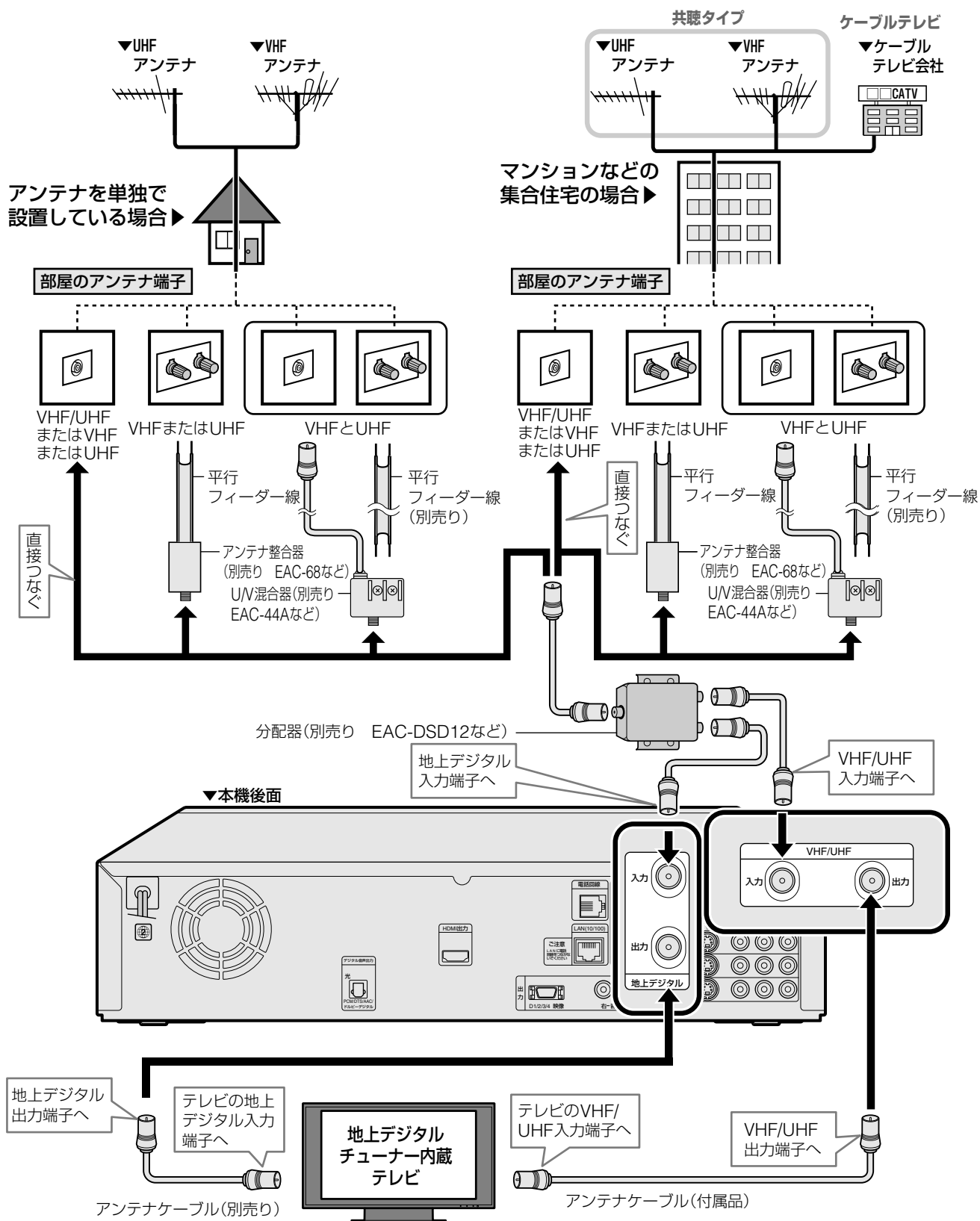


上記の接続で地上アナログ放送(VHF/UHF放送)を視聴していて映りが悪いときは、市販のアンテナ分配器またはビデオブースターを使ってアンテナを接続してください。(地上デジタル出力端子にはアンテナ線を接続する必要はありません。)



VHF/UHF(地上アナログ)放送と地上デジタル放送を見る場合の接続

→ 地上デジタルチューナー内蔵テレビをお使いの場合



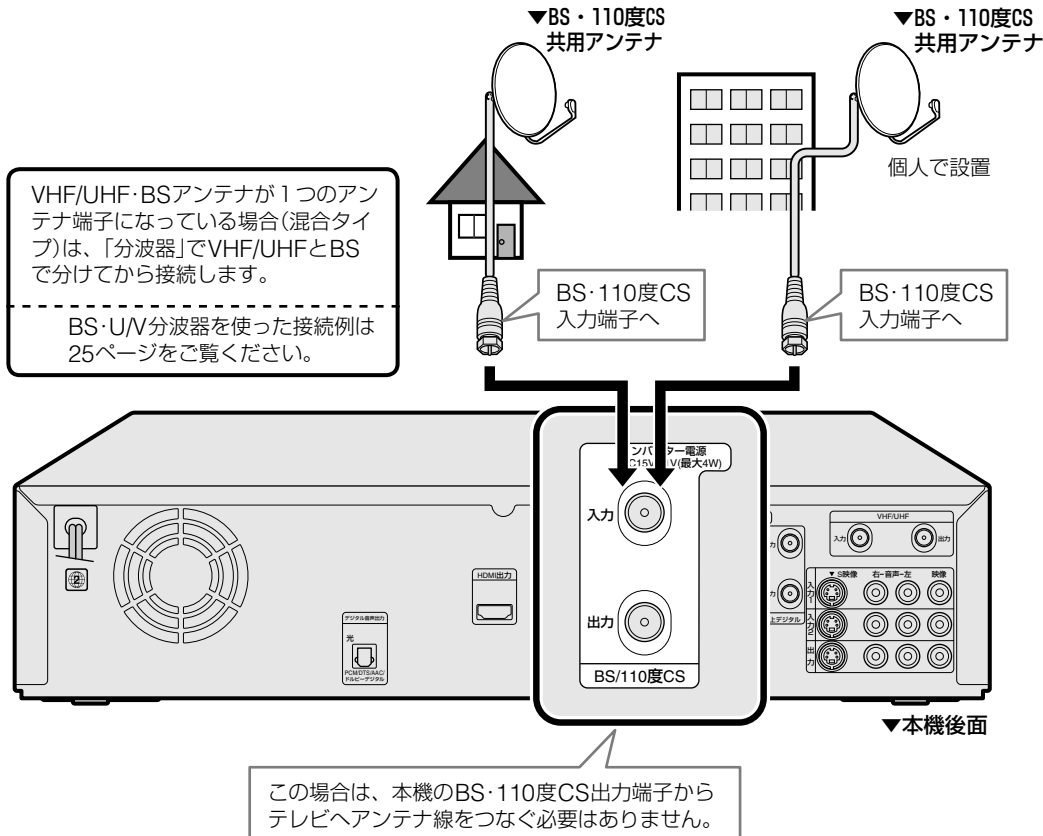
BS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続 (アンテナを単独で設置している場合)

→ BS・110度CSデジタルチューナー(BSチューナー)がないテレビをお使いの場合

- BS・110度CSデジタル放送を見るためには、BS・110度CS共用アンテナをお使いください。
- アンテナとの接続には、「BS・110度CS放送用同軸ケーブル(別売り)」をお使いください。「BS・110度CS放送用同軸ケーブル」は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応しているもの(S-5C-FBなど)をお使いください。

▼アンテナを単独で 設置している場合

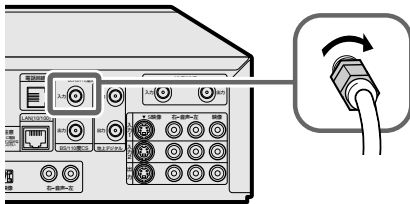
▼マンションなどの集合住宅で、 アンテナは個人で設置している場合



→ BSアンテナ接続時に気をつけてほしいこと

F接栓の取り付けについて

アンテナ線は、同軸ケーブルにF接栓を接続してご使用ください。



F接栓を取り付けるときは、工具で強く締めつけしないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。

BSアンテナの電源について

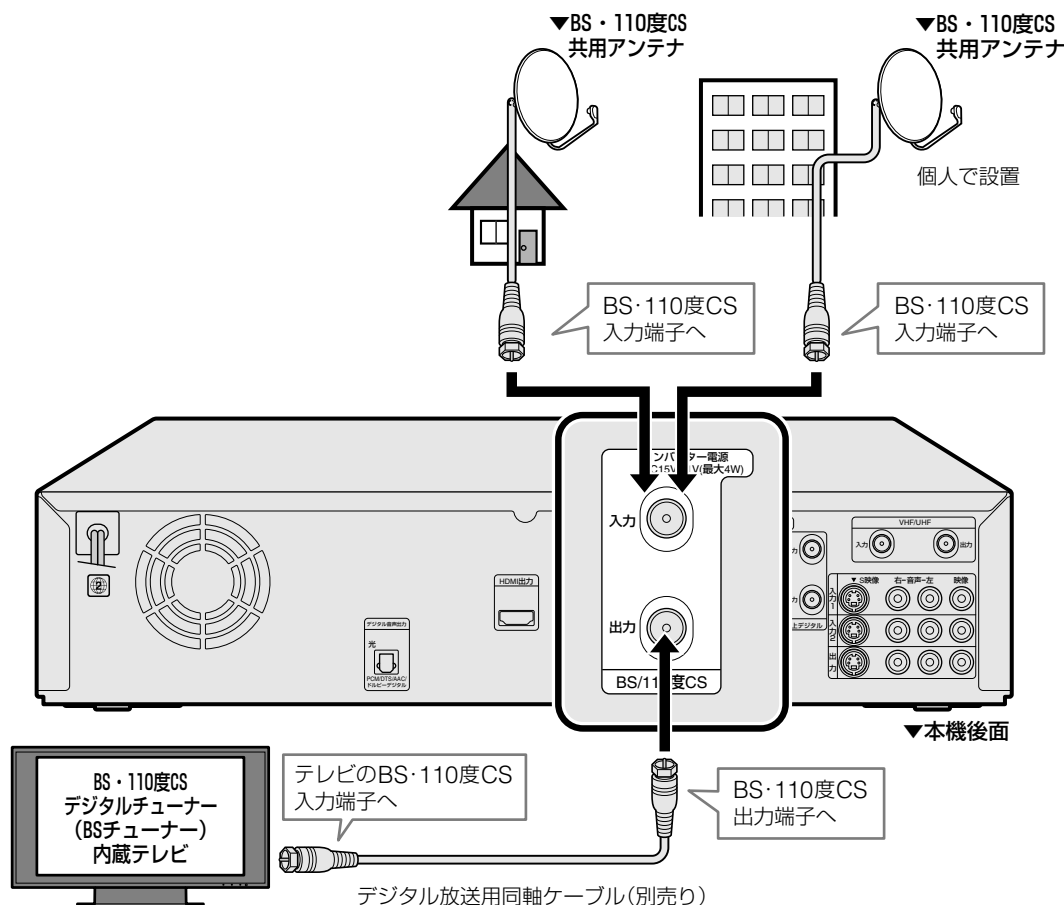
- 本機のBS・110度CS入力端子は、BS・110度CSアンテナに電源を供給するはたらきをしています。
- かんたん設定で「電源入」を設定したときやBS・CSアンテナ電源設定(75ページ)が「電源入」になっているとき、本機からBS・110度CSアンテナに電源が供給されます。
- BS・110度CSアンテナを接続するときは、必ずBS・110度CSアンテナ電源を「切」にしてください。(工場出荷時は「切」に設定されています。)
- 放送局との自動通信について……本機は電源「切」(待機状態)のとき、放送局との通信(契約情報など)のため、自動的に電源が入り動作することがあります。通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」(待機状態)に戻ります。

BS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続 (アンテナを単独で設置している場合)

→ BS・110度CSデジタルチューナー(BSチューナー)内蔵テレビをお使いの場合

- BS・110度CSデジタル放送を見るためには、BS・110度CS共用アンテナをお使いください。
- アンテナとの接続には、「BS・110度CS放送用同軸ケーブル(別売り)」をお使いください。「BS・110度CS放送用同軸ケーブル」は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応しているもの(S-5C-FBなど)をお使いください。

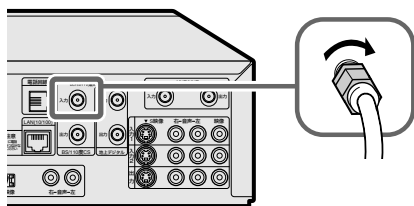
▼アンテナを単独で設置している場合 ▼マンションなどの集合住宅で、アンテナは個人で設置している場合



→ BSアンテナ接続時に気をつけてほしいこと

F接栓の取り付けについて

アンテナ線は、同軸ケーブルにF接栓を接続してご使用ください。



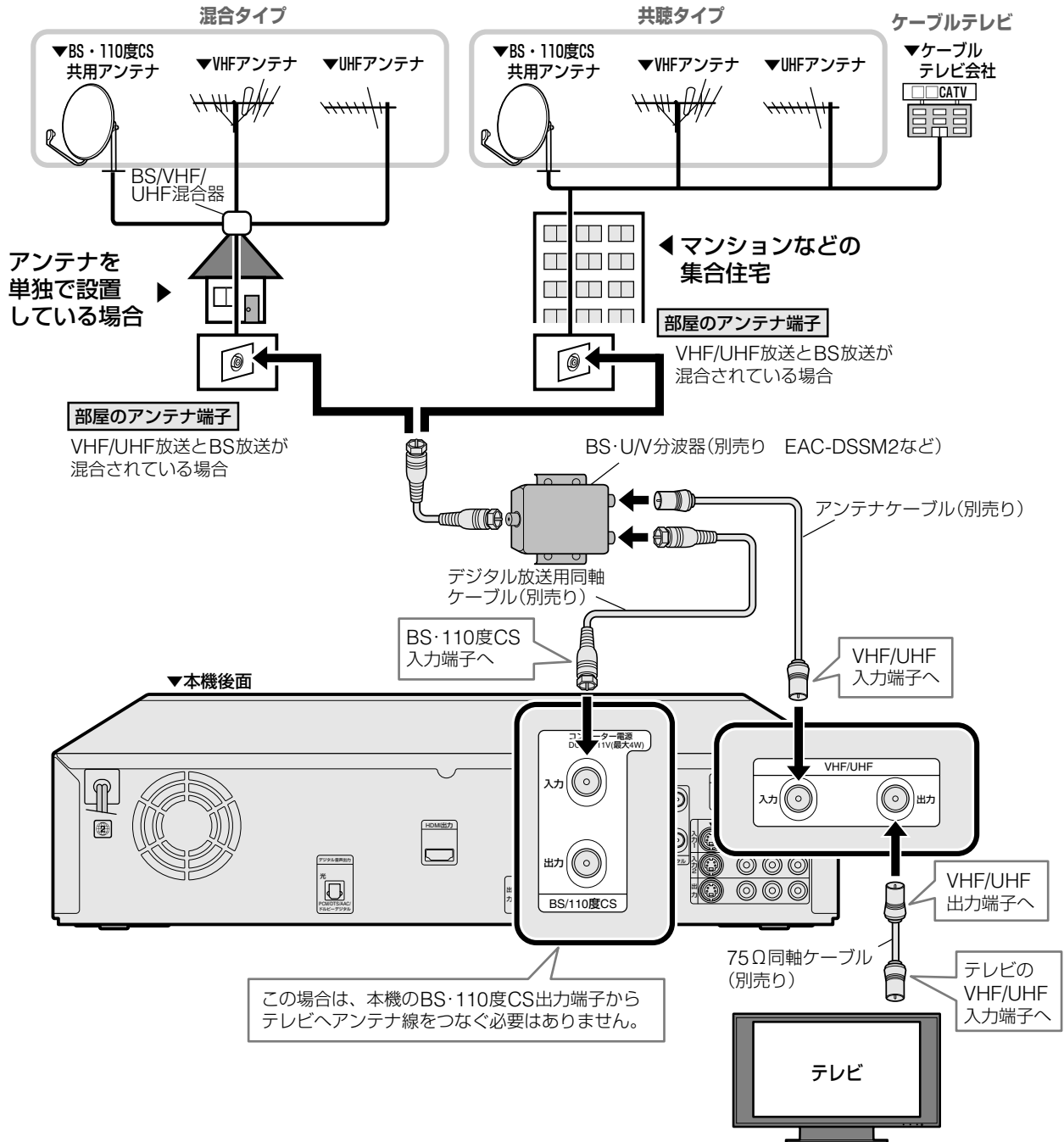
F接栓を取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。

BSアンテナの電源について

- 本機のBS・110度CS入力端子は、BS・110度CSアンテナに電源を供給するはたらきをもっています。
- かんたん設定で「電源入」を設定したときやBS・CSアンテナ電源設定(75ページ)が「電源入」になっているとき、本機からBS・110度CSアンテナに電源が供給されます。
- BS・110度CSアンテナを接続するときは、必ずBS・110度CSアンテナ電源を「切」にしてください。(工場出荷時は「切」に設定されています。)
- 放送局との自動通信について……本機は電源「切」(待機状態)のとき、放送局との通信(契約情報など)のため、自動的に電源が入り動作することがあります。通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」(待機状態)に戻ります。

VHF/UHF(地上アナログ)放送とBS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続 (アンテナが共聴(混合)タイプの場合)

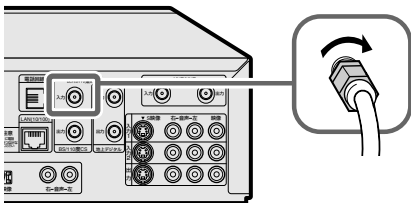
→ BS・110度CSデジタルチューナー(BSチューナー)がないテレビをお使いの場合



→ BSアンテナ接続時に気をつけてほしいこと

F接栓の取り付けについて

アンテナ線は、同軸ケーブルにF接栓を接続してご使用ください。



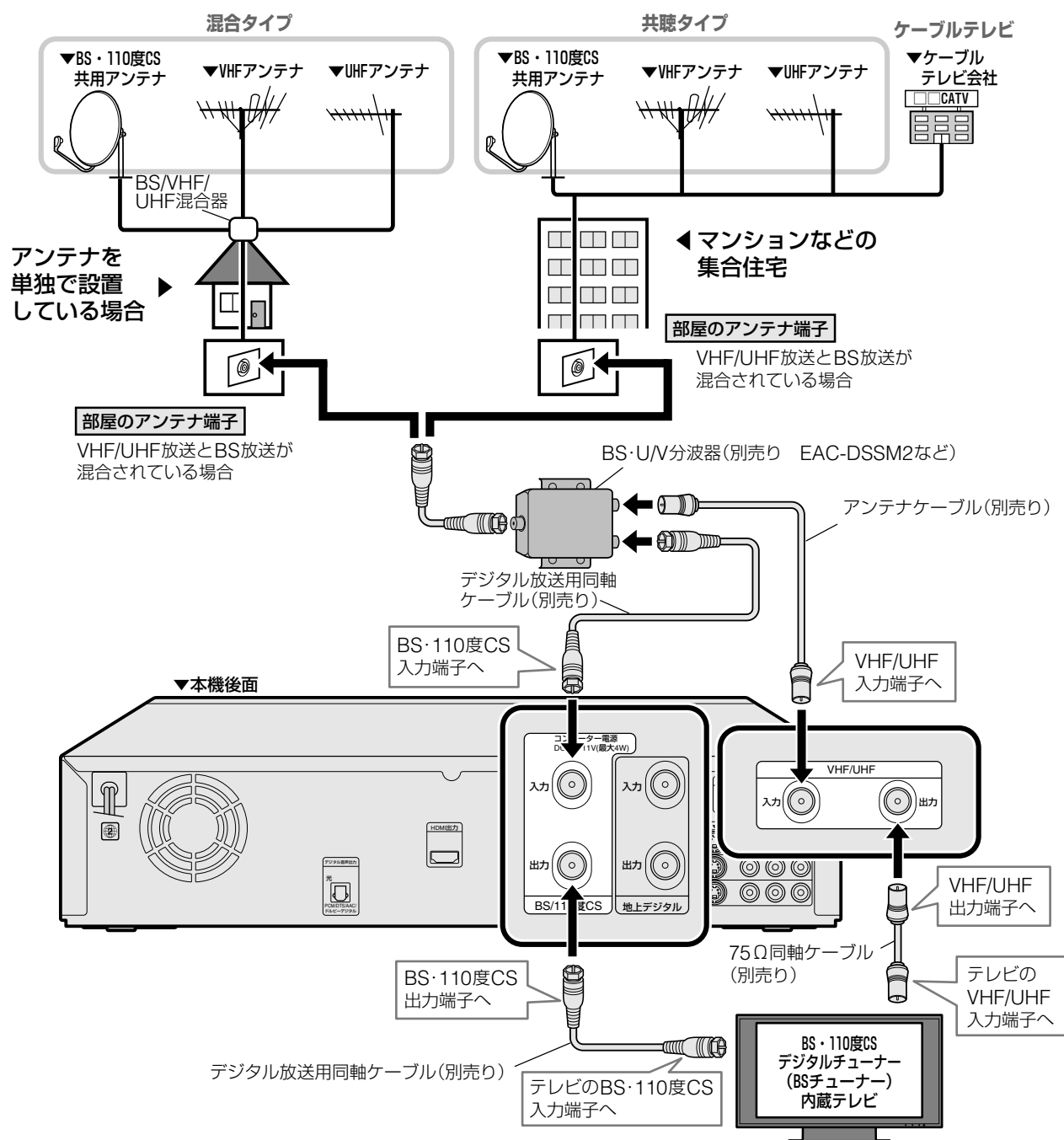
F接栓を取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。

BSアンテナの電源について

- 本機のBS・110度CS入力端子は、BS・110度CSアンテナに電源を供給するはたらきをもっています。
- かんたん設定で「電源入」を設定したときやBS・CSアンテナ電源設定(75ページ)が「電源入」になっているとき、本機からBS・110度CSアンテナに電源が供給されます。
- BS・110度CSアンテナを接続するときは、必ずBS・110度CSアンテナ電源を「切」にしてください。(工場出荷時は「切」に設定されています。)
- 放送局との自動通信について……本機は電源「切」(待機状態)のとき、放送局との通信(契約情報など)のため、自動的に電源が入り動作することがあります。通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」(待機状態)に戻ります。

VHF/UHF(地上アナログ)放送とBS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続 (アンテナが共聴(混合)タイプの場合)

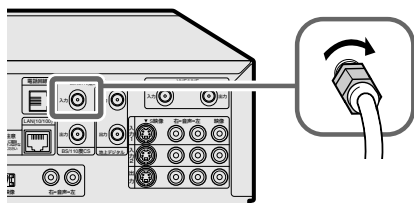
→ BS・110度CSデジタルチューナー(BSチューナー)内蔵テレビをお使いの場合



→ BSアンテナ接続時に気をつけてほしいこと

F接栓の取り付けについて

アンテナ線は、同軸ケーブルにF接栓を接続してご使用ください。



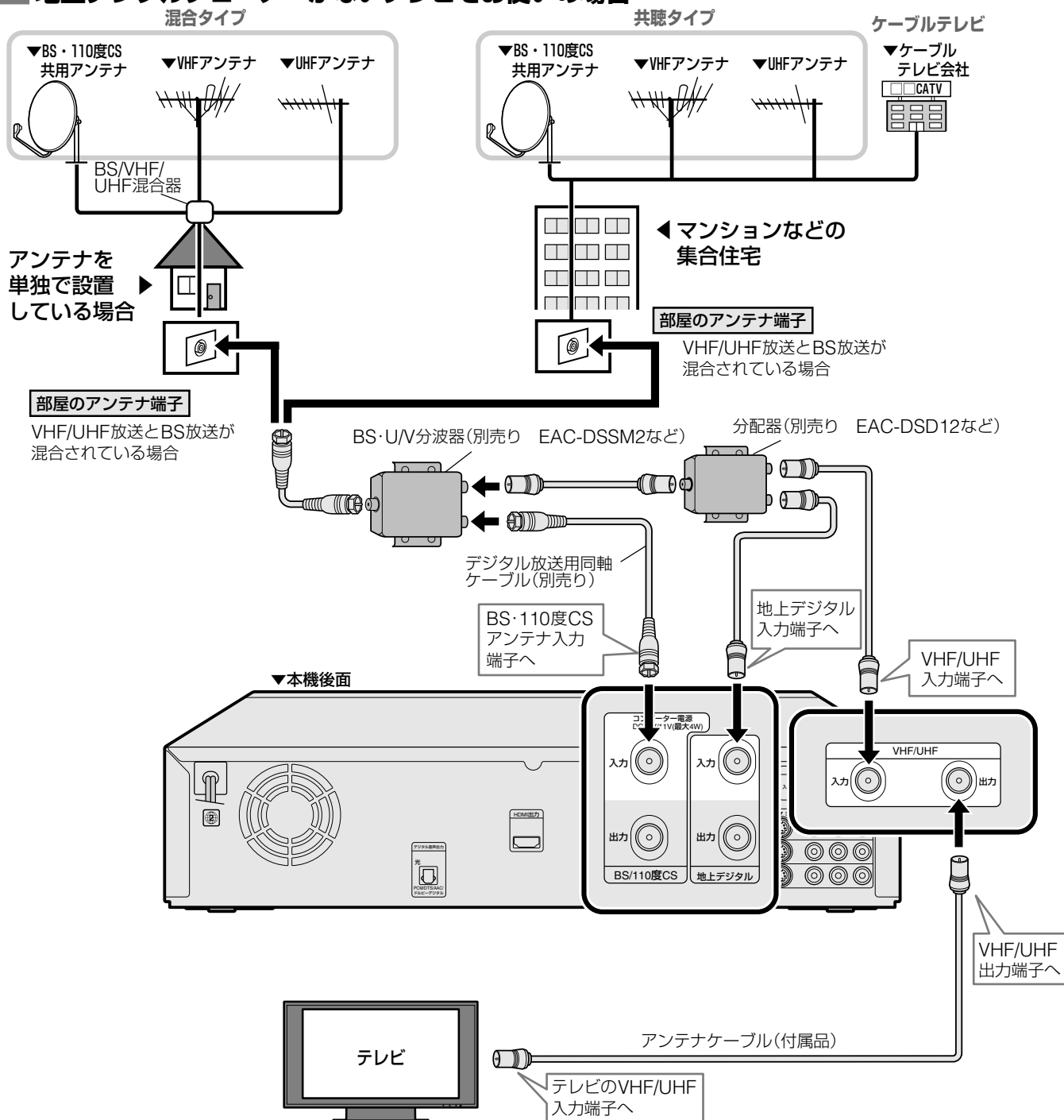
F接栓を取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。

BSアンテナの電源について

- 本機のBS・110度CS入力端子は、BS・110度CSアンテナに電源を供給するはたらきをしています。
- かんたん設定で「電源入」を設定したときやBS・CSアンテナ電源設定(75ページ)が「電源入」になっているとき、本機からBS・110度CSアンテナに電源が供給されます。
- BS・110度CSアンテナを接続するときは、必ずBS・110度CSアンテナ電源を「切」にしてください。(工場出荷時は「切」に設定されています。)
- 放送局との自動通信について……本機は電源「切」(待機状態)のとき、放送局との通信(契約情報など)のため、自動的に電源が入り動作することがあります。通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」(待機状態)に戻ります。

VHF/UHF(地上アナログ)放送と地上・BS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続 (アンテナが共聴(混合)タイプの場合)

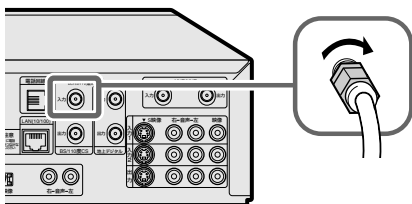
→ 地上デジタルチューナーがないテレビをお使いの場合



→ BSアンテナ接続時に気をつけてほしいこと

F接栓の取り付けについて

アンテナ線は、同軸ケーブルにF接栓を接続してご使用ください。



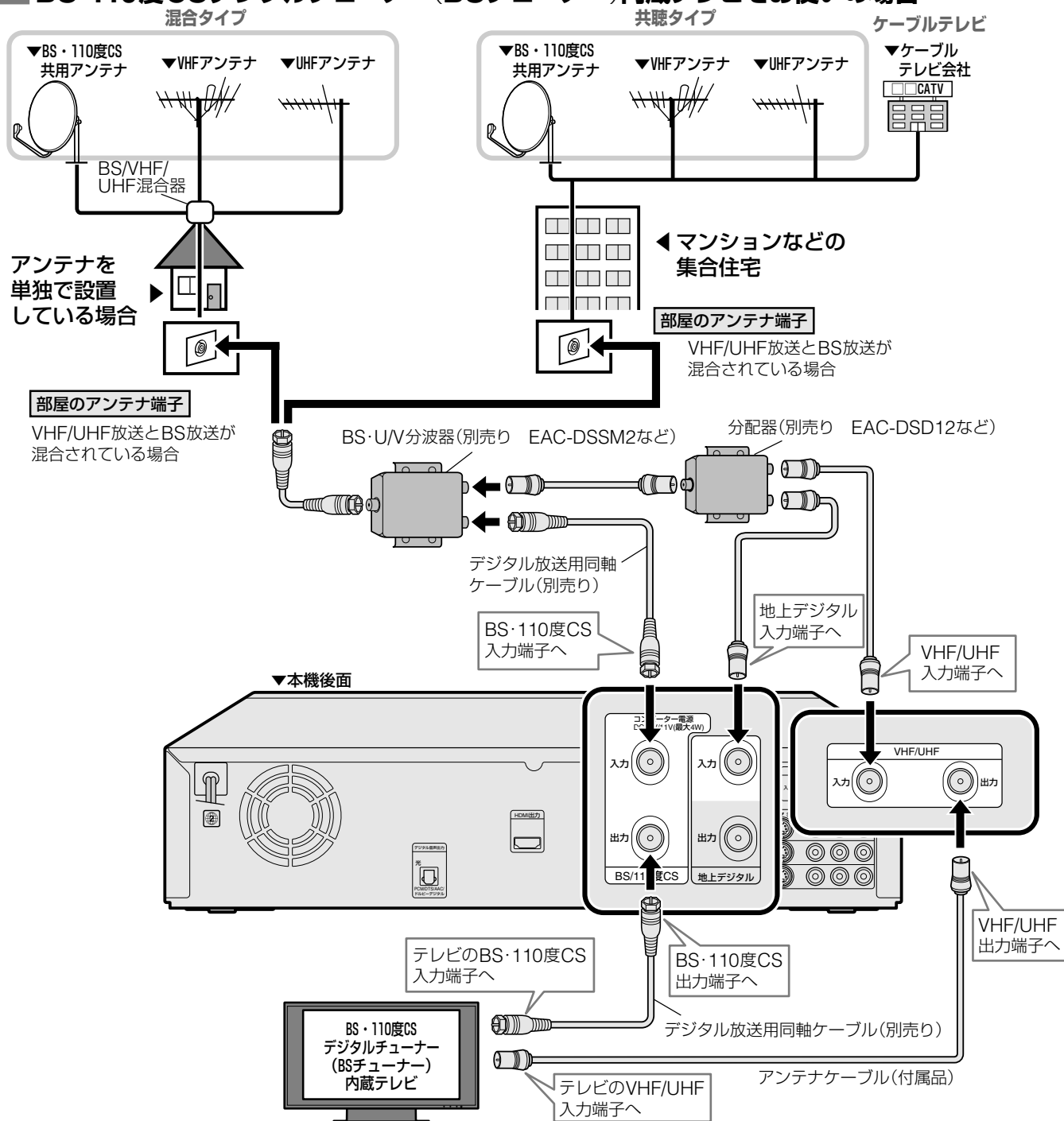
F接栓を取り付けるときは、工具で強く締めつけしないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。

BSアンテナの電源について

- 本機のBS・110度CS入力端子は、BS・110度CSアンテナに電源を供給するはたらきをしています。
- かんたん設定で「電源入」を設定したときやBS・CSアンテナ電源設定(75ページ)が「電源入」になっているとき、本機からBS・110度CSアンテナに電源が供給されます。
- BS・110度CSアンテナを接続するときは、必ずBS・110度CSアンテナ電源を「切」にしてください。(工場出荷時は「切」に設定されています。)
- 放送局との自動通信について……本機は電源「切」(待機状態)のとき、放送局との通信(契約情報など)のため、自動的に電源が入り動作することがあります。通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」(待機状態)に戻ります。

VHF/UHF(地上アナログ)放送と地上・BS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続 (アンテナが共聴(混合)タイプの場合)

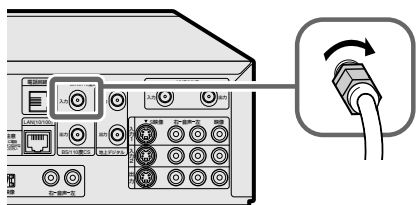
→ BS・110度CSデジタルチューナー(BSチューナー)内蔵テレビをお使いの場合



→ BSアンテナ接続時に気をつけてほしいこと

F接栓の取り付けについて

アンテナ線は、同軸ケーブルにF接栓を接続してご使用ください。

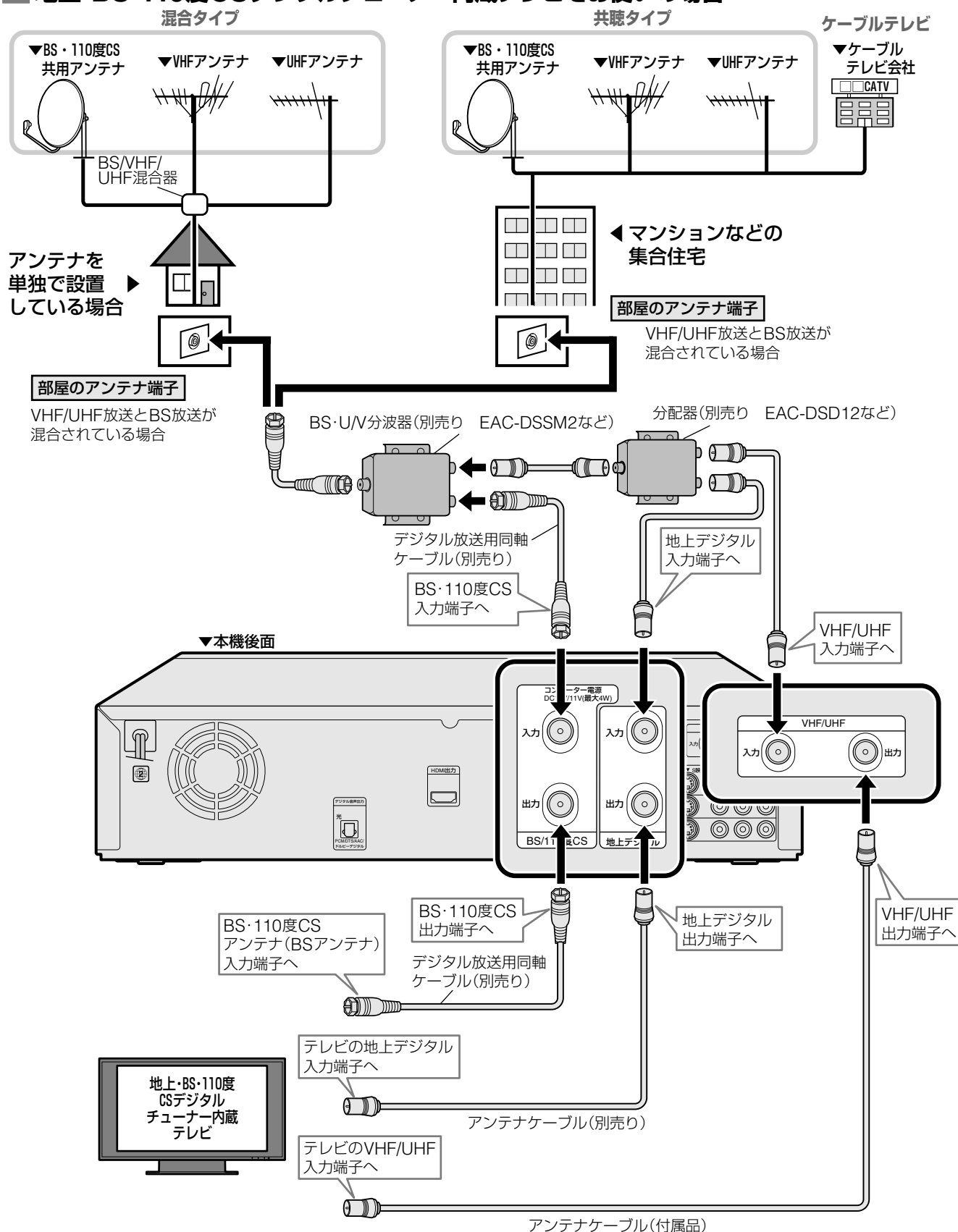


BSアンテナの電源について

- 本機のBS・110度CS入力端子は、BS・110度CSアンテナに電源を供給するはたらきをしています。
- かんたん設定で「電源入」を設定したときやBS・CSアンテナ電源設定(75ページ)が「電源入」になっているとき、本機からBS・110度CSアンテナに電源が供給されます。
- BS・110度CSアンテナを接続するときは、必ずBS・110度CSアンテナ電源を「切」にしてください。(工場出荷時は「切」に設定されています。)
- 放送局との自動通信について……本機は電源「切」(待機状態)のとき、放送局との通信(契約情報など)のため、自動的に電源が入り動作することがあります。通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」(待機状態)に戻ります。

VHF/UHF(地上アナログ)放送と地上・BS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続 (アンテナが共聴(混合)タイプの場合)

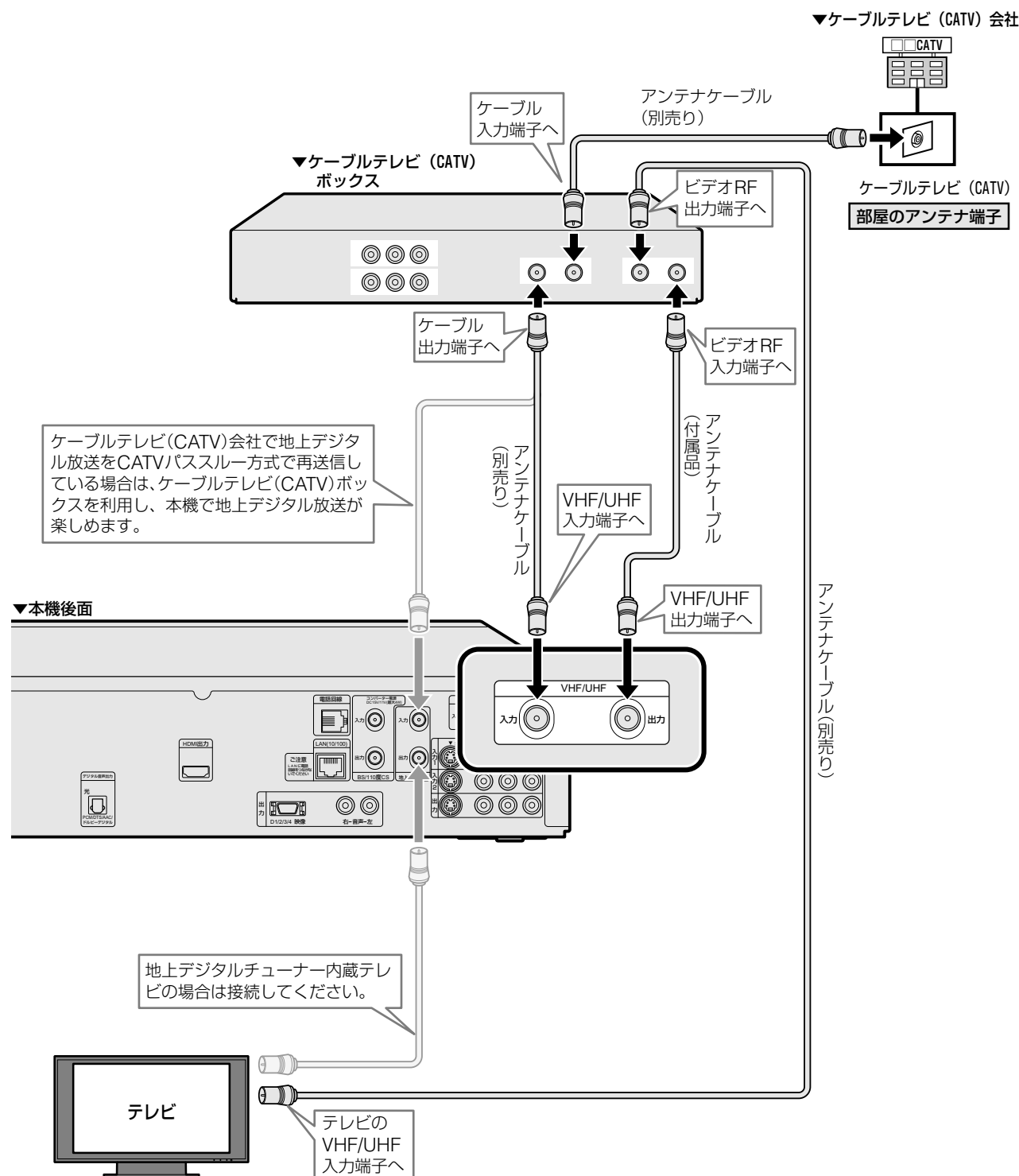
→ 地上・BS・110度CSデジタルチューナー内蔵テレビをお使いの場合



ケーブルテレビ(CATV)ボックスを使ってケーブルテレビ(CATV)を見る場合の接続

→ ケーブルテレビ(CATV)の接続のしかたは ケーブルテレビ(CATV)ボックスにより異なります。接続について詳しくは、ケーブルテレビ(CATV)会社にお問い合わせください。下記の接続は、一例です。

まず、アンテナ線を接続します。

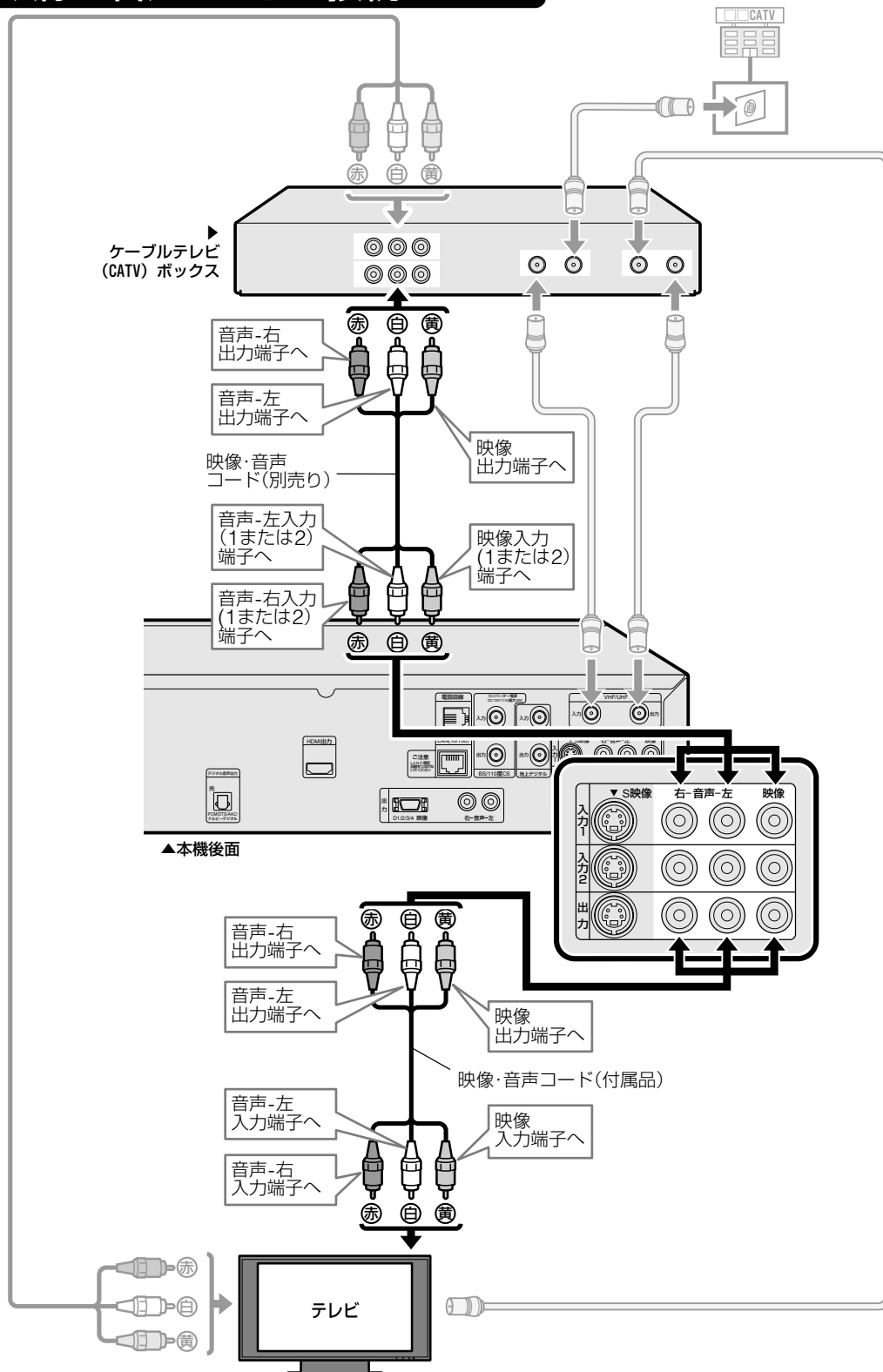


ちょっと一言

- CATVパススルー方式とは
CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままCATV網に渡す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。本機で受信できるのは、「UHF帯」、「VHF帯」、「ミッドバンド(MID: C13 ~ C22)帯」、「スーパーハイバンド(SHB: C23 ~ C62)帯」です。(トランスモジュレーション方式には対応していません。)
- BS・110度CS共用アンテナを個人で設置している場合は、23・24ページをご覧ください。

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- ケーブルテレビ(CATV)を受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ(CATV)会社との受信契約が必要です。さらにスクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル(アダプター)が必要です。詳しくはケーブルテレビ(CATV)会社にご相談ください。
- アンテナケーブル(CATV)や映像・音声コードの端子は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- ケーブルテレビ(CATV)ボックスを使ってアンテナ線を接続したときは、電子番組表(Gガイド)が表示されません。
- ケーブルテレビ(CATV)ボックスを経由して、BS・110度CS・地上デジタル放送を録画したときは、ハイビジョン放送でもハイビジョン画質で録画はされません。

次に、映像・音声コードを接続します。



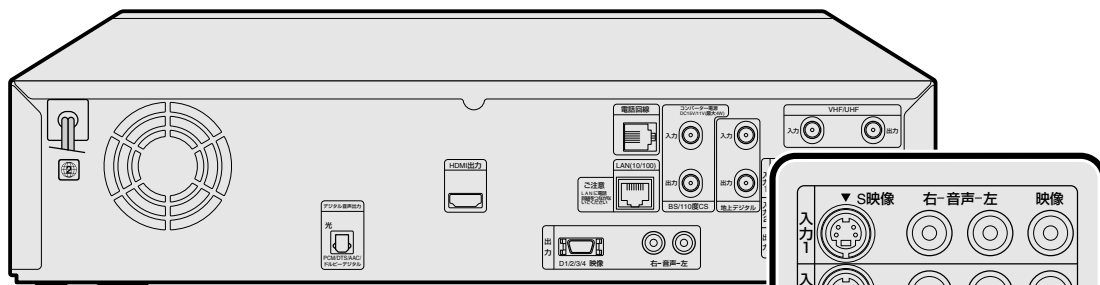
本機とテレビを接続する

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- テレビの接続端子の種類に合わせて、付属の映像・音声コードや市販のケーブル・コードを使い、本機とテレビを接続してください。テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

基本的な接続

(S映像・映像・音声入力端子付きテレビと接続する場合)

- 入力端子が2系統以上でS映像入力端子付きテレビの場合は、映像・音声コードの接続とともに、下記のS映像コードを接続してください。よりきれいな映像がお楽しみいただけます。
- S映像・映像・音声コードは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。



▲本機後面

→ よりきれいな映像で楽しみたいときは

- テレビ側に次の入力端子がある場合、よりきれいな映像を楽しめます。その場合、このページの接続の他に、テレビ側のどれか一つの端子と接続してください。

映像がきれい

どれか一つの端子と接続します。

HDMI入力端子

35ページの接続をご覧ください。

D映像入力端子

33ページの接続をご覧ください。

コンポーネント映像入力端子

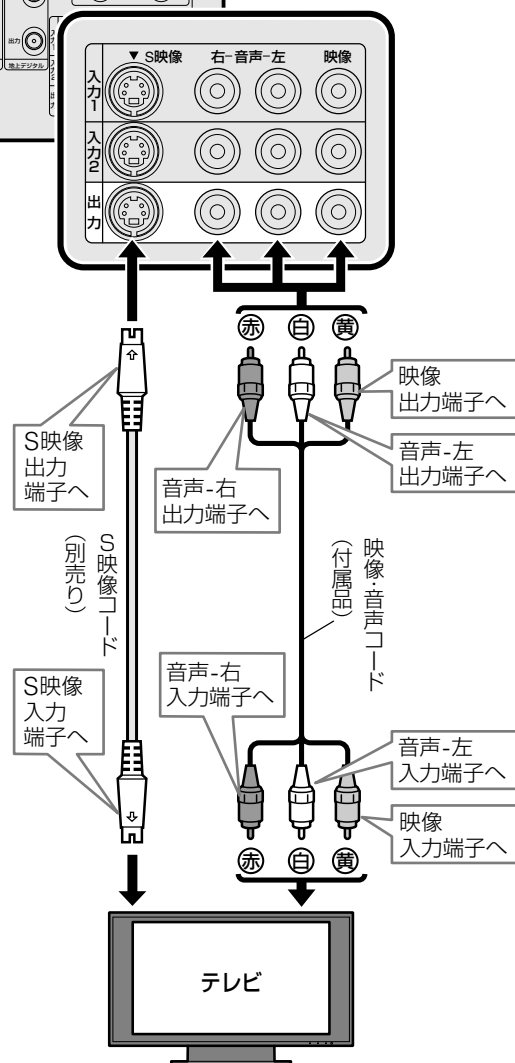
34ページの接続をご覧ください。

S映像入力端子

このページの接続例の端子

映像入力端子

このページの接続例の端子



※ S映像コードを接続したときは、映像端子(黄)は接続しません。

⚠️ご注意

- 本機とテレビを接続しているコード類をアンテナ線と一緒に束ねないでください。テレビ放送を見るときに画面にノイズが出るなど、電波妨害の原因となることがあります。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるため、電源コードや他の接続コード類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

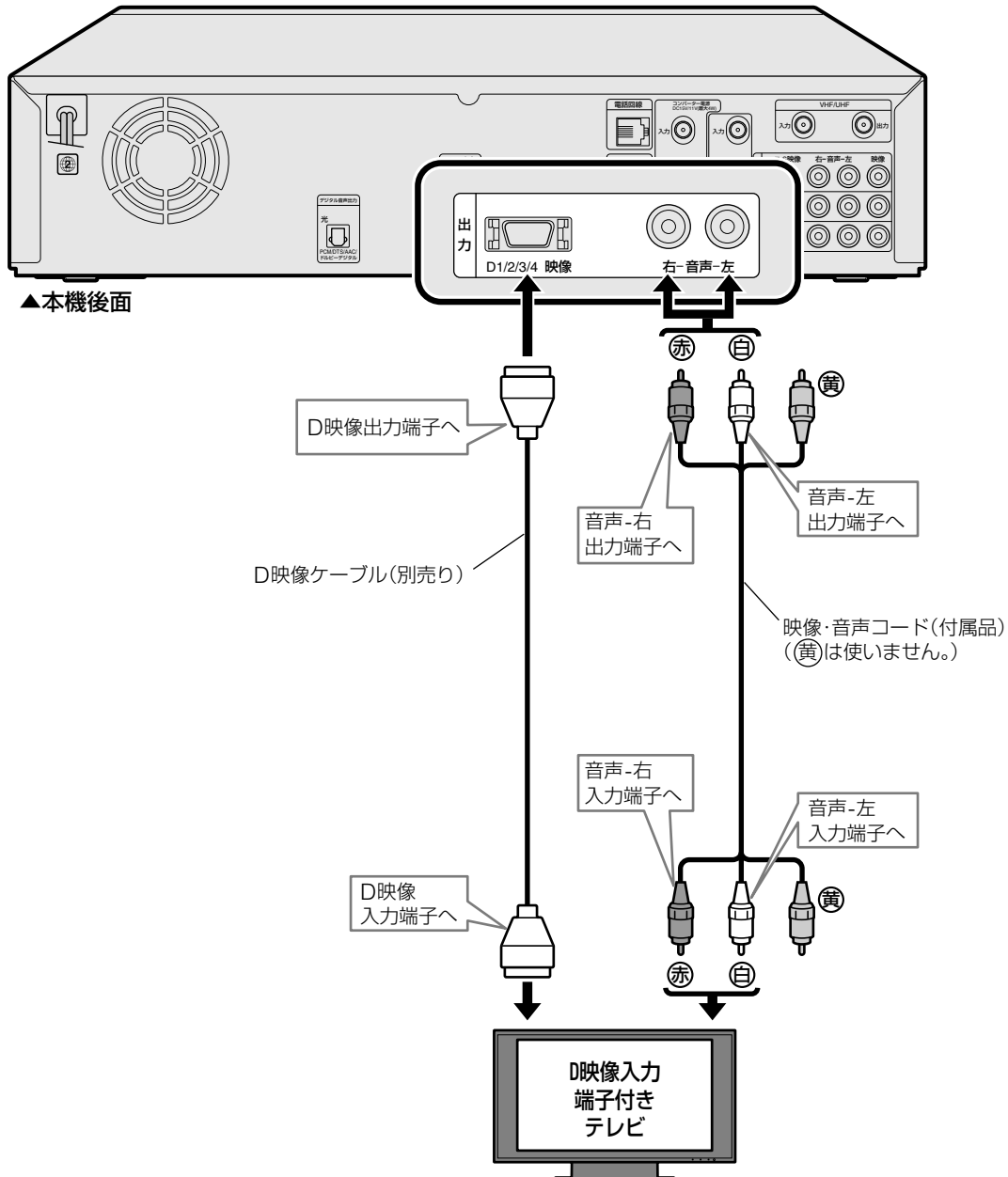
💡ちょっと一言

- 映像が乱れるときは、120ページをご覧ください。
- HDMI出力端子(35ページ)やD映像出力端子(33ページ)を接続していると、S映像出力端子・映像出力端子からはメニュー画面・チャンネル表示などの画面表示や、データ放送の表示は出力されません。(テレビ映像と再生映像のみ通常画質(525i)で出力されます。ただし、録画リスト・編集・DVD再生・地上アナログ放送受信時は、画面に表示している映像が、そのまま出力されます。)

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- テレビの接続端子の種類に合わせて、付属の映像・音声コードや市販のケーブル・コードを使い、本機とテレビを接続してください。テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

よりきれいな映像で楽しみたい場合の接続 (D映像入力端子付きテレビと接続する場合)

- 入力端子が2系統以上でD映像入力端子付きテレビの場合は、D映像ケーブル・音声コードを接続してください。よりきれいな映像がお楽しみいただけます。
- D映像ケーブルや音声コードは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。



⚠️ ご注意

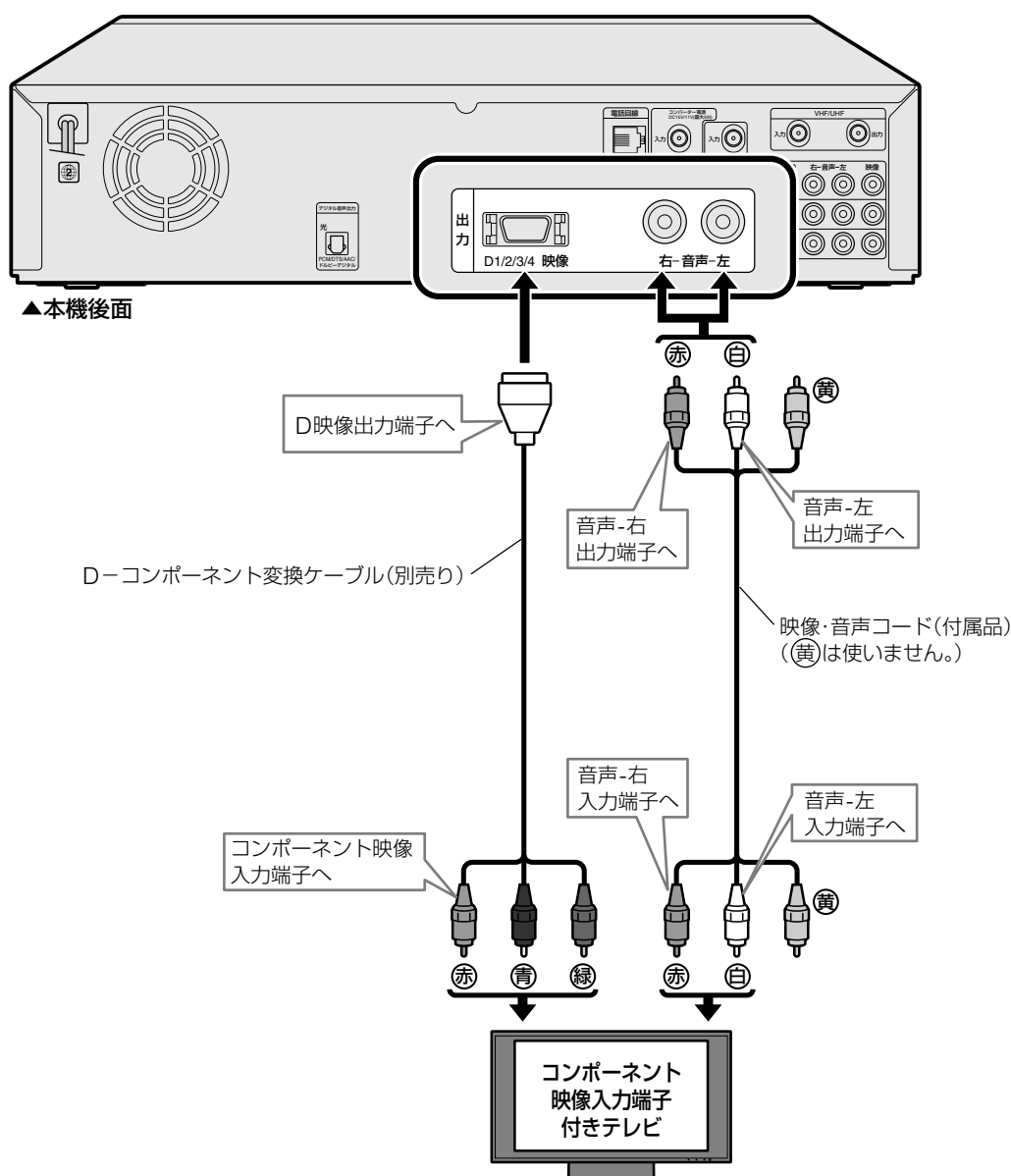
- 本機の電源が「入」の状態、本機にD映像ケーブルを差し込まないでください。必ず、本機の電源が「切」の状態、D映像ケーブルを差し込んでください。

💡 ちょっと一言

- 映像が乱れるときは、120ページをご覧ください。
- テレビにD映像入力端子とコンポーネント映像入力端子の両方が付いているときは、D映像入力端子と接続することをおすすめします。
- テレビのD映像入力端子がD3またはD4映像入力端子の場合は、ハイビジョン放送が楽しめます。かんたん設定(48ページ)でテレビのD映像入力端子に合わせて、「テレビとの接続」-「接続したテレビはハイビジョンに対応していますか?」-「はい」-「D3映像入力端子」または「D4映像入力端子」に設定してください。
- 本体前面のHDMIランプが青点灯しているときは、「HDMI出力」に切り換わっています。D映像で楽しむためには、「D映像出力」に切り換える必要があります。

よりきれいな映像で楽しみたい場合の接続 (コンポーネント映像入力端子付きテレビと接続する場合)

- 入力端子が2系統以上でコンポーネント映像入力端子付きテレビの場合は、D-コンポーネント変換ケーブル・音声コードを接続してください。よりきれいな映像がお楽しみいただけます。
- D-コンポーネント変換ケーブルや音声コードは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。



⚠️ご注意

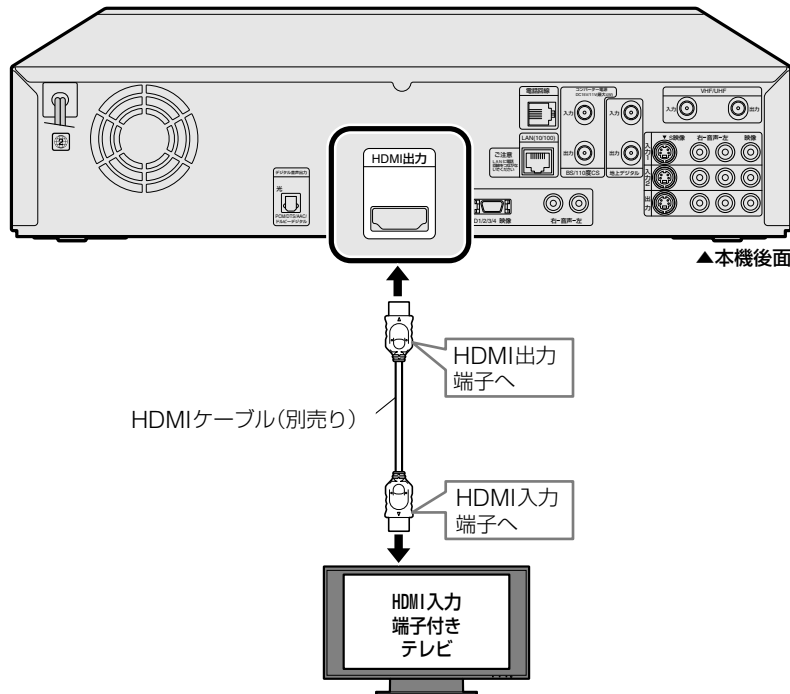
- 本機の電源が「入」の状態、本機にD-コンポーネント変換ケーブルを差し込まないでください。必ず、本機の電源が「切」の状態、D-コンポーネント変換ケーブルを差し込んでください。
- コンポーネント映像入力端子に接続したときは、テレビのオートワイド機能は働きません。
- テレビによってはコンポーネント映像入力端子の切換え(メニュー設定やスイッチの切換えなど)が必要な場合があります。お使いのテレビの取扱説明書に当たって操作してください。
- ハイビジョン専用のコンポーネント映像入力端子(Y, Pb, Pr)に接続したときは、DVDの再生映像は楽しめません。DVDの再生映像は525iまたは525pの信号が出力されます。

💡ちょっと一言

- 映像が乱れるときは、**120**ページをご覧ください。
- 映像が映らないときは、**120**ページをご覧ください。
- 本体前面のHDMIランプが青点灯しているときは、「HDMI出力」に切り換わっています。D映像で楽しむためには、「D映像出力」に切り換える必要があります。

よりきれいな映像で楽しみたい場合の接続 (HDMI入力端子付きテレビと接続する場合)

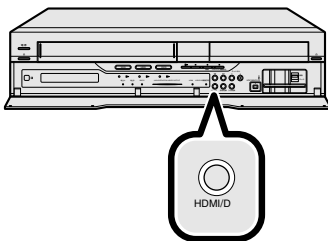
■ HDMIケーブルは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。



- HDMI出力端子は、映像と音声のデジタル信号を1本のケーブルでつなぐことができる新しい規格のデジタル専用端子です。HDMIケーブル(別売り)を使うと、他の映像ケーブル・音声ケーブルを接続する必要はありません。
- D映像出力端子とHDMI出力端子の両方にケーブルを接続したときは、映像出力する端子を本体前面のボタンで切り換えてください。(D映像端子とHDMI端子の両方からは映像は出力されません。)

HDMI出力に切り換える

▼本体前面のふたを開けたところ



- ① 本機の電源を入れる
- ② 本体前面のふたを開ける
- ③ 本体の表示が「HDMI出力」に切り換わるまで、本体前面のHDMI/D切換ボタンを押し続ける
D映像出力に戻すときは、本体の表示が「D映像出力」に切り換わるまで、本体前面のHDMI/D切換ボタンを押し続けます。

本体前面の表示窓には、次のように表示されます。

D映像出力のとき

D映像出力

HDMI出力のとき

HDMI出力

- HDMI出力に切り換わると、本体前面のHDMIランプが点灯します。
- HDMIケーブルのみ接続した後、初めて電源を入れたときは自動的に「HDMI出力」に切り換わります。上記の設定は必要ありません。

💡 ちょっと一言

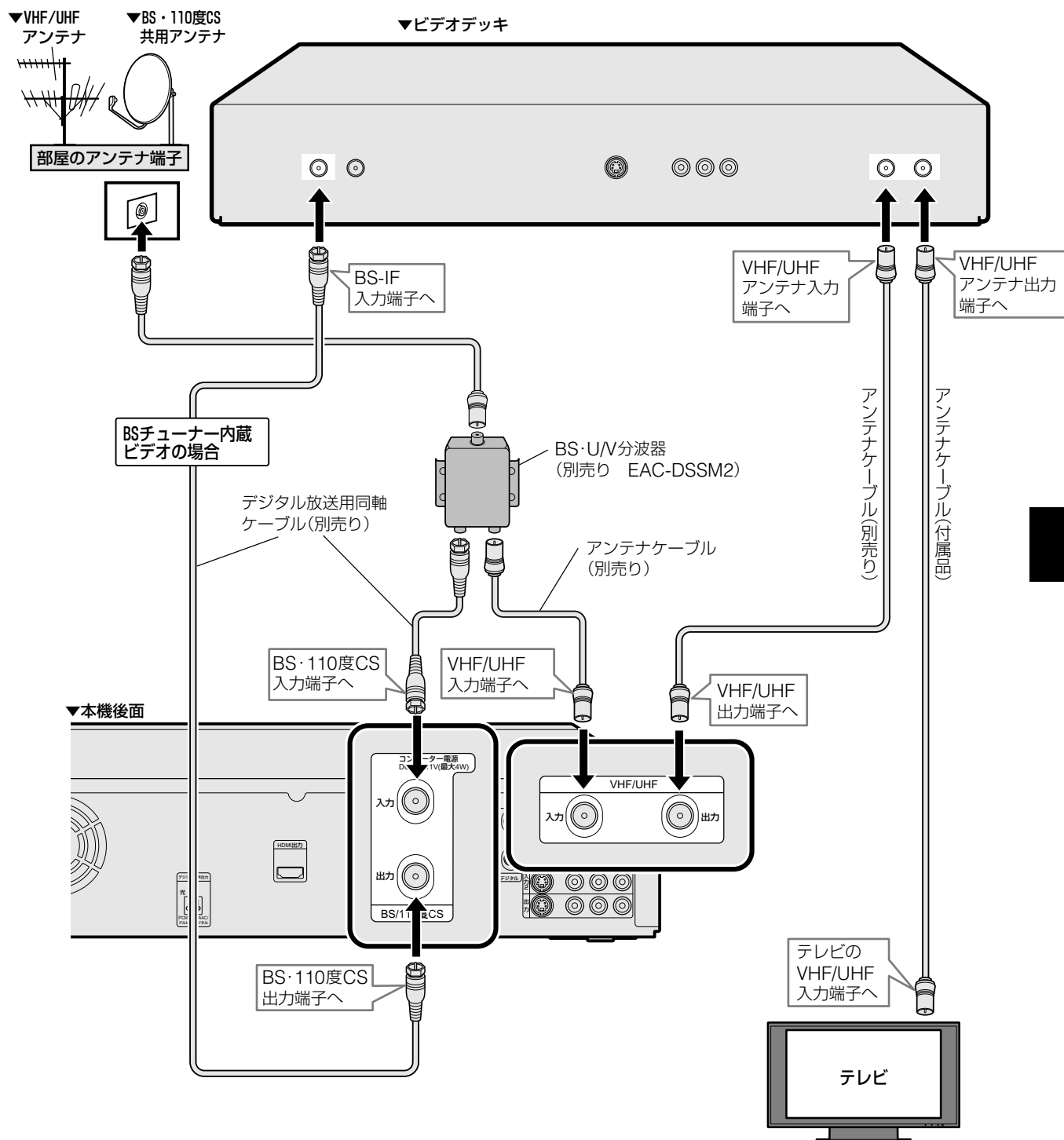
- HDMI出力端子を使って接続したときは、出力解像度は「自動」に設定されます。
「自動」設定状態で正常な映像が得られないときは、122ページ一番下の表を参考に出力解像度を変更してください。
- DVIデジタル入力端子付きの機器とDVI/HDMI変換ケーブル(別売り)を使用して接続したときは、正常な映像にならない、または映らない場合があります。(本機のHDMI出力端子は、HDMI機器との接続を目的に設計されています。また、DVI/HDMI変換ケーブルを使いDVI機器と接続したときは、DVI機器に音声が入力されません。)
- HDMI設定を「自動」以外に設定するとき、接続先で対応していない解像度は選択できません。(ケーブルが接続されていない、または電源が入っていないときも選択できません。)
- HDMIケーブル(別売り)をご使用の際は、HDMI規格に適合したケーブルをご使用ください。
- DTS音声を楽しむのは、DTSデコーダーに対応した機器です。DTSデコーダーに対応した機器でDTS音声を楽しむときは、「デジタル音声出力」を「ドルビーデジタル/ DTS」に設定したうえで、ディスクの音声をDTS音声に切り換えてお楽しみください。DTSに対応していない機器で楽しむときは、ディスクの音声を「PCM」または「ドルビーデジタル」に切り換えてお楽しみください。

HDMI映像出力(解像度)の設定とデジタル音声出力の設定は、システムメニューの「設定」-「基本設定」-「映像・音声設定」(「操作編」の「基本設定」)で行います。

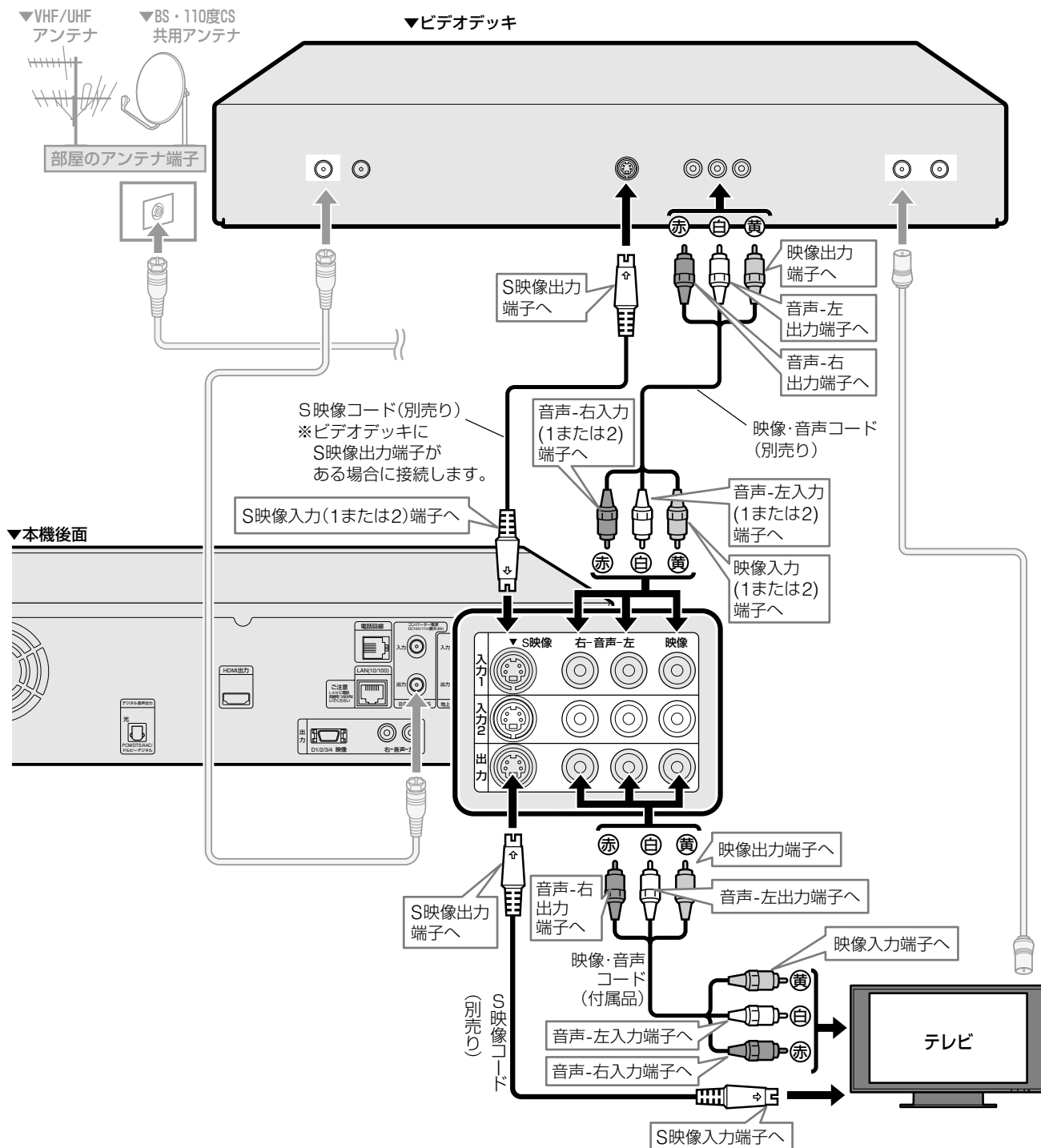
ビデオデッキを接続する

■ アンテナケーブル、S映像コード、映像コード、音声コードは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。

まず、アンテナ線を接続します。

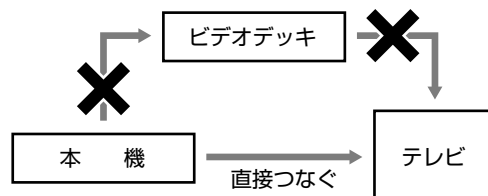


次に、映像・音声コードを接続します。



❗ご注意

- 本機とテレビは直接接続してください。ビデオデッキを経由して本機の映像をテレビに映した場合、コピー防止機能の動きにより映像が乱れることがあります。
- 本機とテレビの接続について詳しくは32～35ページをご覧ください。



💡ちょっと一言

- 映像が映らないとき、テレビの映りが悪いとき、正常な録画ができないときは、121ページをご覧ください。

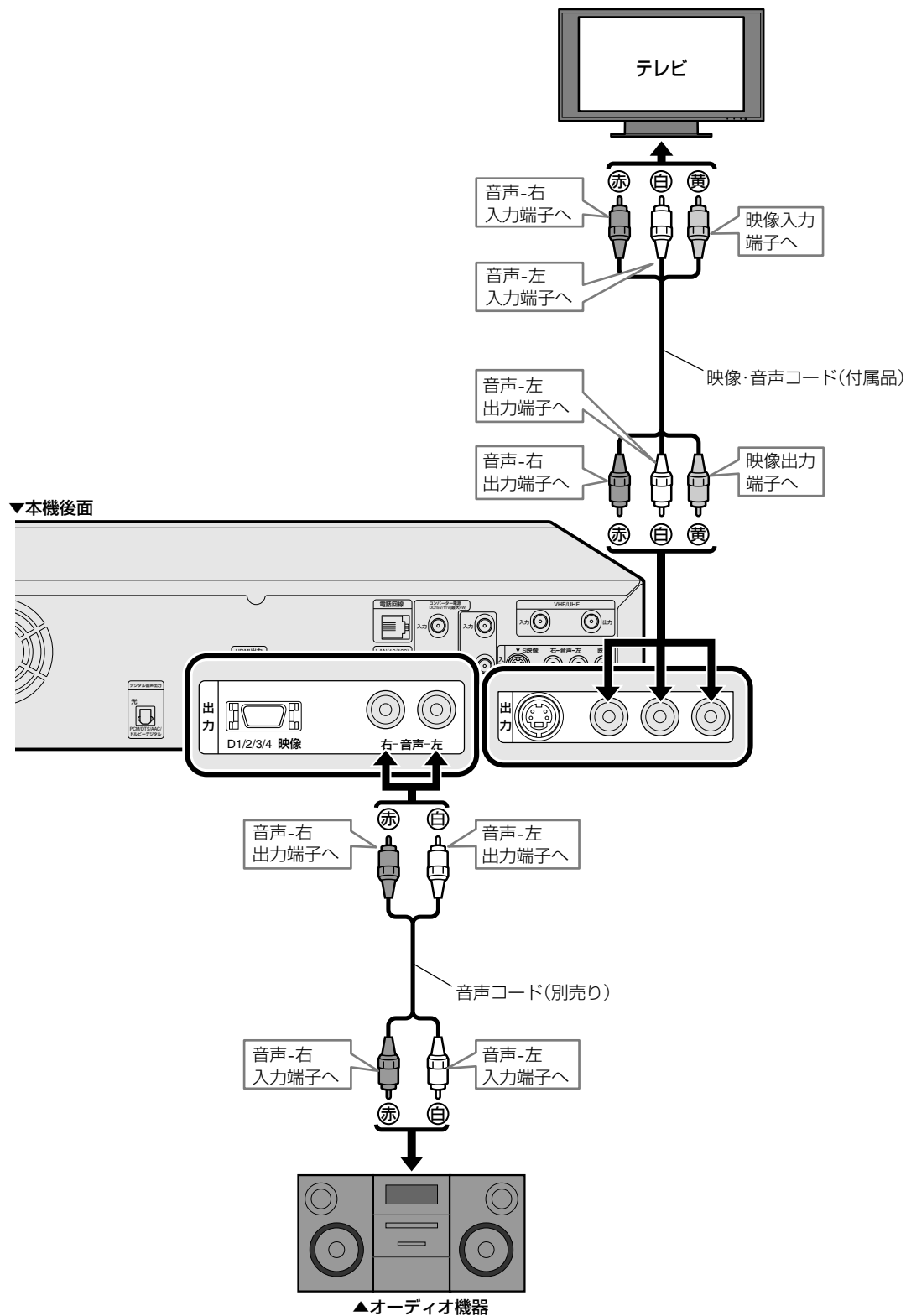
本機のS映像入力端子について

- 本機に内蔵しているVHSは、S-VHSタイプではありません。VHS使用時、S映像入力端子に入力された外部機器のS映像信号は、S-VHSの解像度で録画できません。

オーディオ機器を接続する

アナログ接続で音声を楽しむ場合の接続

- 本機の音声を2chオーディオ機器で楽しむときの接続です。
- 映像・音声コード、音声コードは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- オーディオ機器側の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。



💡ちょっと一言

- ディスクの再生時に音声が正常に聞こえないときは、**121**ページをご覧ください。
- 本機とテレビとの接続について詳しくは**32～35**ページをご覧ください。

デジタル接続で音声を楽しむ場合の接続

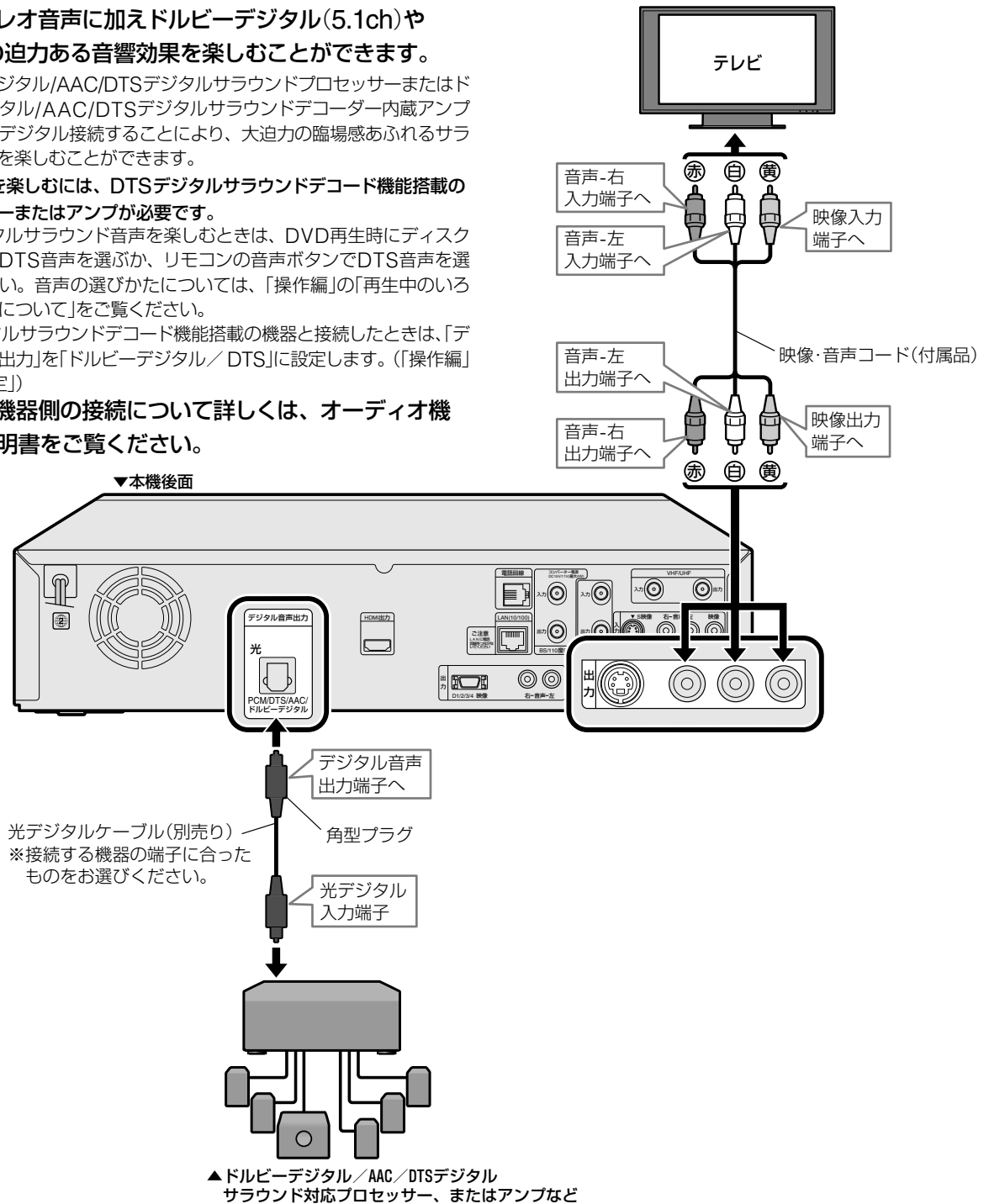
■ 本機の音声を光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器で楽しむときの接続です。

■ 光デジタルケーブルは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。

■ 通常のステレオ音声に加えドルビーデジタル(5.1ch)やDTSなどの迫力ある音響効果を楽しむことができます。

- ドルビーデジタル/AAC/DTSデジタルサラウンドプロセッサーまたはドルビーデジタル/AAC/DTSデジタルサラウンドデコーダー内蔵アンプと本機を光デジタル接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンド音声を楽しむことができます。
- DTS音声を楽しむには、DTSデジタルサラウンドデコード機能搭載のプロセッサーまたはアンプが必要です。
- DTSデジタルサラウンド音声を楽しむときは、DVD再生時にディスクメニューでDTS音声を選ぶか、リモコンの音声ボタンでDTS音声を選んでください。音声の選びかたについては、「操作編」の「再生中のいろいろな設定について」をご覧ください。
- DTSデジタルサラウンドデコード機能搭載の機器と接続したときは、「デジタル音声出力」を「ドルビーデジタル／DTS」に設定します。（「操作編」の「基本設定」）

■ オーディオ機器側の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。



⚠️ご注意

- 市販の光デジタルケーブルを使ってオーディオ機器と接続したときは「デジタル音声出力」の各項目の設定をしてください。設定については、121ページをご覧ください。

💡ちょっと一言

■デジタル音声出力について

- ニヶ国語放送やニヶ国語放送を録画したタイトルの再生では、音声の切り換えはできません。（プロセッサーまたはアンプに音声切換機能があるときは、オーディオ機器側で切り換えてください。）
- 音楽用CDを再生したとき、音声の切り換えはできません。
- 96kHz/24bit(LPCM)音声を楽しむときは、96kHzに対応しているプロセッサーまたはアンプが必要です。

■MDとデジタル接続し、録音して楽しむとき

- 本機とMDをデジタル接続しCDをMDに録音したときに、CDとMDの曲番(トラック番号)が一致しないことがあります。

■DTSデコーダーを内蔵していないデジタル入力付きのオーディオ機器やMDプレーヤーとデジタル接続したとき

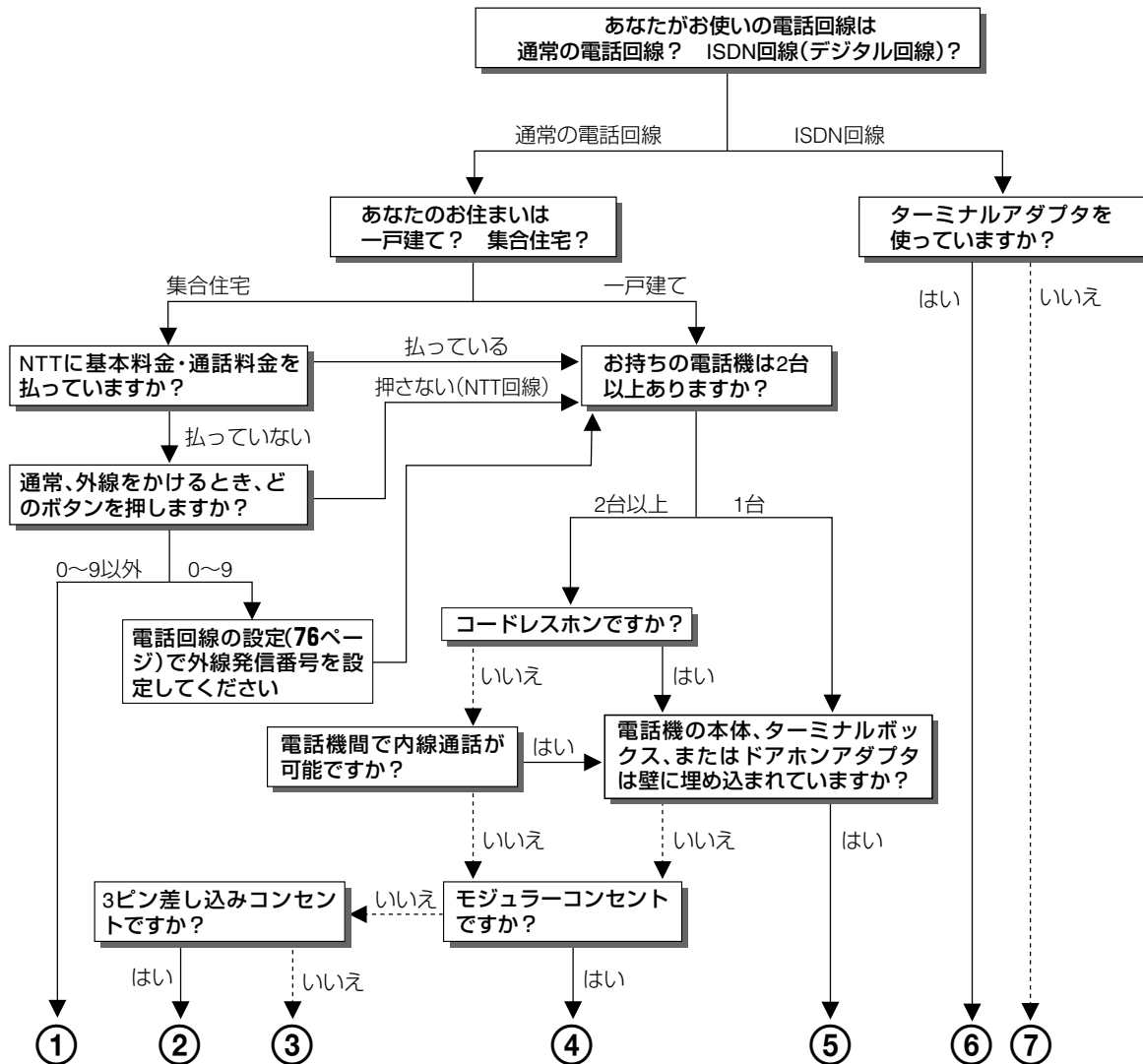
- DTSで記録されているディスクは正常な音声がありません。

電話回線に接続する

- 本機は、双方向番組への参加や受信契約状況の確認、番組購入情報データの送受信を、電話回線を使って行っています。ご使用の前に必ず電話回線に接続してください。

→ 接続形態確認チャート

- 下の確認チャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。
- また、詳細はNTTにお問い合わせください。



- ① マンション交換機(PBX)を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
- ② 市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプタをお求めください。
- ③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
- ④ 付属のテレホンコードとモジュラーテレホンコードカプラーのみで接続可能です。(41ページ)
- ⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
- ⑥ 本機をターミナルアダプタに直接つないでください。
- ⑦ ターミナルアダプタ(市販品)を使用し、本機をターミナルアダプタに直接つないでください。詳しくは、お使いのターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

※③、⑤についての詳細は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

● ご注意

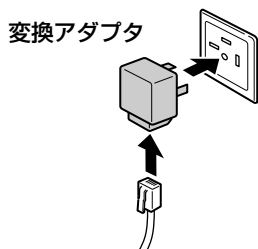
- IP電話をご使用の場合は、電話回線がご使用になれません。

つぎの電話回線では注意が必要です。

■ 電話回線がモジュラージャックでない場合は

● 3ピンプラグの場合

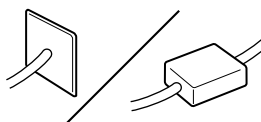
市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプタをお求めください。



● 直結配線方式の場合

簡単な工事が必要です。

詳細はお近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。



■ 構内電話(ビジネスホン/ホームテレホン)では

そのままご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。

詳細は電話設置会社にご相談ください。

■ キャッチホンでは

通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。

詳細はNTT営業窓口にお問い合わせください。

■ 直接デジタル回線に接続することはできません

会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線(アナログ)であることをご確認ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプタ(TA)等の端末器を介して接続してください。

→ 接続のしかた

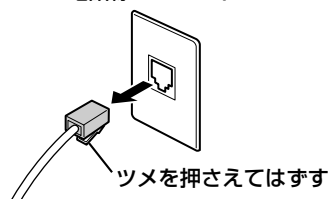
◇ ご注意

- テレホンコードのプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- テレホンコードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

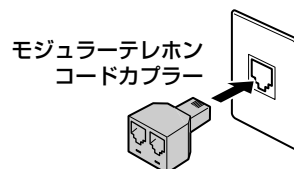
1 本機と電話機の電源を切る

2 電話機の接続線(モジュラー線)を電話線コンセントからはずす

電話線コンセント

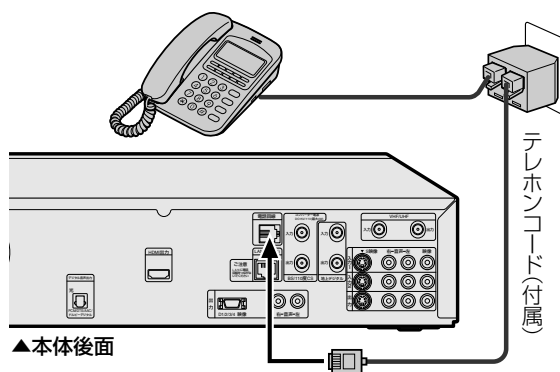


3 付属のモジュラーテレホンコードカプラーを電話線コンセントに差し込む



4 電話機の接続線(モジュラー線)をモジュラーテレホンコードカプラーの一方に差し込む

5 付属のテレホンコードをモジュラーテレホンコードカプラーのもう一方と本機後面の電話回線端子につなぐ



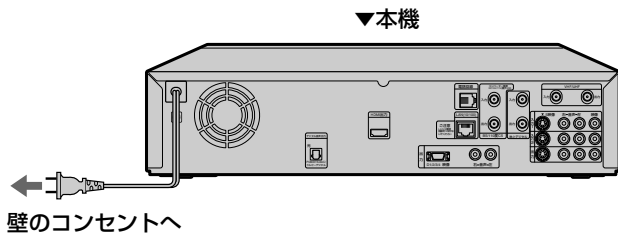
◇ ちょっと一言

- 視聴記録データの自動送信中は電話機を使用しないでください。視聴記録データの自動送信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音(ピーヒョロヒョロ...)が聞こえますので、その間は電話をしないでください。
- 本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリが鳴る場合がありますが、異常ではありません。

電源を入れるための準備とリモコンの準備をする

電源プラグをコンセントに接続する

- すべての接続が終わったら、本機の電源プラグを壁のコンセントに接続してください。



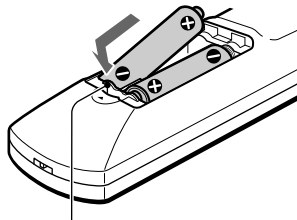
⚠️ご注意

- 本機の電源プラグは、アンプなどの電源スイッチに連動した電源コンセントにつながらないでください。アンプの電源を切にしたときに、本機の設定内容が消去されてしまうことがあります。
- 電源プラグを差し込んだときは、自動的にHDDの信頼性を確認するため、HDDモード選択ボタン(青色)が点滅します。点滅が終了してから電源ボタンを押し、本体の電源を入れてください。

- ご使用の際は、電源コードを束ねずに引き伸ばしてご使用ください。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音等を避けるため、電源コードや他の接続コード類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

リモコンに乾電池を入れる

- ⊕と⊖を正しい向きで、付属の単3形(R6)乾電池(2本)を入れてください。



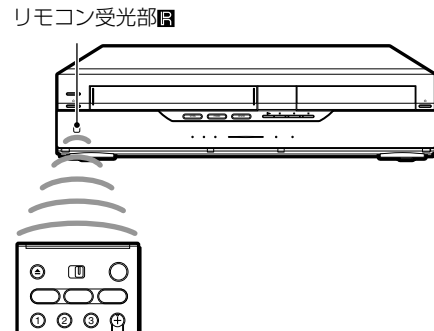
必ず⊖側から入れてください。

⚠️注意 乾電池使用上のご注意

- 乾電池は誤った使い方をすると破れつしたり、液がもれて、故障やけがの原因となることがありますので、次のことをご守りください。
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間使用しないときや乾電池を使い切ったときは、液がもれて故障の原因となる恐れもありますので、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示(条例)に従って処理してください。

リモコンの使いかた

- リモコンの発光部を本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



⚠️ご注意

- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンの操作が正しく本体に伝わらないことがあります。照明または本体の向きにご注意ください。
- 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物があると動作しない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。
- リモコンに衝撃を与えないでください。また、リモコンを水に濡らしたり、湿度の高いところに置かないでください。
- 乾電池を入れ換えたとき、リモコンが正しく動作しないことがあります。そのときは、乾電池をいったんリモコンから取り出し、5分以上たってから再度入れてください。
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。(寿命は通常6カ月～1年が目安です。)

操作するための準備をする

テレビと本機の準備をする

▶テレビの準備

- 1 テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力チャンネル(「ビデオ1、外部入力1」など)にする



表示は例です。
お使いのテレビにより異なります。

お手持ちのテレビを本機のリモコンで操作するには

- 107ページの「リモコンで他機も操作できるようにする」をご覧ください。

▶本機の準備

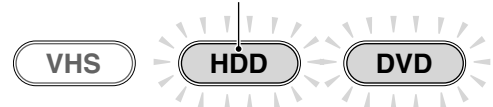
💡ちょっと一言

- 本機の電源プラグをコンセントに差し込んだ直後は、システム処理のためHDDモード選択ボタンが点滅します。電源は点滅が終了してから入れてください。

- 2 リモコンの●(電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

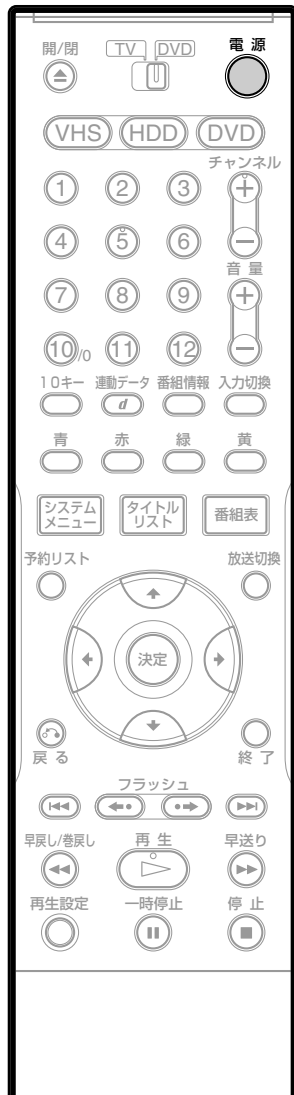
- 電源を入れると、本体のHDDモード選択ボタン・DVDモード選択ボタンが点滅します。点滅中は操作のための準備を行っていますので、HDDモード選択ボタンが点灯に変わるまでお待ちください。

点灯に変わるまでお待ちください。

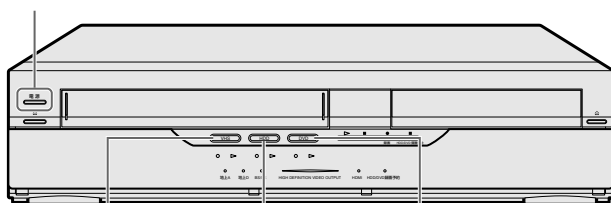


▲本体前面のモード選択ボタン

- はじめて電源を入れると、「かんたん設定」画面が表示されます。(47ページ)



電源ボタン



VHSモード
選択ボタン HDDモード
選択ボタン DVDモード
選択ボタン

💡ちょっと一言

他のソニー製DVDレコーダーやDVDプレーヤーも動作してしまうときは

- 105ページの「リモコンモードを設定する」をご覧ください。

→ 電源の切りかた

- 1 リモコンの●(電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を切る

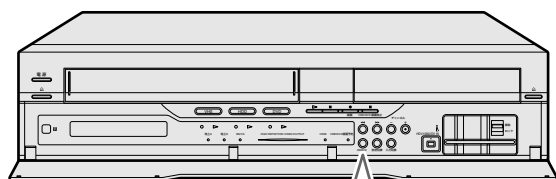
- 本体表示窓が「電源切」となり、表示が消えます。
- 電源を切った直後は、再度電源ボタンを押しても電源が入らない場合があります。そのようなときは少し待ってから再度電源を入れてください。

次のページにつづく

→ HDMI入力端子付きテレビと接続したときの設定をする

- HDMI出力端子とD映像出力端子の両方を接続したときは、どちらの端子から映像を出力するかを選択する必要があります。選択は本体前面のボタンで行います。

- 本機とテレビをHDMIケーブルのみで接続しているときは、はじめて電源を入れたとき、自動的に「HDMI出力」が選ばれます。
- D映像出力端子とHDMI出力端子の両方を接続したときは、「D映像出力」が選ばれます。



HDMI/D切換ボタン

1 テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力チャンネル（「ビデオ1、外部入力1」など）にする

2 リモコンの●（電源）、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

- 詳しくは「テレビと本機の準備をする」(43ページ)をご覧ください。

3 本体の表示が切り換わるまで、本体前面のHDMI/D切換ボタンを押し続ける

- HDMI出力にするときは、「HDMI出力」と表示されるまで押し続けます。
- D映像出力にするときは、「D映像出力」と表示されるまで押し続けます。



- HDMI出力に切り換わると、本体前面のHDMIランプが点灯します。



HDMI
HDMIランプ

- 接続したテレビに合わせて、「映像・音声設定」で映像の出力解像度や音声の信号形式を設定することもできます。詳しくは、「操作編」の「基本設定」―「HDMI解像度」および「デジタル音声出力」をご覧ください。
- 接続したテレビのサイズに合わせて、テレビの画面サイズを設定してください。設定は、「システムメニュー」―「設定」―「基本設定」―「映像・音声設定」―「TVタイプ」で行います。（「操作編」の「基本設定」）

●ご注意

- テレビの画面サイズが正しく設定されていないと、DVDを再生したときワイド(16:9)テレビと接続しているのにレターボックス(4:3)の映像になるなど、意図しない再生映像になります。
- HDMI出力に切り換えたときは、D映像出力端子から信号が出力されません。
- 本体前面の停止ボタンを5秒以上押したときは映像設定がリセットされます。

設定



目次

ページ

設定のながれ	46
かんたん設定をする	47
時計を合わせる（時刻設定）	54
VHF/UHF（地上アナログ放送）のチャンネル を設定する	56
地域番号早見表/一覧表	64
地上アナログ放送の電子番組表（Gガイド）を 表示するためのデータを取得する	70
地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴 するための準備	71
地上デジタル放送を視聴するための準備	81
リモコンに登録されているチャンネルを 確認する（BS・110度CSデジタル放送） ...	87
リモコンに登録されているチャンネルを 確認する（地上デジタル放送）	89
文字入力のしかた	93
プロバイダー設定を行う	97
ネットワーク設定を行う	99
リモコンモードを設定する	105
リモコンで他機も操作できるようにする ...	107

設定のながれ

- 接続が終わってはいじめて電源を入ると、テレビ画面に「かんたん設定」画面が表示されます。
- 本機を正しくお使いいただくために、次の手順に従って正しく設定してください。

視聴する放送は…



設定作業の開始

本機の電源を入れる

はじめて本機の電源を入ると「かんたん設定」画面が表示されます。

○：必要な設定です。

かんたん設定

アンテナ電源の設定をする

- ・BS・110度CSデジタル放送用アンテナ線を接続した状況に合わせて設定します。

47
ページ

テレビとの接続を設定する

- ・本機を接続したテレビの端子やテレビのタイプを設定します。

48
ページ

オーディオ機器との接続を設定する

- ・オーディオ機器とデジタル接続したときの設定をします。

51
ページ

地上デジタル設定をする

- ・地上デジタル放送を視聴するための設定をします。

52
ページ

地上アナログ設定をする

- ・日時設定やチャンネル設定、地上アナログ放送の電子番組表(Gガイド)を表示するためのホスト局を設定します。

53
ページ

時刻設定

〔地上アナログ設定で日時設定したときは〕
設定の必要はありません。

- ・デジタル放送を視聴しないときは設定します。
- ・デジタル放送が視聴できるときは、デジタル放送チャンネルを選局すると、自動で日時が設定されます。

54
ページ

設定完了

☺ちょっと一言

- 接続後、はじめて電源を入れたときに「かんたん設定」画面が表示されないときは、120ページをご覧ください。

お使いのテレビを本機のリモコンで操作したい場合は

- 本機のリモコンでテレビを操作するためのメーカー指定については、107ページをご覧ください。

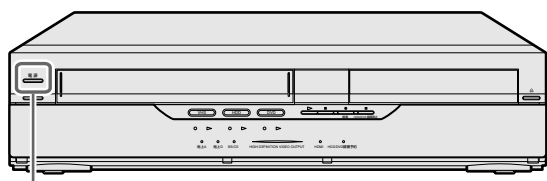
本機のリモコンを使うと、他のソニー製DVDレコーダーやDVDプレーヤーが動いてしまう場合は

- リモコンで本機を操作するためのリモコンモードの設定については、105ページをご覧ください。

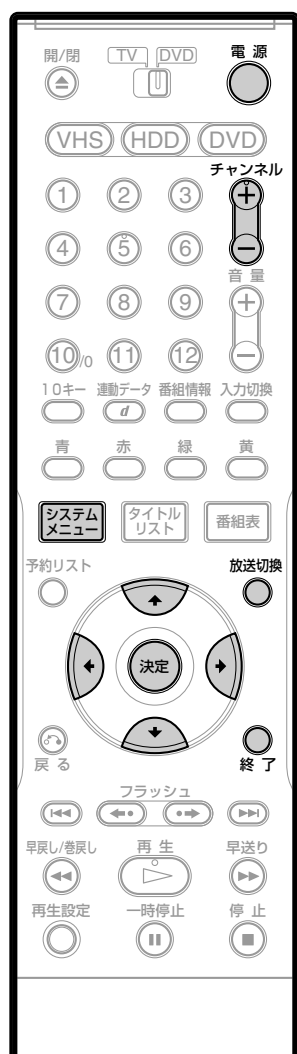
かんたん設定をする

はじめにお読みください

- お買い上げ後、はじめて本機の電源を入れると「かんたん設定」画面が表示されます。
- 「かんたん設定」画面では、はじめにアンテナの電源供給のしかたを選びます。その後、接続したテレビに合わせてテレビ側の入力端子名やオーディオ機器の種類を設定したり、地上デジタル放送や地上アナログ放送の設定をします。
- 「ハイビジョン対応テレビと接続しているときの設定」または「ハイビジョン対応テレビと接続していないときの設定」で「16:9(ワイド)」にしたときは、接続したワイドテレビの画面サイズを「フル」にすることをおすすめします。(これ以外の画面サイズではうまく映らない場合があります。)
- 「かんたん設定」画面が表示されているときは、録画や再生など本体の操作ができません。画面の指示にしたがって設定を行ってください。



電源ボタン



→ 電源を入れる

- 1 テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力チャンネル(「ビデオ1、外部入力1」など)にする

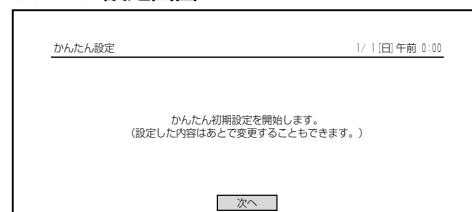


表示は例です。
お使いのテレビに
より異なります。

- 2 リモコンの●(電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

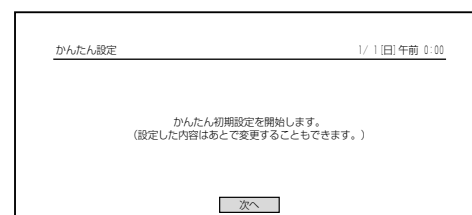
- 詳しくは「テレビと本機の準備をする」(43ページ)をご覧ください。
- 電源が入るとテレビ画面にかんたん設定画面が表示されます。

かんたん設定画面

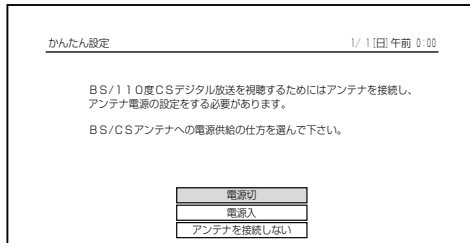


→ BS・110度CS放送用アンテナ電源の設定をする

- 3 「次へ」で●(決定)を押す

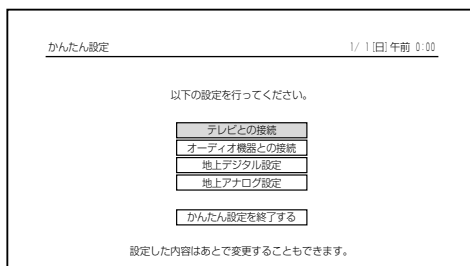


4 ↑↓でBS/CSアンテナの電源供給のしかたを選び、**決定**を押す



- マシソン等の共聴タイプでアンテナに電源を供給する必要がないときは「電源切」を選びます。
- 個別にBS・110度CSデジタル放送用アンテナを設置しているときは、「電源入」を選びます。
- BS・110度CSデジタル放送用アンテナを設置していないときは、「アンテナを接続しない」を選びます。

5 ↑↓で「かんたん設定」の設定項目を選び、**決定**を押す



- 「テレビとの接続」を選んだときは、49ページ手順7に進みます。
- 「オーディオ機器との接続」を選んだときは、51ページ手順7に進みます。
- 「地上デジタル設定」を選んだときは、52ページ手順7に進みます。
- 「地上アナログ設定」を選んだときは、53ページ手順7に進みます。
- 「かんたん設定を終了する」を選んだときは、画面が終了し、テレビ画面に戻ります。

ちょっと一言

- 「かんたん設定」画面で「アンテナ電源の設定」が表示されるのは、はじめて本機の電源を入れたときのみです。設定し直す場合は、システムメニュー画面で「設定」→「基本設定」→「デジタル放送受信設定」を選んでください。
- はじめて電源を入れたときに「かんたん設定」画面が表示されないときは、120ページをご覧ください。

→ テレビと接続したときの設定をする

ちょっと一言

- テレビのHDMI端子に接続したときは、この設定は不要です。「HDMI入力端子付きテレビと接続したときの設定をする」(44ページ)をご覧ください。

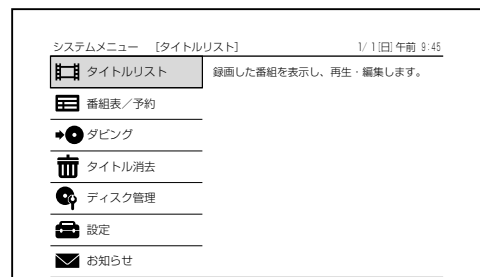
1 テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力チャンネル(「ビデオ1、外部入力1」など)にする

2 リモコンの**電源**、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

- 詳しくは「テレビと本機の準備をする」(43ページ)をご覧ください。

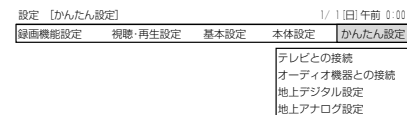
3 **システムメニュー**を押す

- システムメニューが表示されます。

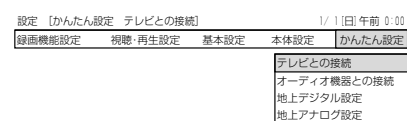


4 ↑↓で「設定」を選び、**決定**を押す

5 ←→で「かんたん設定」を選ぶ



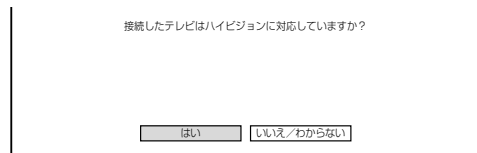
6 ↑↓で「テレビとの接続」を選び、**決定**を押す



→ ハイビジョン対応テレビと接続しているかを選ぶ

- 接続したテレビの種類(ハイビジョン対応、またはハイビジョン非対応)に合わせて、テレビ側の端子名を設定します。

7 ←→で「はい」または「いいえ/わからない」を選び、決定を押す



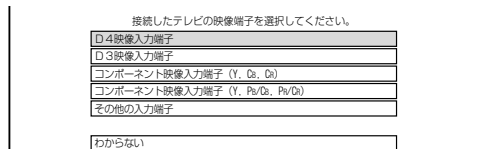
- 「はい」を選んだときは、手順8に進みます。
- 「いいえ/わからない」を選んだときは、50ページ手順8に進みます。

→ ハイビジョン対応テレビと接続しているときの設定

- 手順7で「はい」を選んだときの設定手順です。

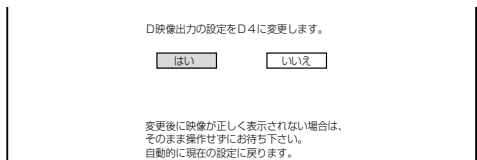
8 ↑↓でテレビ側の端子名を選び、決定を押す

- 本機を接続したテレビの端子名を選びます。



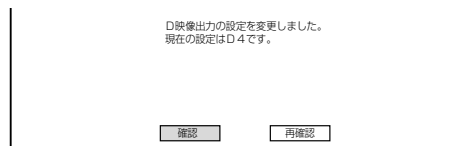
- 「その他の入力端子」または「わからない」を選んだときは、手順11の画面になります。

9 ←→で「はい」を選び、決定を押す



- 「いいえ」を選んで決定を押すと、手順8の画面に戻ります。

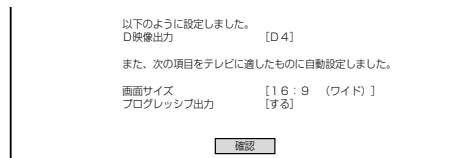
10 ←→で「確認」を選び、決定を押す



- 「再確認」を選んで決定を押すと、手順8の画面に戻ります。

11 設定内容を確認し、決定を押す

【例】「D4映像入力端子」を選んだときの画面



- 「画面サイズ」と「プログレッシブ出力」は、自動的に設定されます。
- システムメニューから設定した場合は、手順6の画面に戻ります。はじめて本機の電源を入れて設定した場合は、「BS・110度CS放送用アンテナ電源の設定をする」の手順5(48ページ)の画面に戻ります。
- 続けて別の設定をするときは、↑↓で設定したい項目を選んで決定を押します。
 - 「オーディオ機器との接続」を選んだときは、51ページ手順7に進みます。
 - 「地上デジタル設定」を選んだときは、52ページ手順7に進みます。
 - 「地上アナログ設定」を選んだときは、53ページ手順7に進みます。

12 ○(終了)を押す

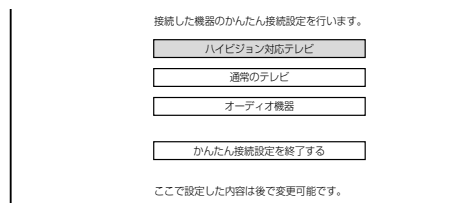
- かんたん設定が終了します。

ちょっと一言

- システムメニュー画面は1分間何も操作しないと、自動的に解除され、テレビ画面に戻ります。
- 手順8で「わからない」を選択したときは、D1(50ページ)に自動的に設定されます。

映像端子の設定を間違えたときは

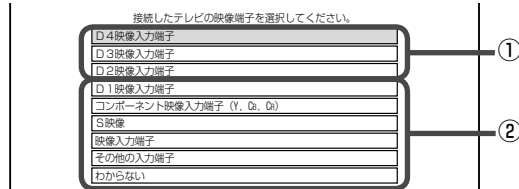
- 映像端子の設定を間違えて画面が映らなくなったときは、本体前面の停止ボタンを5秒以上押してください。映像設定がリセットされ、かんたん設定画面になります。接続設定をリセットしたときは、自動で映像出力設定を行うため、テレビと接続する映像ケーブルは映像ケーブル、S映像ケーブル、D映像ケーブル、HDMIケーブルのうちどれか一つのタイプにしてください。



→ ハイビジョン対応テレビと接続していないときの設定

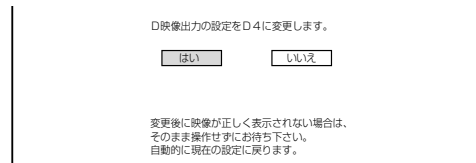
- 49ページ手順7で「いいえ/わからない」を選んだときの設定手順です。

8 ↑↓でテレビ側の端子名を選び、決定を押す



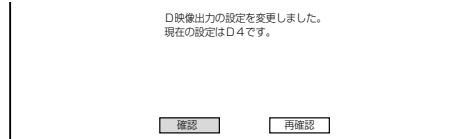
- ①の端子名を選んだときは、手順9に進みます。
- ②の端子名または「わからない」を選んだときは、手順11に進みます。
- 接続した端子の名前が画面に表示されない/わからない場合は、「その他の入力端子」または「わからない」を選んで決定を押します。（「わからない」を選ぶと、自動的に「D1」に設定されます。）

9 ←→で「はい」を選び、決定を押す



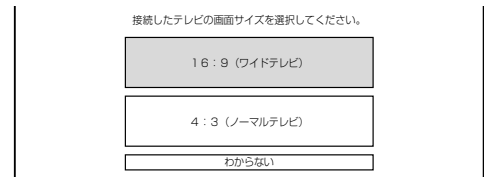
- 「いいえ」を選んで決定を押すと、手順8の画面に戻ります。

10 ←→で「確認」を選び、決定を押す



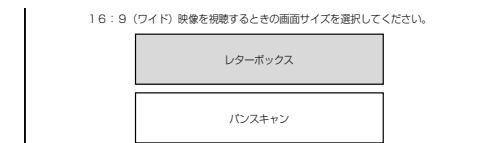
- 「再設定」を選んで決定を押すと、手順8の画面に戻ります。

11 ↑↓でテレビの画面サイズを選び、決定を押す



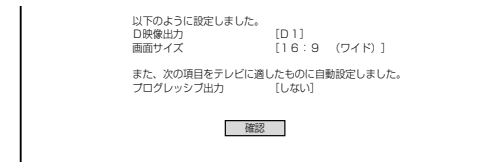
- 「16:9(ワイド)」を選んだときは、手順13に進みます。
- 「4:3 (ノーマル)」を選んだときは、手順12に進みます。
- 接続したテレビの画面サイズがわからない場合も、「わからない」を選んで決定を押します。（「わからない」を選ぶと、自動的に「4:3 (ノーマル)」に設定されます。）

12 ↑↓でワイド映像を視聴するときの画面サイズを選び、決定を押す



13 設定内容を確認し、決定を押す

【例】「D1映像入力端子」「16:9(ワイド)」を選んだときの画面



- 「プログレッシブ出力」は自動的に設定されます。
- 手順8で②の端子名を選んだときは、D映像出力「D1」に設定されます。
- システムメニューから設定した場合は、手順6の画面に戻ります。はじめて本機の電源を入れて設定した場合は、「BS・110度CS放送用アンテナ電源の設定をする」の手順5（48ページ）の画面に戻ります。
- 続けて別の設定をするときは、↑↓で設定したい項目を選んで決定を押します。
 - ▶ 「オーディオ機器との接続」を選んだときは、51ページ手順7に進みます。
 - ▶ 「地上デジタル設定」を選んだときは、52ページ手順7に進みます。
 - ▶ 「地上アナログ設定」を選んだときは、53ページ手順7に進みます。

14 ○(終了)を押す

- かんたん設定が終了します。

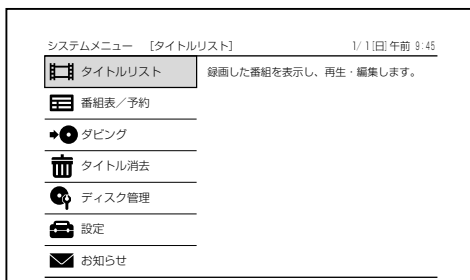
→ オーディオ機器と接続したときの設定をする

- オーディオ機器を接続したときは、オーディオ機器の種類に合わせて設定します。

- ① テレビの電源を入れる
- ② テレビの入力切換を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする

- リモコンの●(電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる
 - 詳しくは「テレビと本機の準備をする」(43ページ)をご覧ください。

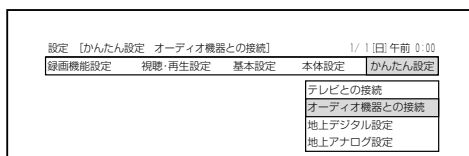
- システムメニューを押す
 - システムメニューが表示されます。



- ↑↓で「設定」を選び、決定を押す

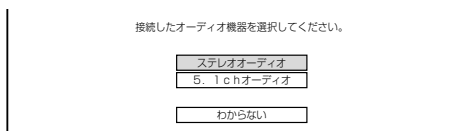
- ←→で「かんたん設定」を選ぶ

- ↑↓で「オーディオ機器との接続」を選び、決定を押す



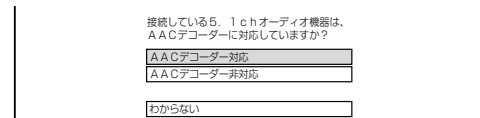
- ↑↓で「ステレオオーディオ」、または「5.1chオーディオ」を選び、決定を押す

- ステレオオーディオ…2ch(ステレオタイプ)のオーディオ機器、HDMI端子付きのテレビと接続したときに選びます。
- 5.1chオーディオ…5.1ch対応のオーディオ機器とデジタル接続したとき、または5.1ch対応のHDMI端子付きテレビと接続したときに選びます。

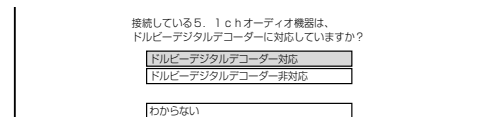


- 「ステレオオーディオ」または「わからない」を選んだときは、手順10に進みます。
- 「5.1chオーディオ」を選んだときは、手順8に進みます。

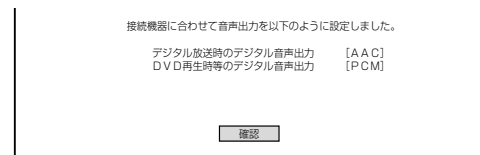
- ↑↓で「AACデコーダー対応」、または「AACデコーダー非対応」を選び、決定を押す



- ↑↓で「ドルビーデジタルデコーダー対応」、または「ドルビーデジタルデコーダー非対応」を選び、決定を押す



- 設定内容を確認し、決定を押す



- システムメニューから設定した場合は、手順5の画面に戻ります。はじめて本機の電源を入れて設定した場合は、「BS・110度CS放送用アンテナ電源の設定をする」の手順5(48ページ)の画面に戻ります。
- 続けて別の設定をするときは、↑↓で設定したい項目を選んで決定を押します。
 - ▶ 「地上デジタル設定」を選んだときは、52ページ手順7に進みます。
 - ▶ 「地上アナログ設定」を選んだときは、53ページ手順7に進みます。

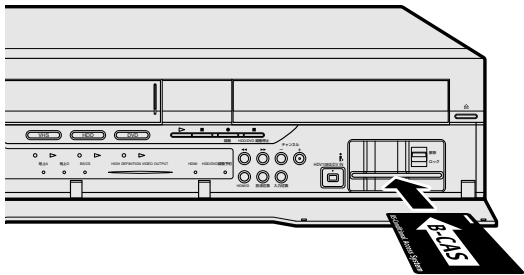
- (終了)を押す
 - かんたん設定が終了します。

💡ちょっと一言

- 手順8、9で「わからない」を選んだときは、「ステレオオーディオ」で楽しめる設定に、自動的に設定されます。

→ 地上デジタル放送の受信設定をする

- 1 ① テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする
- ② 付属のB-CASカードを本体にセットし、ロックする



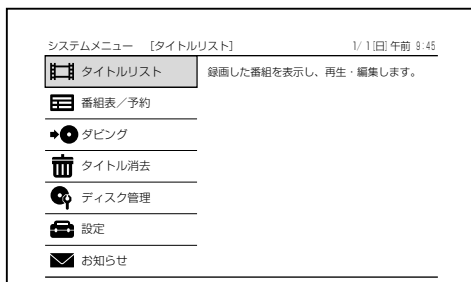
- 詳しくは73ページをご覧ください。

2 リモコンの●(電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

- 詳しくは「テレビと本機の準備をする」(43ページ)をご覧ください。

3 システムメニューを押す

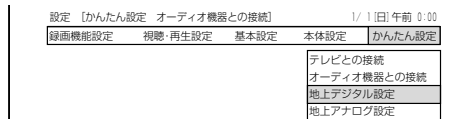
- システムメニューが表示されます。



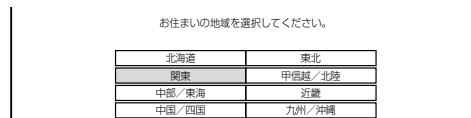
4 ↑↓で「設定」を選び、決定を押す

5 ←→で「かんたん設定」を選ぶ

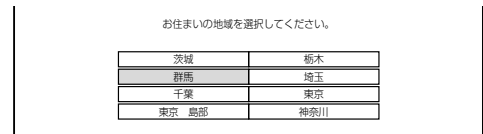
6 ↑↓で「地上デジタル設定」を選び、決定を押す



7 ↑↓←→でお住まいの地域を選び、決定を押す

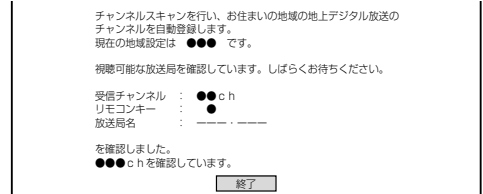


8 ↑↓←→でお住まいの住所に最も近い地域を選び、決定を押す

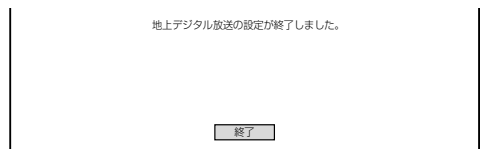


- 設定が開始され、確認中の画面が表示されます。

9



- 設定が終了すると、登録終了の画面になります。



- 途中で中止を押したときは、チャンネル設定がされません。再度設定し直すときは、「地上デジタルチャンネル設定」(83・84ページ)で設定し直してください。

10 「終了」で決定を押す

- システムメニューから設定した場合は、手順6の画面に戻ります。はじめて本機の電源を入れて設定した場合は、「BS・110度CS放送用アンテナ電源の設定をする」の手順5(48ページ)の画面に戻ります。
- 続けて別の設定をするときは、↑↓で設定したい項目を選んで決定を押します。
 - ▶ 「地上アナログ設定」を選んだときは、53ページ手順7に進みます。

11 ○(終了)を押す

- かんたん設定が終了します。

🗨️ ちょっと一言

- 本機で受信できるケーブルテレビ(CATV)放送サービスの地上デジタル放送は「CATVパススルー方式」で配信されている放送です。(「トランスモジュレーション方式」には対応していません。)

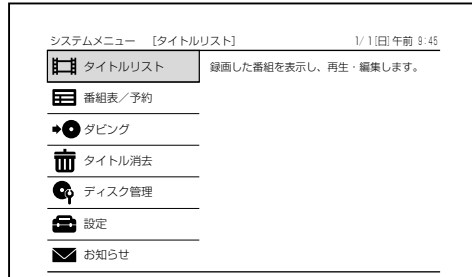
CATVパススルー方式とは

- CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままCATV網に渡す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。本機で受信できるのは、「UHF帯」、「VHF帯」、「ミッドバンド(MID:C13～C22)帯」、「スーパーハイバンド(SHB:C23～C62)帯」です。(トランスモジュレーション方式には対応していません。)

→ 地上アナログ放送の受信設定をする

- ① テレビの電源を入れる
 - ② テレビの入力切替を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする
- 2 リモコンの $\odot$ (電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる
- 詳しくは「テレビと本機の準備をする」(43ページ)をご覧ください。

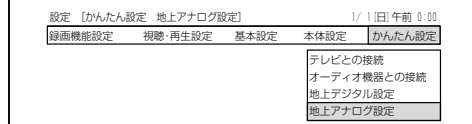
- 3 を押す
- ・システムメニューが表示されます。



- 4 $\uparrow\downarrow$ で「設定」を選び、 $\odot$ を押す

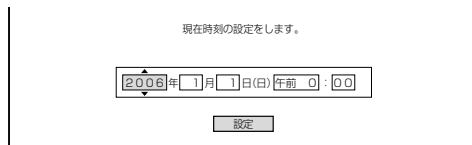
- 5 $\leftarrow\rightarrow$ で「かんたん設定」を選ぶ

- 6 $\uparrow\downarrow$ で「地上アナログ設定」を選び、 $\odot$ を押す



7 現在日時を設定する

- ① $\leftarrow\rightarrow$ で「年」「月」「日」「時」「分」「設定」を選ぶ
 - ② $\uparrow\downarrow$ で「年」「月」「日」「時」「分」を入力する
 - ③ $\leftarrow\rightarrow$ で「設定」を選び、 $\odot$ を押す
- 詳しくは54ページの「時計を合わせる」をご覧ください。



- ・デジタル放送を受信していない場合のみ、日時を設定します。
- ・デジタル放送を受信している場合は、設定を変更せずに、 $\leftarrow\rightarrow$ で「設定」を選び、 $\odot$ を押してください。

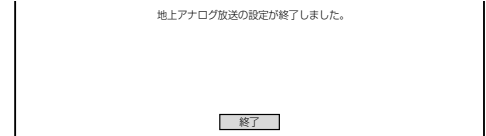
- 8 $\uparrow\downarrow$ でお住まいの地域を選び、 $\odot$ を押す



- 9 $\uparrow\downarrow$ でお住まいの住所に最も近い地域を選び、 $\odot$ を押す



- 10 「終了」で $\odot$ を押す

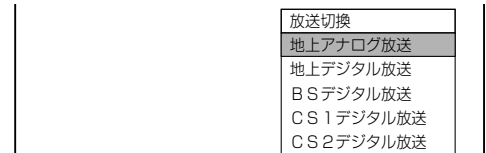


- ・システムメニューから設定した場合は、手順6の画面に戻ります。はじめて本機の電源を入れて設定した場合は、「BS・110度CS放送用アンテナ電源の設定をする」(48ページ)の画面に戻ります。

- 11 $\odot$ (終了)を押す

- ・かんたん設定が終了します。

- 12 ① $\odot$ (放送切替)を押して「地上アナログ放送」を選び、 $\odot$ を押す



- ② リモコンの $\oplus\ominus$ (チャンネル+/-)を押す、すべての放送が受信できるか確認する

💡ちょっと一言

- ・ケーブルテレビ(CATV)放送サービスで放送を受信しているときや、地上デジタル放送のサービス開始にともない地上アナログ放送の周波数が変更されている場合など、上記の地上アナログ設定を行っても、放送が受信できない場合があります。そのようなときは、「1局ずつ手動で設定する」(59ページ)でチャンネルを設定し直してください。

時計を合わせる (時刻設定)

はじめにお読みください

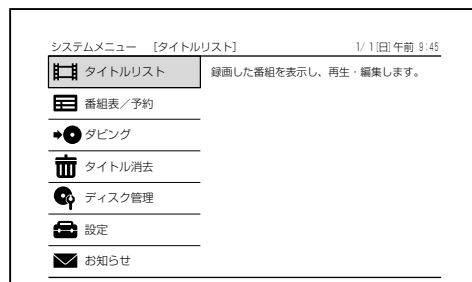
- デジタル放送を受信すると、自動的に時計合わせが行われます。デジタル放送が受信できるときは、下記の手順で時計を合わせる必要がありません。
- デジタル放送を受信できないときは、下記の手順で時計合わせを行ってください。



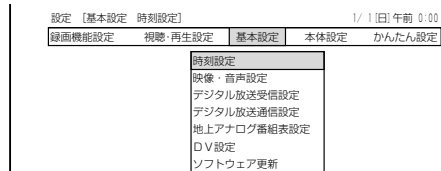
[例] 2006年4月20日(木)午前9時45分に合わせる

- ① テレビの電源を入れる
 - ② テレビの入力切替を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする
- 2** リモコンの●(電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる
- 詳しくは「テレビと本機の準備をする」(43ページ)をご覧ください。

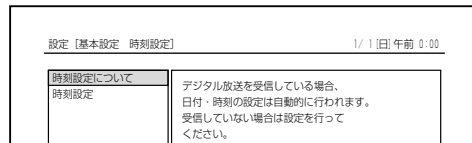
- ① システムメニューを押す
- ② ↑↓で「設定」を選び、決定を押す



- ① ←→で「基本設定」を選ぶ
- ② ↑↓で「時刻設定」を選び、決定を押す



- ⑤ ↑↓で「時刻設定」を選び、決定を押す



6 ↑↓で「年」を入力し、決定を押す

- カーソルが「月」の欄に移動します。

7 ↑↓で「月」を入力し、決定を押す

- カーソルが「日」の欄に移動します。
- 入力した欄を修正したいときは、←→で修正したい欄に移動し、↑↓で入力し直します。

8 同様の操作で「日」「時」「分」を入力する

- 「分」を入力して決定を押すと、カーソルが「設定」の欄に移動します。

9 「設定」で決定を押す

- 日時が設定され、手順5の画面に戻ります。

10 ○(終了)を押し、設定を終了する

💡ちょっと一言

- 時計合わせがされていないときは、録画予約やダビングが行えません。

VHF/UHF(地上アナログ放送)のチャンネルを設定する

お住まいの地域によって、受信できるチャンネルは違います。引っ越しなどでお住まいの地域が変わったときなどは、次の「受信チャンネル設定のすすめかた」をご覧ください。受信チャンネルを設定してください。

工場出荷時(地域番号「000」)は、VHF1～12チャンネルが受信できるよう設定されています。

→ 受信チャンネル設定のすすめかた

- チャンネル設定には「地域番号設定」と「手動チャンネル設定」(1局ずつ個別にチャンネルを設定)の2つの方法があります。
- かんたん設定の「地上アナログ設定」を行ったときは、地域番号設定によるチャンネル設定の必要はありません。選んだ地域が設定されています。

スタート

64ページ「地域番号早見表」と65～69ページ「地域番号一覧表」をご覧ください。お住まいの地域にもっとも近い地域番号をさがします。

地域番号設定 で地域番号を入力し地上波/BS設定をする 57ページ

※「かんたん設定」で「地上アナログ設定」(53ページ)を行ったときは必要ありません。

リモコンの(+)(-)(チャンネル+/-)を押して、設定されたチャンネルを確認する

追加したいチャンネルがありますか？
まったく映らない・映りの悪いチャンネルがありますか？

いいえ

はい

手動チャンネル設定 で1局ずつ手動で個別に設定する 59ページ

テレビ画面に表示されるチャンネル表示(数字)を変えたいですか？

いいえ

はい

表示チャンネルを変更する 61ページ

不要なチャンネルを飛ばしたいですか？

いいえ

はい

チャンネルスキップを設定する 62ページ

ゴール

チャンネル設定は終了しました

■「地域番号設定」とは

ご使用になる場所にもっとも近い都市(受信している電波を送信している都市)を64ページに記載の地域番号早見表から選び「地域番号」を入力する方法です。

- その地域ごとに、あらかじめ見られる放送局の受信チャンネルを定めた設定方法です。
- 地域番号一覧表(65～69ページ)には放送局名を記載しています。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは「手動チャンネル設定」で設定してください。

■「手動チャンネル設定」とは

地域番号一覧表に当てはまらない地域や、チャンネル設定後ほかのチャンネルを追加したり削除するとき、チャンネルを1局ずつ個別に設定する方法です。

ケーブルテレビ(CATV)をご覧くださいときは

- ケーブルテレビ(CATV)を受信するときは、ケーブルテレビ(CATV)専用のホームターミナル(アダプター)が必要になります。(スクランブルのかかった放送は有料です。)
- ケーブルテレビ(CATV)を受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ(CATV)会社との受信契約が必要です。さらにスクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくは、ケーブルテレビ(CATV)会社にご相談ください。
- ケーブルテレビ(CATV)の受信は、サービスが行われている地域に限ります。

地域番号で自動設定する

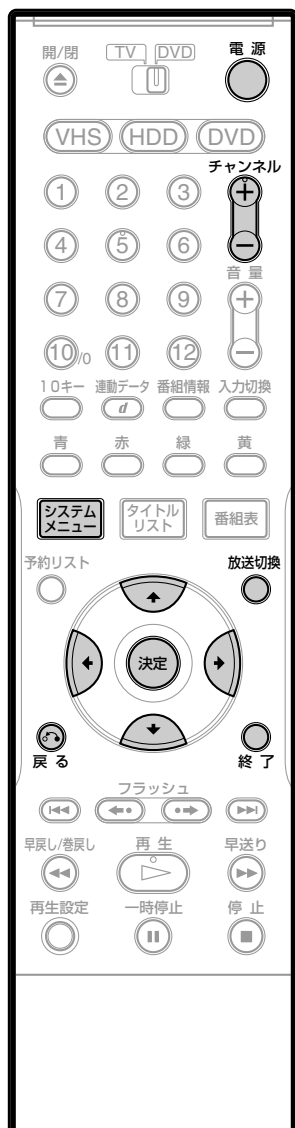
- 「かんたん設定をする」の「地上アナログ放送の受信設定をする」(53ページ)を設定したときはこの設定は必要ありません。

はじめにお読みください

- 地域番号を入力し、自動でチャンネル設定を行います。
- 電子番組表(Gガイド)を使うときは、電子番組表(Gガイド)データを取得するために必ず地域番号によるチャンネル設定を行ってください。

ご注意

- 設定中に約1分間何も操作しないと、システムメニュー画面が解除され、通常画面に戻ります。もう一度 **システム** を押し、初めから操作し直してください。



1

- ① テレビの電源を入れる
- ② テレビの入力切替を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする

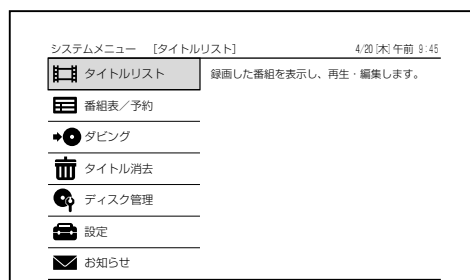
2

リモコンの**電源**、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

- 詳しくは「テレビと本機の準備をする」(43ページ)をご覧ください。

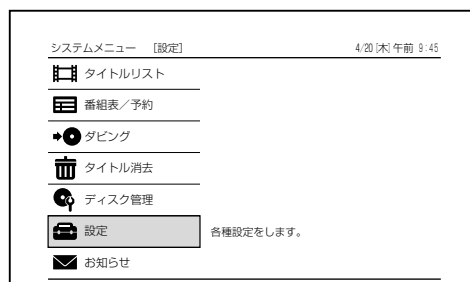
3

システム を押し、システムメニュー画面を表示する



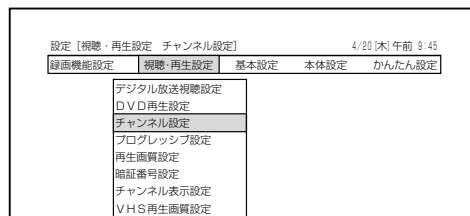
4

↑↓で「**設定**」を選び、**決定**を押す



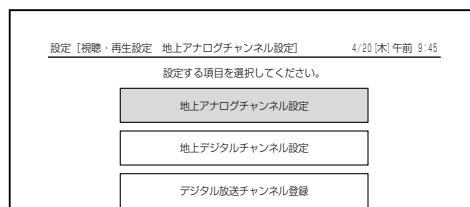
5

- ① ←→で「視聴・再生設定」を選ぶ
- ② ↑↓で「チャンネル設定」を選び、**決定**を押す

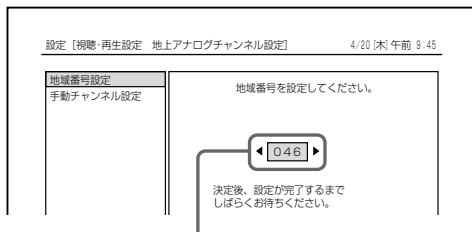


6

↑↓で「**地上アナログチャンネル設定**」を選び、**決定**を押す



- 7**
- ① **↑↓**で「地域番号設定」を選び、**決定**を押す
 - ② 地域番号早見表(64ページ)または地域番号一覧表(65～69ページ)で確認した地域番号を**←→**で選ぶ

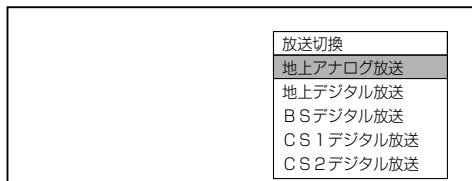


(例：神奈川県横浜市)

- **戻る**を押すと、前の画面に戻ります。
- 電子番組表(Gガイド)データがある場合に地域番号を設定(変更)すると、データが消えます。

- 8**
- ③ **決定**を押す
 - 自動設定が実行されます。しばらくお待ちください。

- 9**
- ④ **終了**を押し、設定を終了する
 - **放送切換**を何回か押して「地上アナログ放送」を選んで**決定**を押し、リモコンの**チャンネル+**/**チャンネル-**を押し、受信したいチャンネルがすべて映るかを確認します。



- 放送が映らない、または追加したいチャンネル、映りの悪いチャンネルがある場合は、「手動チャンネル設定」で設定してください。(59ページ)

1局ずつ手動で設定する

ご使用になる地域ごとに受信できる放送局(チャンネル)をさがし、チャンネルを設定してください。

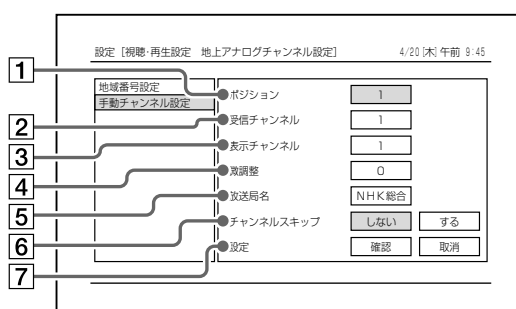
はじめにお読みください

次の場合は、「手動チャンネル設定」で1局ずつ受信チャンネルを設定してください。

- 地域番号で自動設定できないとき。(ケーブルテレビ放送を受信しているとき)
- 地域番号で自動設定後に、受信チャンネルを追加したいとき。
- 地域番号で自動設定された受信チャンネルがきれいに映らないとき。
- 放送のないチャンネルをとばしたい(スキップさせたい)とき。
- 本機をお使いになる地域ごとに受信できる放送(チャンネル)をさがし、チャンネルを設定してください。

手動チャンネル設定画面で使われる用語

画面表示



1 ポジションとは(61ページ・手順7)

- ご使用の地域で受信できる放送を入れる場所のことで、選局する順番を表します。
- 本機では、放送を入れる場所が地上アナログ放送(VHF/UHF)で1～62ポジションがあります。
- ※1～12ポジションは、リモコンの①～⑫で選局できます。
- 13～62ポジションは、⊕ ⊖(チャンネル+/-)で選局します。出荷時の設定では13～62ポジションは、チャンネルスキップが設定されています。
- 1～62の各ポジションには、お好みで放送(地上アナログ放送/ケーブルテレビ(CATV)放送)を入れることができます。

2 受信チャンネルとは(61ページ・手順8)

- 放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。
- 本機は、地上アナログ放送(VHFは1～12チャンネル、UHFは13～62チャンネル)、ケーブルテレビ(CATV)放送(C13～C63チャンネル)を受信できます。
- ケーブルテレビ(CATV)放送を受信するときは、ここでケーブルテレビ(CATV)の受信チャンネルを設定します。

3 表示チャンネルとは(61ページ・手順9)

- テレビ画面に表示されるチャンネル(数字)のことです。
- (予約録画時の選局は、この表示で行います。)
- ご使用の地域で使われている使い慣れたチャンネル表示にしておくとう便利です。

4 微調整とは(61ページ・手順10)

- 映像の色がうすく見づらいときなどに、受信チャンネルを微調整します。

5 放送局名とは(61ページ・手順11)

- 電子番組表(Gガイド)を表示させたときに表示される放送局名のことで、地域番号で設定されている放送局名が表示されます。
- 手動チャンネル設定で設定できる放送局名は、地域番号一覧表で選んだ地域に記載されている放送局名しか選択できません。

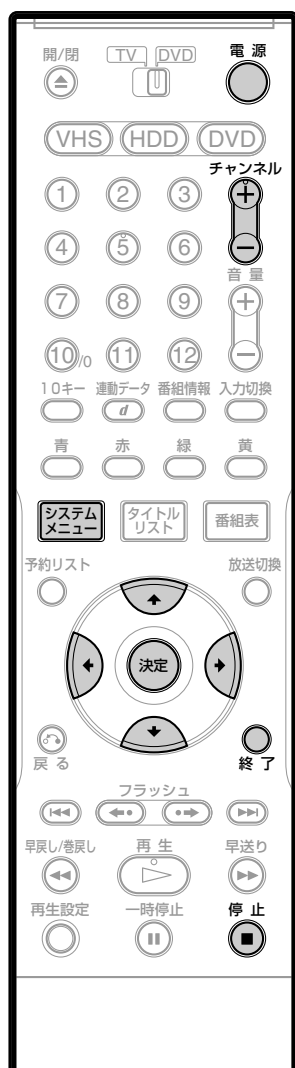
6 チャンネルスキップとは(62ページ・手順12)

- 「する」に設定したチャンネルは、本体の選局ボタンやリモコンの⊕ ⊖(チャンネル+/-)ボタンを押したときに、飛び越して選局されます。
- 放送のないチャンネルを飛ばしたいときに便利な機能です。
- 本機の13～62ポジションは、チャンネルスキップ「する」に設定されています。
- 地域番号一覧表に記載されているチャンネルをスキップ設定すると、電子番組表(Gガイド)にそのチャンネルが表示されなくなります。

7 設定とは(62ページ・手順13)

- 設定した内容を設定するかしないかの確認です。「取消」を選ぶと、設定内容を取り消すことができます。

VHF/UHF(地上アナログ放送)のチャンネルを設定する つづき



電子番組表(Gガイド)を使用するとき

- 電子番組表(Gガイド)を配信するホスト局(TBS系列の放送局)は各地域ごとに異なりますので、地域番号を設定していないと電子番組表(Gガイド)が受信できません。
- 手動チャンネル設定をするときは、**65～69**ページの地域番号一覧表に記載されている番号どおりに、その放送局が映るように受信チャンネルを設定してください。
- 各ポジションに割り当てられている放送局名を変更したときは、**61**ページの手順**11**で正しい放送局名を設定してください。

例) 東京の場合、地域番号(地域コード)で自動設定すると、次のように設定されます。

ホスト局 → TBS
受信チャンネル → 6
ポジション → 6

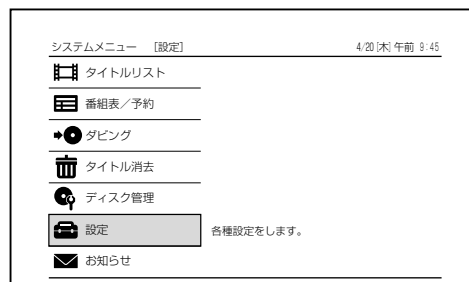
この設定を、ポジション「11」にTBSが映るように変更したときは、ポジション11の放送局名を「TBS」に設定します。放送局名を設定しないと、電子番組表(Gガイド)が受信できなくなります。

⑥ ご注意

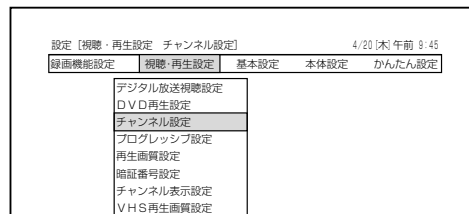
- 電子番組表(Gガイド)を使用するときは、手動チャンネル設定をする場合でも必ず先に地域番号(地域コード)によるチャンネル設定を行ってください。
- HDDやDVDを再生しているときは、**●**(停止)を押して再生を止めます。(再生中は、設定ができません。)

[例] ポジション[5]に、UHF放送「42」チャンネルを受信し、表示チャンネルを「5」に設定する

- ① テレビの電源を入れる
② テレビの入力切換を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする
- ① リモコンの**●**(電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる
• 詳しくは「テレビと本機の準備をする」(43ページ)をご覧ください。
- ① **システム**を押し、システムメニュー画面を表示する
② **↑↓**で「設定」を選び、**決定**を押す



- ① **←→**で「視聴・再生設定」を選ぶ
② **↑↓**で「チャンネル設定」を選び、**決定**を押す



5 ↑↓で「地上アナログチャンネル設定」を選び、**決定**を押す

設定 [視聴・再生設定] 地上アナログチャンネル設定 4/20 [木] 午前 9:45	
設定する項目を選択してください。	
地上アナログチャンネル設定	
地上デジタルチャンネル設定	
デジタル放送チャンネル登録	

6 ↑↓で「手動チャンネル設定」を選び、**決定**を押す

設定 [視聴・再生設定] 地上アナログチャンネル設定 4/20 [木] 午前 9:45		
地域番号設定	ポジション	1
手動チャンネル設定	受信チャンネル	1
	表示チャンネル	1
	微調整	0
	放送局名	NHK総合
	チャンネルスキップ	しない
	設定	確認 取消

- 手動チャンネル設定画面が表示されます。

7 ←→で「ポジション」の入力欄に「5」を入力する

設定 [視聴・再生設定] 地上アナログチャンネル設定 4/20 [木] 午前 9:45		
地域番号設定	ポジション	5
手動チャンネル設定	受信チャンネル	14
	表示チャンネル	14
	微調整	0
	放送局名	MXTV
	チャンネルスキップ	しない
	設定	確認 取消

- ポジションは、1～62があります。
- →を押すと、ポジションが進みます。
- ←を押すと、ポジションが戻ります。

8 ↑↓で「受信チャンネル」の入力欄を選び、←→で「42」を入力する

設定 [視聴・再生設定] 地上アナログチャンネル設定 4/20 [木] 午前 9:45		
地域番号設定	ポジション	5
手動チャンネル設定	受信チャンネル	42
	表示チャンネル	14
	微調整	0
	放送局名	MXTV
	チャンネルスキップ	しない
	設定	確認 取消

- →を押すと、受信チャンネルがつぎのように切り換わります。

1→2……61→62→C13→C14……C63

- ←を押すと、受信チャンネルがつぎのように切り換わります。

C63……C14→C13→62→61……2→1

- 受信チャンネルの数値がわからないときは、リモコンの←または→を繰り返し押し、画面表示の周囲の映像や画面表示内に薄く透けて見える映像を確認しながら受信したい放送局の映像を出してください。

9 ↑↓で「表示チャンネル」の入力欄を選び、←→で「5」を入力する

- ←→を押すと、チャンネル表示が次のように変わります。

1→2……61→62→C13→C14……C62→C63→

- →を押すと、チャンネル表示が進みます。
- ←を押すと、チャンネル表示が戻ります。
- 予約録画するときは、ここで設定したチャンネル表示で選局してください。

設定 [視聴・再生設定] 地上アナログチャンネル設定 4/20 [木] 午前 9:45		
地域番号設定	ポジション	5
手動チャンネル設定	受信チャンネル	42
	表示チャンネル	5
	微調整	0
	放送局名	MXTV
	チャンネルスキップ	しない
	設定	確認 取消

10 ↑↓で「微調整」の欄を選び、←→で映像が正しく映るよう調整する

- 調整の必要がないときは、手順11に進みます。

設定 [視聴・再生設定] 地上アナログチャンネル設定 4/20 [木] 午前 9:45		
地域番号設定	ポジション	5
手動チャンネル設定	受信チャンネル	42
	表示チャンネル	5
	微調整	0
	放送局名	MXTV
	チャンネルスキップ	しない
	設定	確認 取消

11 ↑↓で「放送局名」を選び、←→で設定されている放送局名を選ぶ

設定 [視聴・再生設定] 地上アナログチャンネル設定 4/20 [木] 午前 9:45		
地域番号設定	ポジション	5
手動チャンネル設定	受信チャンネル	42
	表示チャンネル	5
	微調整	0
	放送局名	TVKテレビ
	チャンネルスキップ	しない
	設定	確認 取消

- 選択できる放送局名は、地域番号で設定されている放送局名です。地域番号一覧表に載っていない放送局を追加したときは「表示しない」を選びます。
- 地域番号一覧表に載っていない放送局名は、電子番組表(Gガイド)に表示できません。放送局名の「放送大学」は電子番組表(Gガイド)に表示できません。

12 ↑↓で「チャンネルスキップ」の欄を選び、←→で「しない」を選び、(決定)を押す

設定 [視聴・再生設定 地上アナログチャンネル設定] 4/20 [木] 午前 9:45

地域番号設定	ポジション	5
手動チャンネル設定	受信チャンネル	42
	表示チャンネル	5
	微調整	0
	放送局名	TVKテレビ
	チャンネルスキップ	しない する
	設定	確認 取消

- チャンネルスキップを「する」に設定すると、(+) (-)(チャンネル+/-)で選局したときにそのチャンネルが飛ばされます。
- ポジション13～62は、チャンネルスキップ「する」に設定されています。

13 ↑↓で「設定」の欄を選ぶ

設定 [視聴・再生設定 地上アナログチャンネル設定] 4/20 [木] 午前 9:45

地域番号設定	ポジション	5
手動チャンネル設定	受信チャンネル	42
	表示チャンネル	5
	微調整	0
	放送局名	TVKテレビ
	チャンネルスキップ	しない する
	設定	確認 取消

14 ←→で「確認」を選び、(決定)を押す

- 「確認」を選んで(決定)を押さないと、設定されません。
- これで1ポジション分のチャンネル設定が終わりました。引き続き他のチャンネルを設定したいときは、手順7～14をくり返してください。

15 ○(終了)を押し、設定を終了する

🗨️ ちょっと一言

ケーブルテレビ(CATV)をご覧になるときは

- ケーブルテレビ(CATV)を受信するときは、ケーブルテレビ(CATV)専用のホームターミナル(アダプター)が必要になります。(スクランブルのかかった放送は有料です。)
- ケーブルテレビ(CATV)を受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ(CATV)会社との受信契約が必要です。さらにスクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくは、ケーブルテレビ(CATV)会社にご相談ください。
ケーブルテレビ(CATV)の受信は、サービスが行われている地域に限ります。
- ケーブルテレビ(CATV)を受信して電子番組表(Gガイド)をご使用になる場合については、120ページの補足説明をご覧ください。

→ 番組表取得チャンネルの設定を確認・変更する

本機の取得チャンネル(番組表データを受信するチャンネル)がホスト局(番組表データを配信する放送局)に合っているかを確認し、設定し直します。「手動チャンネル設定」でホスト局の「ポジション」を変更した場合などにも必要です。

1 ① [システムメニュー] を押し、システムメニュー画面を表示する

② ↑↓で「設定」を選び、(決定)を押す

2 ① ←→で「基本設定」を選ぶ

② ↑↓で「地上アナログ番組表設定」を選び、(決定)を押す

3 ↑↓で「取得チャンネル」を選び、(決定)を押す

設定 [基本設定 地上アナログ番組表設定] 4/20 [木] 午前 9:45

取得チャンネル	番組表データを送信している放送局(ホスト局)を設定します。 *通常は変更する必要はありません。												
取得時刻設定	<table border="1"> <tr> <td>NHK総合</td> <td>TVKテレビ</td> </tr> <tr> <td>NHK教育</td> <td>テレビ朝日</td> </tr> <tr> <td>日本テレビ</td> <td>テレビ東京</td> </tr> <tr> <td>MX TV</td> <td></td> </tr> <tr> <td>TBS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フジテレビ</td> <td></td> </tr> </table>	NHK総合	TVKテレビ	NHK教育	テレビ朝日	日本テレビ	テレビ東京	MX TV		TBS		フジテレビ	
NHK総合	TVKテレビ												
NHK教育	テレビ朝日												
日本テレビ	テレビ東京												
MX TV													
TBS													
フジテレビ													
	番組表を取得しない												

4 ○(終了)を押し、設定を終了する

→ 「手動チャンネル設定」で設定したチャンネルをGコード®で予約するためのチャンネル設定

- Gコード予約は、新聞、雑誌などのテレビ番組欄に載っているGコード番号を使って予約録画をする機能です。
- Gコード予約では、1カ月先までの番組予約ができます。

新聞のテレビ番組欄（例）

12時	12:00 ニュースですよ！	35442	Gコード番号
	12:20 和の美学 日本庭園の美を徹底解剖	705820	



- ① テレビの電源を入れる
- ② テレビの入力切換を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする

2 リモコンの●(電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

- 詳しくは「テレビと本機の準備をする」(43ページ)をご覧ください。

3 手動チャンネル設定した放送局をGコード予約する

- ① **システム**を押し、**↑↓**で「番組表/予約」を選び、**決定**を押す
- ② **↑↓**で「Gコード予約」を選び、**決定**を押す
- ③ 数字ボタンを押して、番組表のGコード番号を入力する
- ④ **決定**を押す

- 手動チャンネル設定で設定したチャンネルは、Gコード予約を設定したとき、予約チャンネルの欄は次のような表示(「—」)になります。

チャンネル表示

番組表/予約		4/20 [木] 午前 9:45	
■日時指定予約			
月日	開始時刻	終了時刻	チャンネル
10/17	[火] 午後10:30	午後11:00	地A
HDD残時間: 57時間00分		記録時間: 1時間00分	
完了		詳細設定	

4 ←→でチャンネル「—」の項目を選ぶ

5 ↑↓で予約したいチャンネルを選び、決定を押す

- 一度設定すると、そのチャンネルが記憶されます。
- Gコード予約について詳しくは、「操作編」の「Gコード®システムで予約する」をご覧ください。
- 手動チャンネル設定した放送局をすべて設定します。

地域番号早見表/一覧表

→ 地域番号早見表

地上デジタル放送の開始にともなう受信チャンネルの変更について

- 2003年12月以降、お住まいの地域ごとに地上デジタル放送が開始されます。
- 地域によっては受信チャンネルが変更されるところもありますので、地域番号を設定しても映らない放送局は「1局ずつ手動で設定する」(59ページ)で受信チャンネルを変更してください。

五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号
あ	会 津 若 松	030	く	呉	104	に	二 戸	018
	青 森(弘 前)	013		気 仙 沼	021		延 岡	130
	明 石(加 古 川)	090		高 知	116		函 館	008
	秋 田	022		甲 府	050		秦 野	048
	阿 久 根	132		神 戸	085		八 王 子	043
	旭 川	003		神 戸 灘	086		八 戸	014
	網 走	011		五 條	092		浜 田	097
い	飯 田	054	さ	さ い た ま	037	ひ	浜 松	068
	諫 早	125		佐 賀 1	122		彦 根	080
	石 巻	020		佐 世 保	124		日 立	032
	伊 勢	077		札 幌(江 別)	001		姫 路	089
	今 治	114	し	静岡(清水・焼津)	067		平 塚(茅ヶ崎)	047
	い わ き	029		島 田	071		広 島	101
	岩 国	108		下 関	106	ふ	福 井	062
う	宇 都 宮	033		上 越	057		福 岡	117
	宇 部	107	せ	仙 台	019		福 島(郡 山)	028
	宇 和 島	115		高 岡	059		福 知 山	083
お	大 分(別 府)	127		高 松	110		福 山	102
	大 阪	084	ち	高 摩	044		富 士(富 士 宮)	069
	大 館	023		秩 父	039	ま	藤 枝	072
	大 津	079		千 葉	040		舞 鶴	082
	大 曲	024		銚 子	041		前 橋(伊勢崎・高崎)	035
	大 牟 田	119	つ	津	076		松 江	096
	岡 谷・ 諏 訪	055		津 山	099		松 本	053
	岡 山(倉 敷)	098		鶴 岡(酒 田)	026		松 山	112
	沖 縄	134		敦 賀	063	み	丸 亀	111
	小 樽	002	と	東 京 2 3 区	042		三 木	088
	小 田 原	049		徳 島	109		三 島・ 沼 津	070
	尾 道	103		鳥 取	095		水 戸	031
	帯 広	009		苫 小 牧	007	む	宮 崎(都 城)	129
か	海 南・ 田 辺	094		富 山	058		む つ	015
	鹿 児 島	131	な	豊 田	075	も	室 蘭	006
	笠 岡	100		豊 橋(豊 川)	074		盛 岡	016
	金 沢(小 松)	060		長 崎	123	や	矢 板	034
	釜 石	017		中 津	128		山 形	025
	鹿 屋	133		中 津 川	066		山 口(徳山・防府)	105
	川 西	087		長 野 1	051	ゆ	行 橋	121
き	北 九 州	120		長 野 2	052		横 浜 1	045
	北 見	012	に	名 古 屋	073	よ	横 浜 2	046
	岐 阜(大 垣)	064		七 尾	061		米 沢	027
	京 都(宇 治)	081		名 張	078	わ	和 歌 山	093
	桐 生	036		名 寄	004		稚 内	005
く	釧 路	010		奈 良	091			
	熊 谷	038		新 潟(長 岡)	056			
	熊 本(八 代)	126		新 居 浜	113			
	久 留 米	118						

🗣️ ちょっと一言

工場出荷時の設定は、「000」です。

- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表(65～69ページ)に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます(地域番号「000」は除く)。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。受信できないときは「手動チャンネル設定」で1局ずつ個別に設定してください。
- 同じ地域名が2つある場合(例:横浜1、横浜2など)は、どちらか片方の地域番号を入力してみてください。映らない場合は、もう一方の地域番号を入力してください。それでも映らない場合は、「手動チャンネル設定」で1局ずつ個別に設定してください。

→ 地域番号一覧表

- 地上アナログ放送の電子番組表(Gガイド)を使うには、地上アナログ放送の電子番組表(Gガイド)データを送信しているホスト局から地上アナログ放送の電子番組表(Gガイド)データを受信する必要があります。
- HBC** など、文字が白黒反転している放送局は、地上アナログ放送の電子番組表(Gガイド)を配信しているホスト局です。ホスト局の電波状態によっては、地上アナログ放送の電子番組表(Gガイド)データが受信できないことがあります。

都道府県	選局番号(ポジション)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
工場出荷指定		000	1 1	2 2	3 3	4 4	5 5	6 6	7 7	8 8	9 9	10 10	11 11	12 12
北海道	札幌(江別)	001	1 HBC	2 2	3 NHK総合	4 TVh	5 STV	6 6	7 UHB	8 8	9 HTB	10 10	11 11	12 NHK教育
	小樽	002	24 TVh	2 NHK教育	26 UHB	4 HTB	5 5	6 6	7 STV	8 8	9 HBC	10 10	11 NHK総合	12 12
	旭川	003	2 2	2 NHK教育	33 TVh	37 UHB	39 HTB	6 6	7 STV	8 8	9 NHK総合	10 10	11 HBC	12 12
	名寄	004	26 UHB	30 NHK教育	33 TVh	4 NHK総合	24 HTB	6 STV	7 7	8 8	9 9	10 HBC	11 11	12 NHK教育
	稚内	005	30 NHK教育	30 NHK教育	33 TVh	26 UHB	24 HTB	22 STV	22 STV	28 NHK総合	28 NHK総合	10 HBC	10 10	12 12
	室蘭	006	2 NHK教育	2 NHK教育	29 TVh	37 UHB	39 HTB	7 STV	7 STV	9 NHK総合	9 NHK総合	11 HBC	11 11	12 12
	苫小牧	007	47 TVh	49 NHK教育	51 NHK総合	53 UHB	55 HBC	57 STV	61 HTB	61 HTB	61 HTB	61 HTB	61 HTB	12 12
	函館	008	21 TVh	27 UHB	35 HTB	4 NHK総合	4 NHK総合	6 HBC	6 HBC	6 HBC	6 HBC	10 NHK教育	10 NHK教育	12 STV
	帯広	009	32 UHB	32 UHB	34 HTB	4 NHK総合	4 NHK総合	6 HBC	6 HBC	6 HBC	6 HBC	10 STV	10 STV	12 NHK教育
	釧路	010	29 TVh	2 NHK教育	39 HTB	41 UHB	41 UHB	7 STV	7 STV	9 NHK総合	9 NHK総合	11 HBC	11 HBC	12 12
	網走	011	1 HBC	1 HBC	3 NHK総合	27 UHB	5 STV	35 HTB	35 HTB	35 HTB	35 HTB	35 HTB	35 HTB	12 NHK教育
	北見	012	2 NHK教育	2 NHK教育	2 NHK教育	59 UHB	59 UHB	61 HTB	7 STV	7 STV	9 NHK総合	9 NHK総合	53 HBC	53 HBC
青森	青森(弘前)	013	1 青森放送	1 青森放送	3 NHK総合	3 NHK総合	5 NHK教育	5 NHK教育	38 青森テレビ	38 青森テレビ	34 青森朝日	34 青森朝日	34 青森朝日	12 12
	八戸	014	33 33	33 33	33 青森テレビ	31 青森朝日	31 青森朝日	7 NHK教育	7 NHK教育	9 NHK総合	9 NHK総合	11 青森放送	11 青森放送	12 12
	むつ	015	4 NHK総合	4 NHK総合	4 NHK総合	4 NHK総合	56 青森朝日	56 青森朝日	58 青森テレビ	58 青森テレビ	10 青森放送	10 青森放送	10 青森放送	12 NHK教育
岩手	盛岡	016	4 NHK総合	4 NHK総合	4 NHK総合	4 NHK総合	6 IBC	6 IBC	8 NHK教育	8 NHK教育	31 IAT	35 テレビ岩手	35 テレビ岩手	33 めんこい
	釜石	017	2 NHK総合	2 NHK総合	2 NHK総合	58 テレビ岩手	58 テレビ岩手	60 めんこい	60 めんこい	62 IAT	62 IAT	10 IBC	10 IBC	12 NHK教育
	二戸	018	2 IBC	2 IBC	29 めんこい	29 めんこい	5 NHK総合	5 NHK総合	37 テレビ岩手	37 テレビ岩手	27 IAT	27 IAT	27 IAT	12 NHK教育
宮城	仙台	019	1 TBC	1 TBC	3 NHK総合	3 NHK総合	5 NHK教育	5 NHK教育	32 東日本放送	32 東日本放送	34 宮城テレビ	34 宮城テレビ	34 宮城テレビ	12 仙台放送
	石巻	020	59 TBC	59 TBC	51 NHK総合	51 NHK総合	49 NHK教育	49 NHK教育	61 東日本放送	61 東日本放送	55 宮城テレビ	55 宮城テレビ	55 宮城テレビ	57 仙台放送
	気仙沼	021	2 NHK総合	2 NHK総合	2 NHK総合	4 TBC	4 TBC	6 仙台放送	43 東日本放送	43 東日本放送	37 宮城テレビ	10 NHK教育	10 NHK教育	12 12
秋田	秋田	022	2 NHK教育	2 NHK教育	2 NHK教育	4 NHK総合	4 NHK総合	8 NHK教育	8 NHK教育	9 NHK総合	31 秋田朝日	31 秋田朝日	11 秋田放送	37 秋田テレビ
	大館	023	43 NHK教育	43 NHK教育	43 NHK教育	4 NHK総合	4 NHK総合	8 NHK教育	8 NHK教育	45 NHK総合	41 秋田朝日	47 秋田放送	47 秋田放送	51 秋田テレビ
	大曲	024	43 NHK教育	43 NHK教育	43 NHK教育	4 NHK総合	4 NHK総合	8 NHK教育	8 NHK教育	45 NHK総合	41 秋田朝日	47 秋田放送	47 秋田放送	51 秋田テレビ
山形	山形	025	4 NHK教育	4 NHK教育	4 NHK教育	4 NHK教育	36 TUY	36 TUY	30 SAY	8 NHK総合	10 山形放送	10 山形放送	38 山形テレビ	38 山形テレビ

- 地域番号別に設定された選局番号と受信チャンネル・放送局は、当社の調査によるものです。(2006年1月現在)

次のページにつづく→

地域番号早見表/一覧表 つづき

都道府県	選局番号(ポジション)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
山形	鶴岡(酒田)	026	1 山形放送		3 NHK総合			6 NHK教育		39 山形テレビ		22 TUY		24 SAY
	米沢	027				50 NHK教育		56 TUY	60 SAY	52 NHK総合		54 山形放送		58 山形テレビ
福島	福島(郡山)	028		2 NHK教育	31 TUF		33 福島中央TV		35 福島放送		9 NHK総合		11 福島テレビ	
	いわき	029	62 TUF			4 NHK総合		58 福島中央TV		8 福島テレビ		10 NHK教育		60 福島放送
	会津若松	030	1 NHK総合		3 NHK教育			6 福島テレビ		47 TUF		37 福島中央TV		41 福島放送
茨城	水戸	031	44 NHK総合		46 NHK教育	42 日本テレビ	14 MX TV	40 TBS	39 ちばテレビ	38 フジテレビ		36 テレビ朝日		32 テレビ東京
	日立	032	52 NHK総合		50 NHK教育	54 日本テレビ	14 MX TV	56 TBS	39 ちばテレビ	58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京
栃木	宇都宮	033	51 NHK総合		49 NHK教育	53 日本テレビ	14 MX TV	55 TBS		57 フジテレビ	31 とちぎTV	41 テレビ朝日		44 テレビ東京
	矢板	034	40 NHK総合		30 NHK教育	36 日本テレビ	33 とちぎTV	42 TBS	14 MX TV	45 フジテレビ		59 テレビ朝日		61 テレビ東京
群馬	前橋 (伊勢崎・高崎)	035	52 NHK総合		50 NHK教育	54 日本テレビ	14 MX TV	56 TBS	38 テレビ埼玉	58 フジテレビ		60 テレビ朝日	48 群馬テレビ	62 テレビ東京
	桐生	036	51 NHK総合		57 NHK教育	53 日本テレビ	14 MX TV	55 TBS	38 テレビ埼玉	35 フジテレビ		59 テレビ朝日	41 群馬テレビ	61 テレビ東京
埼玉	さいたま	037	1 NHK総合		3 NHK教育	4 日本テレビ	14 MX TV	6 TBS		8 フジテレビ	38 テレビ埼玉	10 テレビ朝日		12 テレビ東京
	熊谷	038	51 NHK総合		35 NHK教育	53 日本テレビ		55 TBS		57 フジテレビ	30 テレビ埼玉	59 テレビ朝日		61 テレビ東京
	秩父	039	14 NHK総合		49 NHK教育	16 日本テレビ	47 テレビ埼玉	18 TBS	29 フジテレビ	8 テレビ朝日		38 テレビ朝日		44 テレビ東京
千葉	千葉	040	1 NHK総合		3 NHK教育	4 日本テレビ	14 MX TV	6 TBS		8 フジテレビ	42 tvk	10 テレビ朝日	46 ちばテレビ	12 テレビ東京
	銚子	041	51 NHK総合		49 NHK教育	53 日本テレビ	39 ちばテレビ	55 TBS	42 tvk	57 フジテレビ		59 テレビ朝日		61 テレビ東京
東京	23区	042	1 NHK総合		3 NHK教育	4 日本テレビ	14 MX TV	6 TBS	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	42 tvk	10 テレビ朝日	46 ちばテレビ	12 テレビ東京
	八王子	043	33 NHK総合		29 NHK教育	35 日本テレビ	40 MX TV	37 TBS	38 テレビ埼玉	31 フジテレビ	42 tvk	45 テレビ朝日	46 ちばテレビ	62 テレビ東京
	多摩	044	49 NHK総合		47 NHK教育	51 日本テレビ	61 MX TV	53 TBS	38 テレビ埼玉	55 フジテレビ	42 tvk	57 テレビ朝日	46 ちばテレビ	59 テレビ東京
神奈川	横浜1	045	52 NHK総合		50 NHK教育	54 日本テレビ	14 MX TV	56 TBS		58 フジテレビ	48 tvk	60 テレビ朝日		62 テレビ東京
	横浜2	046	1 NHK総合		3 NHK教育	4 日本テレビ	14 MX TV	6 TBS		8 フジテレビ	42 tvk	10 テレビ朝日		12 テレビ東京
	平塚 (茅ヶ崎)	047	33 NHK総合		29 NHK教育	35 日本テレビ	14 MX TV	37 TBS	39 フジテレビ	31 tvk	41 テレビ朝日	45 テレビ朝日		43 テレビ東京
	秦野	048	47 NHK総合		49 NHK教育	51 日本テレビ	14 MX TV	53 TBS	55 フジテレビ	61 tvk	57 テレビ朝日	10 テレビ朝日		59 テレビ東京
	小田原	049	52 NHK総合		50 NHK教育	54 日本テレビ	14 MX TV	56 TBS		58 フジテレビ	46 tvk	60 テレビ朝日		62 テレビ東京
山梨	甲府	050	1 NHK総合		3 NHK教育		5 山梨放送		37 UTY					
長野	長野1	051		44 NHK総合	50 長野朝日		40 テレビ信州		42 長野放送		46 NHK教育		48 SBC	
	長野2	052		2 NHK総合	20 長野朝日		30 テレビ信州		38 長野放送		9 NHK教育		11 SBC	
	松本	053		44 NHK総合	50 長野朝日		48 テレビ信州		42 長野放送		46 NHK教育		40 SBC	
	飯田	054	44 長野朝日		3 NHK教育	4 NHK総合		6 SBC		42 テレビ信州		40 長野放送		

都道府県	選局番号(ポジション)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
長野	岡谷・諏訪	055			61 長野朝日	4 NHK総合	59 テレビ信州	6 SBC	47 長野放送	8 NHK教育				
新潟	新潟(長岡)	056	21 テレビ21		29 テレビ新潟		5 BSN			8 NHK総合		35 新潟総合TV		12 NHK教育
	上越	057	1 NHK教育		3 NHK総合			37 テレビ21	27 テレビ新潟			10 BSN		33 新潟総合TV
富山	富山	058	1 北日本放送		3 NHK総合							10 NHK教育	32 チューリップ	34 富山テレビ
	高岡	059	50 北日本放送		48 NHK総合							46 NHK教育	42 チューリップ	44 富山テレビ
石川	金沢(小松)	060			4 NHK総合		6 北陸放送	25 北陸朝日	8 NHK教育			33 テレビ金沢		37 石川テレビ
	七尾	061					5 NHK教育	59 北陸朝日	9 NHK総合			57 テレビ金沢	11 北陸放送	55 石川テレビ
福井	福井	062	39 福井テレビ		3 NHK教育						9 NHK総合		11 福井放送	
	敦賀	063	38 福井テレビ					6 NHK総合	8 福井放送					12 NHK教育
岐阜	岐阜(大垣)	064	1 東海テレビ		39 NHK総合	25 テレビ愛知	5 CBC	33 三重テレビ	35 中京テレビ	9 NHK教育		11 メーテレ		37 岐阜放送
	高山	065	8 東海テレビ		4 NHK総合	25 テレビ愛知	6 CBC	33 三重テレビ	26 中京テレビ	2 NHK教育		12 メーテレ		38 岐阜放送
	中津川	066	10 東海テレビ		4 NHK総合	25 テレビ愛知	8 CBC	33 三重テレビ	26 中京テレビ	12 NHK教育		6 メーテレ		28 岐阜放送
静岡	静岡(清水・焼津)	067		2 NHK教育	31 静岡第一		33 朝日テレビ	35 テレビ静岡	9 NHK総合			11 静岡放送		
	浜松	068		30 静岡第一	4 NHK総合		6 静岡放送	8 NHK教育			28 朝日テレビ		34 テレビ静岡	
	富士(富士宮)	069		54 NHK教育	27 静岡第一		29 朝日テレビ	39 テレビ静岡	52 NHK総合			41 静岡放送		
	三島・沼津	070		51 NHK教育	61 静岡第一		57 朝日テレビ	59 テレビ静岡	53 NHK総合			55 静岡放送		
	島田	071	1 NHK総合	48 静岡第一	3 NHK教育		5 静岡放送				50 朝日テレビ		58 テレビ静岡	
	藤枝	072		44 NHK教育	24 静岡第一		26 朝日テレビ	38 テレビ静岡	42 NHK総合			40 静岡放送		
愛知	名古屋	073	1 東海テレビ		3 NHK総合	37 岐阜放送	5 CBC	33 三重テレビ	35 中京テレビ	9 NHK教育		11 メーテレ		25 テレビ愛知
	豊橋(豊川)	074	56 東海テレビ		54 NHK総合	37 岐阜放送	62 CBC	33 三重テレビ	58 中京テレビ	50 NHK教育		60 メーテレ		52 テレビ愛知
	豊田	075	57 東海テレビ		53 NHK総合	37 岐阜放送	55 CBC	33 三重テレビ	59 中京テレビ	51 NHK教育		61 メーテレ		49 テレビ愛知
三重	津	076	1 東海テレビ		3 NHK総合		5 CBC	35 中京テレビ	9 NHK教育	33 三重テレビ		11 メーテレ		25 テレビ愛知
	伊勢	077	57 東海テレビ		53 NHK総合		55 CBC	47 中京テレビ	49 NHK教育	59 三重テレビ		61 メーテレ		25 テレビ愛知
	名張	078	62 東海テレビ		52 NHK総合		60 CBC	54 中京テレビ	50 NHK教育	58 三重テレビ		56 メーテレ		25 テレビ愛知
滋賀	大津	079		28 NHK総合		36 毎日放送	34 京都テレビ	38 朝日放送	40 関西テレビ			42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 NHK教育
	彦根	080		52 NHK総合		54 毎日放送	56 びわ湖放送	6 朝日放送	34 京都テレビ	8 関西テレビ		10 読売テレビ		50 NHK教育
京都	京都(宇治)	081		2 NHK総合	36 サンテレビ		19 毎日放送	6 テレビ大阪	34 京都テレビ	8 関西テレビ		10 読売テレビ		12 NHK教育
	舞鶴	082		51 NHK総合	36 サンテレビ		19 毎日放送	55 テレビ大阪	57 京都テレビ	59 関西テレビ		61 読売テレビ		49 NHK教育
	福知山	083		50 NHK総合	36 サンテレビ		54 毎日放送	19 テレビ大阪	58 京都テレビ	60 関西テレビ		62 読売テレビ		52 NHK教育

地域番号早見表/一覧表 つづき

都道府県	選局番号(ポジション)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
大阪	大阪	084		2 2	36 36	4 4	19 19	6 6	34 34	8 8		10 10		12 12
				NHK総合	サンテレビ	毎日放送	テレビ大阪	朝日放送	京都テレビ	関西テレビ		読売テレビ		NHK教育
兵庫	神戸	085		28 2	36 36	31 4	19 19	41 6		43 8		47 10		45 12
	神戸灘	086		NHK総合	サンテレビ	毎日放送	テレビ大阪	朝日放送		関西テレビ		読売テレビ		NHK教育
				52 2	62 62	54 4	19 19	56 6		58 8		60 10		50 12
	川西	087		NHK総合	サンテレビ	毎日放送	テレビ大阪	朝日放送		関西テレビ		読売テレビ		NHK教育
				29 2	33 36	35 4	19 19	37 6		39 8		41 10		31 12
	三木	088		NHK総合	サンテレビ	毎日放送	テレビ大阪	朝日放送		関西テレビ		読売テレビ		NHK教育
				44 2	36 36	34 4	19 19	38 6		40 8		42 10		46 12
奈良	姫路	089		50 2	56 36	54 4	19 19	58 6		60 8		62 10		52 12
	明石 (加古川)	090		NHK総合	サンテレビ	毎日放送	テレビ大阪	朝日放送		関西テレビ		読売テレビ		NHK教育
				51 2	55 36	53 4	19 19	57 6		59 8		61 10		49 12
	奈良	091		NHK総合	サンテレビ	毎日放送	テレビ大阪	朝日放送	京都テレビ	関西テレビ		読売テレビ		NHK教育
				51 2	36 36	4 4	19 19	6 6	34 34	8 8	55 55	10 10		12 12
	五條	092		NHK総合	サンテレビ	毎日放送	テレビ大阪	朝日放送	京都テレビ	関西テレビ	奈良テレビ	読売テレビ		NHK教育
				43 2	36 36	33 4	19 19	35 6	34 34	37 8	41 41	39 10		45 12
和歌山	和歌山	093		32 2		42 4		44 6		46 8		48 10	30 30	25 12
	海南・田辺	094		NHK総合		毎日放送		朝日放送		関西テレビ		読売テレビ	TV和歌山	NHK教育
鳥取	鳥取	095	1 1		3 3	4 4				24 24		22 22		
			日本海TV		NHK総合	NHK教育				山陰中央		BSS		
島根	松江	096	30 30		34 34			6 6				10 10		12 12
	浜田	097	日本海TV		山陰中央			NHK総合				BSS		NHK教育
岡山	岡山(倉敷)	098	23 23		3 3		5 5	25 25	35 35		9 9		11 11	
			TVせとうち		NHK教育		NHK総合	KSB	OHK		西日本放送		RSK	
	津山	099	56 56	2 2				62 62	60 60		58 58		7 7	12 12
	笠岡	100	TVせとうち	NHK総合				KSB	OHK		西日本放送		RSK	NHK教育
広島	広島	101	22 22	2 2		4 4		6 6	60 60	55 55	34 34			
			TVせとうち	NHK総合		NHK教育		RSK	OHK	KSB	西日本放送			
	福山	102	31 31		3 3	4 4			7 7			35 35		12 12
			TSS		NHK総合	RCC			NHK教育			広島ホーム		広島テレビ
山口	尾道	103	5 1		57 24		54 26		3 7			7 10		11 12
	呉	104	NHK総合		広島ホーム		TSS		NHK教育			RCC		広島テレビ
			1 1		24 24		5 5	26 26	9 9			11 11		
	山口(徳山・防府)	105	NHK教育		広島ホーム		広島テレビ	TSS		RCC		NHK総合		
徳島	下関	106	41 41			4 4	21 21	38 33	38 33		9 9		11 11	
	宇部	107	NHK教育			山口放送	山口朝日	テレビ山口		NHK総合			山口放送	
			55 55				24 24	44 44	58 58			61 61		
	岩国	108	NHK教育				山口朝日	テレビ山口		NHK総合			山口放送	
香川	高松	110	1 1		3 3	4 4		6 6		8 8				38 12
			四国放送		NHK総合	毎日放送		朝日放送		関西テレビ				NHK教育
	丸亀	111	33 33		39 39		37 37		31 31		41 41		29 29	19 19
			KSB		NHK教育		NHK総合		OHK		西日本放送		RSK	TVせとうち
愛媛	松山	112	42 42		40 40		44 44		52 52		50 50		48 48	46 46
			KSB		NHK教育		NHK総合		OHK		西日本放送		RSK	TVせとうち
愛媛	松山	112	2 2		29 29		25 25	6 6		37 37		10 10		
			NHK教育		あいテレビ		愛媛朝日	NHK総合		テレビ愛媛		南海放送		

都道府県	選局番号(ポジション)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
愛媛	新居浜	113		2 2		4 4	14 14	6 6		36 36			27 27	
	今治	114		30 30		27 27	17 17	32 32		36 36		34 34	あいテレビ	
	宇和島	115		1 1		25 25	16 16	6 6		27 27		10 10		
高知	高知	116				4 4		6 6		8 8		38 38		40 40
福岡	福岡	117	1 1		3 3	4 4		6 6			9 9		19 19	37 37
	久留米	118	57 57		46 46	48 48		54 54			60 60		14 14	52 52
	大牟田	119	58 58	19 19	53 53	61 61		50 50			55 55		43 43	37 37
	北九州	120		2 2	23 23	35 35		6 6		8 8		10 10		12 12
	行橋	121		57 57	19 19	43 43		49 49		60 60		54 54		46 46
佐賀*	佐賀1	122		36 36	40 40	38 38	48 48	52 52	57 57	14 14			11 11	
長崎	長崎	123	1 1		3 3		5 5		37 37		27 27		25 25	
	佐世保	124		2 2		17 17		31 31		8 8		10 10		35 35
	諫早	125		51 51		32 32		56 56		59 59		62 62		39 39
熊本	熊本(八代)	126		2 2	16 16		22 22		34 34		9 9		11 11	
大分	大分(別府)	127			3 3		5 5		36 36		24 24			12 12
	中津	128			48 48		51 51		37 37		17 17			45 45
宮崎	宮崎(都城)	129						35 35		8 8		10 10		12 12
	延岡	130		2 2		4 4		6 6		39 39				12 12
鹿児島	鹿児島	131	1 1		3 3		5 5		32 32		38 38		30 30	
	阿久根	132				23 23		35 35		8 8		10 10	17 17	12 12
	鹿屋	133		2 2		4 4		6 6	31 31		33 33		25 25	
沖縄	沖縄	134		2 2						8 8	28 28	10 10		12 12

* 佐賀県にお住まいの方で、電子番組表(Gガイド)のホスト局を設定する場合(地域番号設定では「RKB毎日」がホスト局に設定されています。)

- 「RKB毎日放送」が受信できる地域の方は、「RKB毎日」を選んでください。
- 「熊本放送」が受信できる地域の方は、「熊本放送」を選んでください。

※ ホスト局を「RKB毎日」から「熊本放送」に変更するとき、または「熊本放送」から「RKB毎日」に変更するときは、次の手順で設定してください。

- ① 地域番号設定で地域番号「123」を選んで決定ボタンを押した後、地域番号「122」を選ぶ
- ② 「システムメニュー」-「設定」-「基本設定」-「地上アナログ番組表設定」-「取得チャンネル」で「熊本放送」または「RKB毎日」を選ぶ

🗨️ ちょっと一言

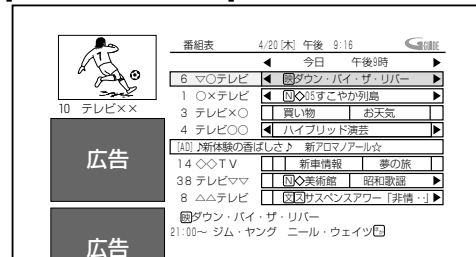
- 電子番組表(Gガイド)に表示される放送局名は、地域番号一覧表で選んだ地域に記載されている放送局名です。
- 上の表の地域番号で設定した地域に登録されていない放送局の番組は、映像が受信できても電子番組表(Gガイド)は表示できません。

地上アナログ放送の電子番組表(Gガイド)を表示するためのデータを取得する

はじめにお読みください

- お買い上げ時の状態では、地上アナログ放送の電子番組表(Gガイド)は表示されません。電子番組表(Gガイド)を使うには、電子番組表(Gガイド)データの取得が必要です。

【電子番組表の画面例】



- 電子番組表(Gガイド)データが送られてくる時刻にTBS系列の放送局を受信していても電子番組表(Gガイド)データは取得できません。ただし、画面表示、システムメニュー画面の表示などの操作をすると、電子番組表(Gガイド)データの取得が解除されます。

ちょっと一言

電子番組表(Gガイド)データの受信について

- 本機を設置した時間帯によっては、電子番組表(Gガイド)を表示できるまでに1日程度かかる場合があります。
- 電子番組表(Gガイド)に放送内容が表示される放送局は、地域ごとに決められています。設定した地域に記載されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、電子番組表(Gガイド)に放送内容は表示されません。地域番号一覧表でご確認ください。
- 設定されているホスト局を変更したときは、電子番組表(Gガイド)データが消去されます。
- ケーブルテレビ(CATV)を受信して電子番組表(Gガイド)をご使用になる場合については、120ページの補足説明をご覧ください。

電子番組表(Gガイド)データ取得中の電源操作について

- 電源が「切」の状態でも、電子番組表(Gガイド)データの取得中は本体内部では電源が「入」となっています。電子番組表(Gガイド)データ取得中に本機を使いたいときは、電源ボタンを押してください。(電子番組表(Gガイド)データの取得は中断され、更新されません。)

- 1 本機の時計合わせは、お済みですか
本機の時計を合わせ直したい場合は54ページをご覧ください。
- 2 チャンネルの設定は、お済みですか
● チャンネルを設定し直したい場合は56ページをご覧ください。
1局ずつ手動でチャンネル設定を行ったときは、ホスト局の設定を行ってください。
- 3 電子番組表(Gガイド)のデータを取得します。
電子番組表(Gガイド)データの送信時刻を確認する
下の表をご覧ください。
- 4 データの取得準備をする
確認した送信時刻の10分以上前に本機の電源を切ってください。

データの取得開始

送信時刻になるとデータを自動的に受信します。
(データ受信中は、本体から動作音がします。)

本体表示窓

地上A番組表取得中

工場出荷時の設定ではバックライトを点灯しています。
● 電源オフ時刻表示設定が「しない」に設定されているときはバックライトが消灯します。

データの取得完了

本体表示窓の「地上A番組表取得中」表示が消えたら電子番組表(Gガイド)をお使いになれます。

- 5 リモコンの **番組表** を押し、電子番組表(Gガイド)を表示する

電子番組表(Gガイド)について

- 本機では、電子番組表の表示機能にGガイドを採用しています。当社では、Gガイドを利用した電子番組表のサービス内容には関与していません。
- 電子番組表(Gガイド)は、決められた時刻に番組表データの更新を行います。そのため、放送局の都合により番組内容が変更された場合、データ更新のタイミングによっては、電子番組表(Gガイド)と実際に放送される番組の内容が異なる場合があります。

電子番組表(Gガイド)データの送信時刻

- 送信時刻や送信回数、ホスト局は、変更されることがあります。最新の放送時刻については、(株)インタラクティブ・プログラム・ガイドのホームページをご覧ください。(http://www.ipg.co.jp)

地域	ホスト局	電子番組表(Gガイド)データの送信時刻					地域	ホスト局	電子番組表(Gガイド)データの送信時刻				
		午前			午後				午前			午後	
北海道	HBC(北海道放送)	0:30	7:05	11:05	3:05	5:05	中部	CBC(中部日本放送)	0:30	5:35	11:05	2:35	5:00
青森	ATV(青森テレビ)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05	関西・徳島	MBS(毎日放送)	1:45	6:05	11:05	2:35	5:35
秋田	AKT(秋田テレビ)	0:30	5:05	11:05	2:35	5:05	岡山・香川	RSK(山陽放送)	0:30	5:05	11:05	2:35	5:00
岩手	IBC(アイビー・シー岩手放送)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05	広島	RCC(中国放送)	0:30	5:05	11:05	2:35	5:05
宮城	TBC(東北放送)	0:30	5:05	11:05	2:35	5:05	鳥取・島根	BSS(山陰放送)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
山形	TUY(テレビユー山形)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05	山口	TYS(テレビ山口)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
福島	TUF(テレビユー福島)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05	愛媛	ITV(伊予テレビ)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
新潟	BSN(新潟放送)	0:30	5:05	11:05	2:35	5:35	高知	KUTV(テレビ高知)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
関東	TBS(東京放送)	0:30	5:05	11:05	2:30	6:30	福岡	RKB(アールケービー毎日放送)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:00
静岡	SBS(静岡放送)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05	長崎	NBC(長崎放送)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
山梨	UTY(テレビ山梨)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05	大分	OBS(大分放送)	0:30	5:05	11:05	2:35	5:05
長野	SBC(信越放送)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05	宮崎	MRT(宮崎放送)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
福井	FTB(福井テレビ)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05	熊本	RKK(熊本放送)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
富山	TUT(チューリップテレビ)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05	鹿児島	MBC(南日本放送)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
石川	MRO(北陸放送)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05	沖縄	RBC(琉球放送)	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05

(2006年1月現在)

地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備

デジタル放送のチャンネル設定の手順

• デジタル放送を楽しむため、次のステップで設定を行ってください。

1. アンテナを接続する

- 地上デジタル放送を視聴するとき(21・22・27～29ページ)
- BS・110度CSデジタル放送を視聴するとき(23～29ページ)

2. 電話回線に接続する(40・41ページ)

- B-CASカードに記録される番組購入・契約状況などの確認を電話回線を通して行いますので、必ず接続してください。

3. B-CASカードを本機にセットする(73ページ)

- 地上・BS・110度CSデジタル放送は、B-CASカードをセットしないとご覧になれません。
- 同梱のはがきまたはホームページでユーザー登録を行ってください。(登録は無料です。)

4. BS・110度CSデジタル放送を楽しむとき BS・110度CS共用アンテナの設定をする

- アンテナレベル(受信強度)を確認し、アンテナレベルが60以上になるようにアンテナ設定を確認します。
- アンテナ電源を設定する(74ページ)
- アンテナレベルを確認する(75ページ)

5. 電話回線/電話会社を設定する(76・78ページ)

- 本機が放送事業者などと通信を行うための設定です。

6. 地域と郵便番号を設定する(79ページ)

- デジタル放送では、地域ごとに特有の放送が行われている場合があります。
- お住まいの地域特有の放送が受信できるように、地域設定を行ってください。

7. チャンネルを設定する・登録されているチャンネルを確認する

- 地上デジタル放送を楽しむとき — 地上デジタルチャンネルを自動設定する(83ページ)
- BS・110度CSデジタル放送を楽しむとき — リモコンに登録されているチャンネルを確認する(87ページ)

8. 地上デジタル放送を楽しむとき 地上デジタル放送の番組表取得設定をする(85ページ)

- 地上デジタル放送用の電子番組表(EPG)を表示させるためのデータ受信設定です。

📢 ちょっと一言

- ARIB放送規格の変更により、メニュー等の仕様が変更される場合があります。

地上・BS・110度CSデジタル放送を見るためには

■ B-CASカードが必要です。

- 地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送は、B-CASカードを利用した限定受信システム(=CAS)を採用しています。付属のB-CASカード番号登録用はがきを送り、B-CASカードの番号を登録することで受信者登録が行われます。
- B-CASカードは、必ず登録してください。(登録は無料です。)2004年4月より、有料放送だけでなく、無料放送もB-CASカードが必要です。(デジタル放送すべて)
- B-CASカードの取り扱いについては、**73**ページをご覧ください。

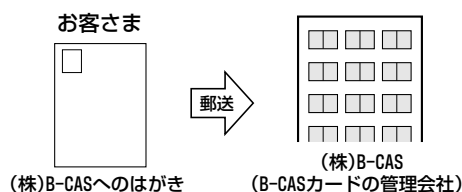


(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をするには

((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。

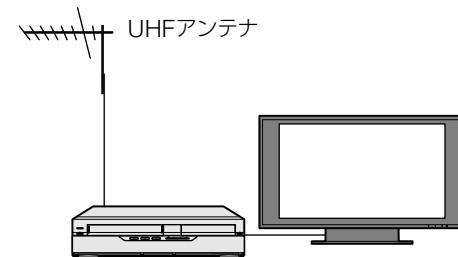
詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。



地上デジタル放送を見るためには

■ UHFアンテナが必要です。

- 地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナを使用します。
現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。
(※一部取り替えや調整が必要な場合もあります。)
- VHFアンテナでは受信できません。ご使用のアンテナがVHFアンテナのみの場合は、UHFアンテナの追加が必要になります。



☺ ちょっと一言

- アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

BS・110度CSデジタル放送を見るためには

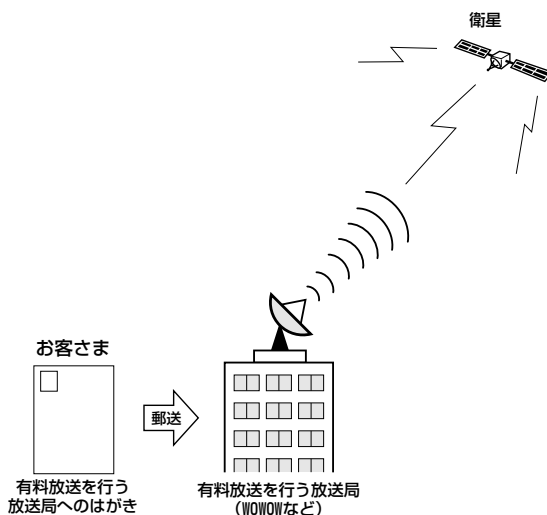
■ 放送局への申し込みが必要です。

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の有料放送を視聴するための手続き

視聴したい放送局に申し込む

お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。



☺ ちょっと一言

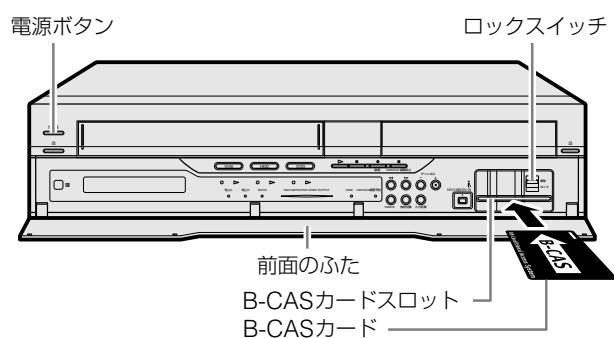
- 本機は、契約データの受信のために、電源「切」のときでも動作することがあります。

B-CASカードについて

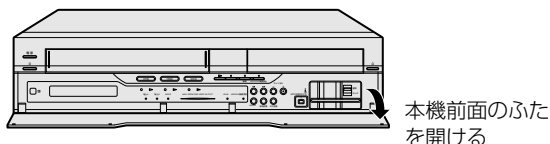
地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴するために、B-CASカードを必ず挿入してください。

- 2004年4月から、コピー制御のために、B-CASカードの機能を利用します。
- B-CASカードを挿入しないと、BS・地上のすべてのデジタルテレビ放送が映りません。
- B-CASカードを挿入していただくことで、番組をお楽しみいただけます。

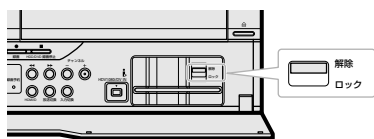
→ B-CASカードを入れる



1 本体前面のふたを開ける

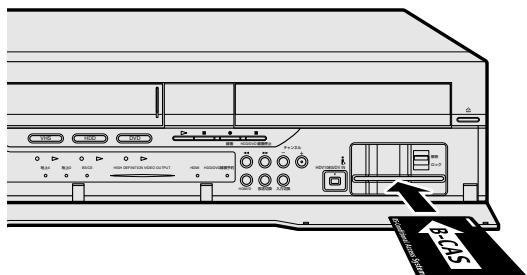


2 ロックスイッチが「解除」の位置になっていることを確認する

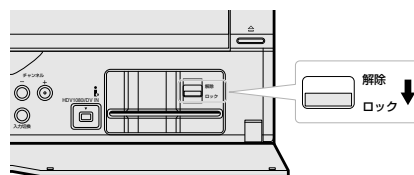


3 B-CASカードを下図のように、表面の矢印の方向に差し込む

- 奥まで確実に挿入してください。
- 挿入が不完全な状態でロックスイッチをスライドさせたり本体前面のふたを閉めると、カードの破損、本機の故障の原因となります。



4 ロックスイッチを下にスライドさせ、「ロック」の位置にする



- カード挿入後、必ずロックしてください。
- ロックしないとB-CASカードは動きません。

5 本体前面のふたを閉める

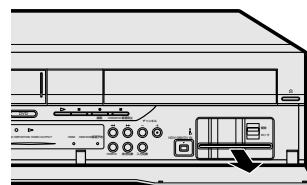
💡ちょっと一言

- B-CASカードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。

→ B-CASカードを取り出す

1 「B-CASカードを入れる」の手順4でロックスイッチを「解除」の位置にする

2 B-CASカードをまっすぐに手で引き抜く



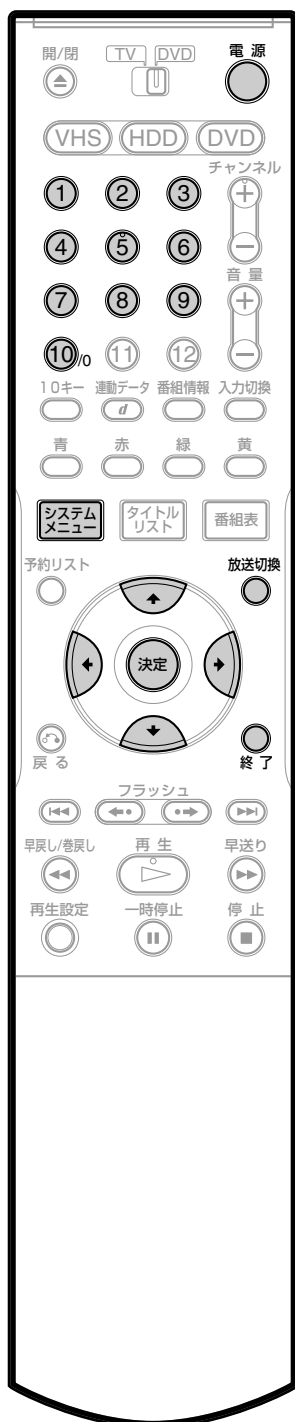
💡ご注意

取り扱い上のご注意

- B-CASカードは手順どおり、本体前面ふた内のB-CASカードスロットに正しく差し込んでください。
- B-CASカードスロットには、本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機をご使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、B-CASカードを抜く必要がある場合は、本機の電源をいったん「切」にし、ロックスイッチを上スライドさせてロックを解除した後、まっすぐにカードを引き抜いてください。B-CASカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差ししないでください。
- B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードの金属部には手を触れないでください。
- B-CASカードを分解、加工しないでください。
- B-CASカードは大切に保管してください。仮に他人があなたのB-CASカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- 破損等によりB-CASカードの再発行を依頼される場合は費用がかかります。(2006年1月現在)
詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。
(連絡先:0570-000-250)

BS・110度CS共用アンテナの設定

- BS・110度CS共用アンテナをはじめて設置したときや、引っ越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要になります。アンテナ設定画面を見ながら設定してください。



ちょっと一言

システムメニュー画面について

- システムメニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作をしてください。

→ 受信強度の確認やアンテナ電源を設定する

- 地上デジタル放送では設定の必要がありません。「アンテナレベルを確認する」(75ページ)から設定してください。

- ① テレビの電源を入れる
② テレビの入力切替を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする
- リモコンの○(電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる
- (放送切替)を何回か押して「BSデジタル放送」を選び、(決定)を押す
 - 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定を行うことができます。
 - 110度CSデジタル放送については、○(放送切替)を何回か押し、「CS1デジタル放送」または「CS2デジタル放送」を選び、(決定)を押します。

放送切替
地上アナログ放送
地上デジタル放送
BSデジタル放送
CS1 デジタル放送
CS2 デジタル放送

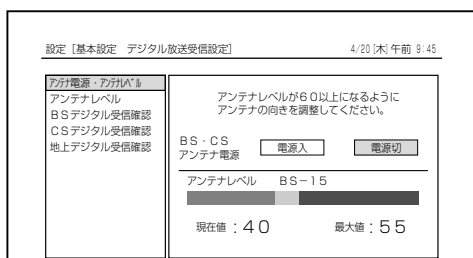
- ① システムメニューを押す
- ② ↑↓で「設定」を選び、(決定)を押す

システムメニュー	[設定]	4/20 木 午前 9:45
タイトルリスト		
番組表/予約		
ダビング		
タイトル消去		
ディスク管理		
設定	各種設定をします。	
お知らせ		

- ① ←→で「基本設定」を選ぶ
- ② ↑↓で「デジタル放送受信設定」を選び、(決定)を押す

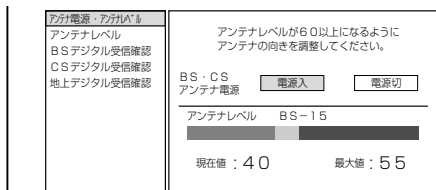
設定 [基本設定 デジタル放送受信設定]	4/20 木 午前 9:45
録画機能設定	視聴・再生設定
基本設定	本体設定
かんたん設定	
時刻設定	
映像・音声設定	
デジタル放送受信設定	
デジタル放送通信設定	
地上アナログ番組表設定	
DV設定	
ソフトウェア更新	

6 ↑↓で「アンテナ電源・アンテナレベル」を選び、を押す



- かんたん設定の「BS・110度CS放送用アンテナ電源」の設定をする(47ページ)でアンテナ電源の設定が済んでいるときは手順8に進みます。

7 ←→で「電源入」または「電源切」を選ぶ



「電源入」.... 個人でアンテナを設置・接続している場合に選べます。

「電源切」.... 共聴アンテナに接続している場合など、電源を供給しないときに選びます。(工場出荷時の設定)

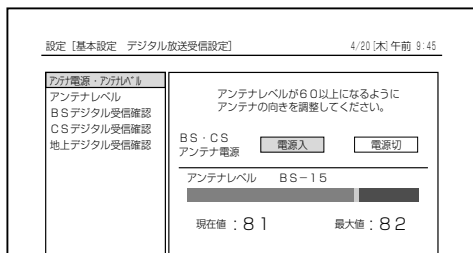
- 「アンテナ線がショートしています。アンテナ電源の設定を「電源切」にしました。アンテナ接続をご確認ください。[E207]」のメッセージが表示されたときは、一度「電源切」を選びます。放送が映らないときは、アンテナ接続を確認してから再度「電源入」を選びます。

→ アンテナレベルを確認・調整する

- アンテナの調整が済んでいる場合(共聴タイプのアンテナの場合)は、この手順は必要ありません。

8 アンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

- アンテナレベル(受信強度)が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。



9 ○(終了)を押し、設定を終了する

🗨️ ちょっと一言

- 「アンテナ電源・アンテナレベル」や「受信確認」を選択しているときに表示されるアンテナレベル(受信強度)表示は、アンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは具体的な信号強度などを示すものではありません。

アンテナレベルを確認する

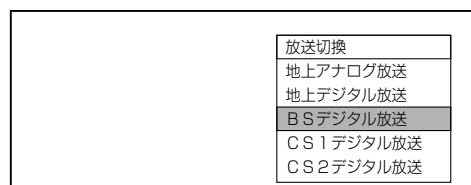
- 受信したBS・110度CSデジタル放送や地上デジタル放送のアンテナレベル(受信強度)を確認します。

- ① テレビの電源を入れる
- ② テレビの入力切替を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする

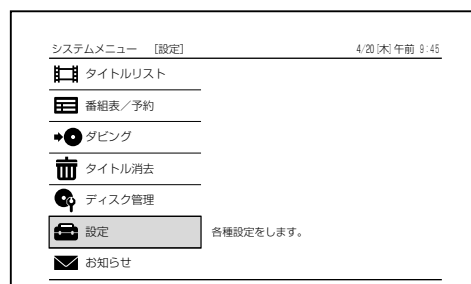
2 リモコンの○(電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

3 ○(放送切替)を何回か押して「BSデジタル放送」を選び、を押す

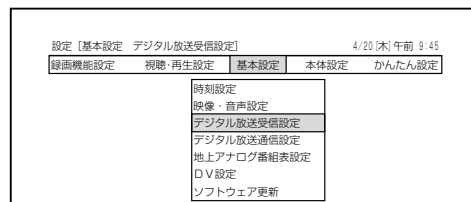
- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定を行うことができます。
- 110度CSデジタル放送については、○(放送切替)を何回か押し、「CS1デジタル放送」または「CS2デジタル放送」を選び、を押します。



- ① を押す
- ② ↑↓で「設定」を選び、を押す

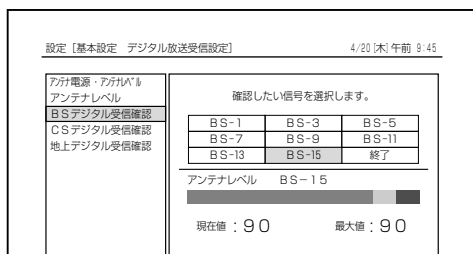


- ① ←→で「基本設定」を選ぶ
- ② ↑↓で「デジタル放送受信設定」を選び、を押す



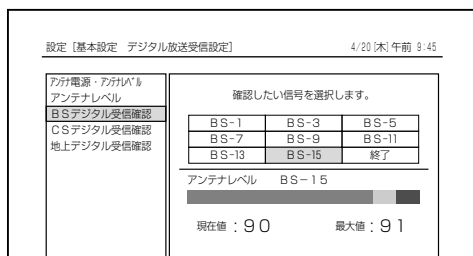
6 ↑↓で「BSデジタル受信確認」を選び、を押す

- 110度CSデジタル放送は「CSデジタル受信確認」を選び、を押してください。
- 地上デジタル放送は「地上デジタル受信確認」を選び、を押してください。



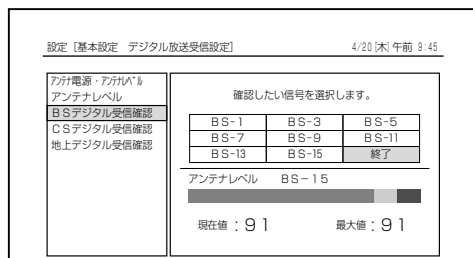
7 「BS-1」～「BS-15」のうち、確認したい項目を↑↓←→で選び、を押す

- 110度CSデジタル放送は「CS-2」～「CS-24」を選び、を押してください。
- 地上デジタル放送は「地上-D1」～「地上-D12」を選び、を押してください。



- アンテナレベル(受信強度)が60以上であることを確認してください。

8 ↑↓←→で「終了」を選び、を押す



9 ○(終了)を押し、設定を終了する

電話回線の設定

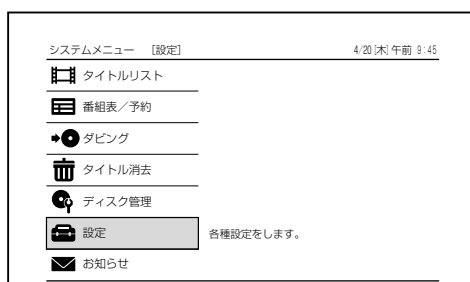
- お使いになっている電話回線の設定をします。電話回線が接続されていることを確認し、設定してください。(41ページ)

→ 電話回線の自動設定

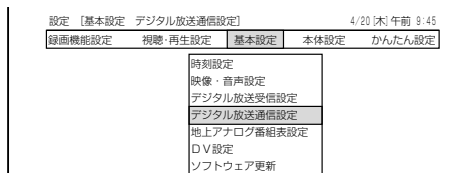
- ① テレビの電源を入れる
- ② テレビの入力切替を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする

2 リモコンの (電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

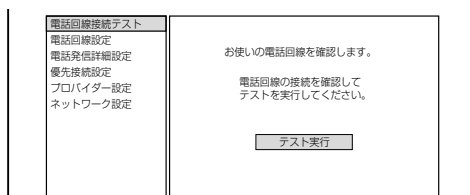
- ① を押す
- ② ↑↓で「設定」を選び、を押す



- ① ←→で「基本設定」を選ぶ
- ② ↑↓で「デジタル放送通信設定」を選び、を押す



- ① ↑↓で「電話回線接続テスト」を選び、を押す
- ② 「テスト実行」でを押す



- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。「テスト終了」でを押してください。
- 2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。次の「外線発信番号の設定」を行ってください。

❗ご注意

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。
- IP電話をご使用の場合は、電話回線を接続しても、設定ができません。

💡ちょっと一言

システムメニュー画面について

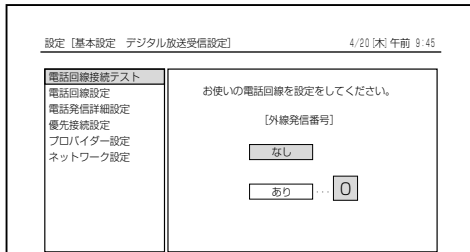
- システムメニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作をしてください。

→ 外線発信番号の設定

- 電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、次の画面が表示されますので、再設定してください。

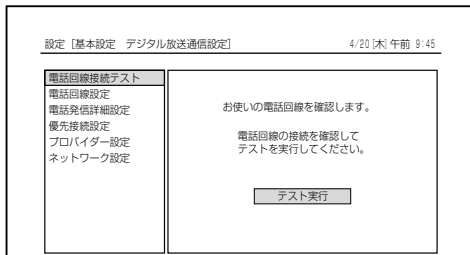
1 ↑↓で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、**決定**を押す

「なし」...外線交換機を使用しない場合(通常の一般家庭)
「あり」...電話交換機などをご使用の場合



- 「あり」を選んだ場合は、数字ボタン(①~⑩)で外線発信番号を入力してから、**決定**を押します。
- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

2 「テスト実行」で**決定**を押す



- 「テスト実行」→「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順1に戻ります。
どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、「電話回線の手動設定」を行ってください。

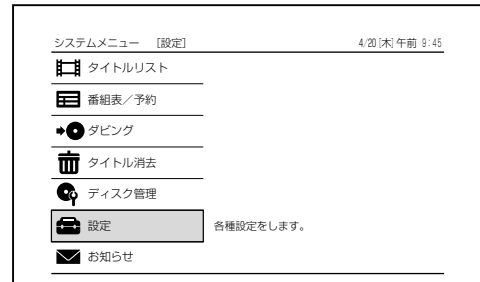
→ 電話回線の手動設定

- どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、次の手順により手動で設定してください。

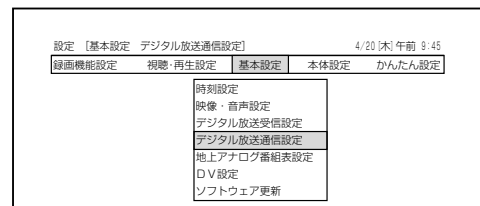
1 ① テレビの電源を入れる ② テレビの入力切換を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする

2 リモコンの**電源**、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

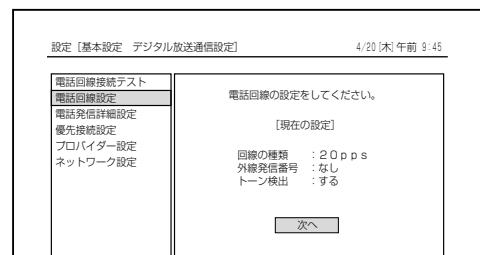
3 ① **システムメニュー**を押す ② ↑↓で「設定」を選び、**決定**を押す



4 ① ←→で「基本設定」を選ぶ ② ↑↓で「デジタル放送通信設定」を選び、**決定**を押す



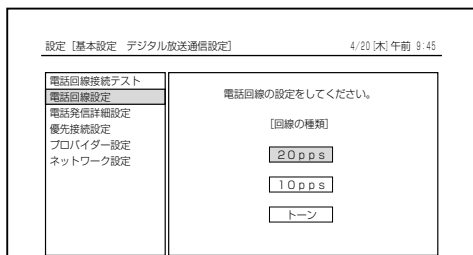
5 ① ↑↓で「電話回線設定」を選び、**決定**を押す ② 「現在の設定」を確認し、「次へ」で**決定**を押す



6

↑↓でご契約の電話回線種別を選び、を押す

- 契約している電話回線種別(ダイヤル方式)がわからない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

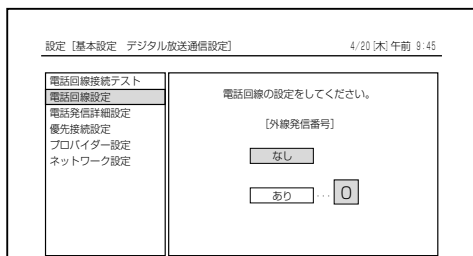


7

① ↑↓で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

- 「あり」を選んだ場合は、数字ボタン(①~⑩)で外線発信番号を右のボックスに入力してください。

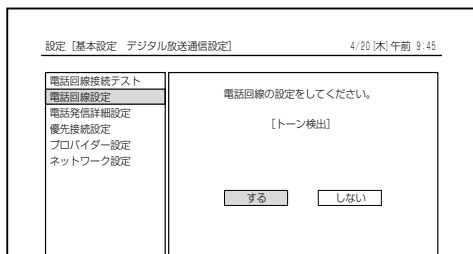
② を押す



8

←→でトーン検出「する」または「しない」を選び、を押す

- NTT回線に直結している場合は「する」を選び、交換機を中継する場合は、交換機の機種により「する」または「しない」を選んでください。



9

○(終了)を押し、設定を終了する

電話会社設定

- 各放送局と、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。
- 通常は設定する必要はありません。

→ 電話番号通知設定

- 通信後、放送局などの相手先に電話番号を通知するかどうかの設定です。

1

- ① テレビの電源を入れる
- ② テレビの入力切替を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする

2

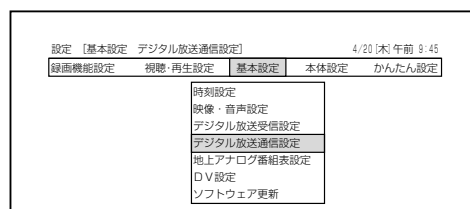
リモコンの (電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

3

- ① を押す
- ② ↑↓で「設定」を選び、を押す

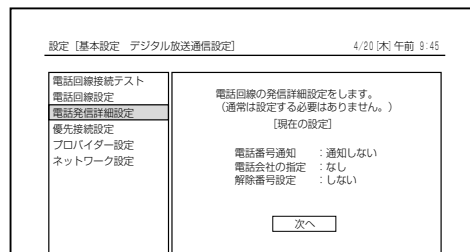
4

- ① ←→で「基本設定」を選ぶ
- ② ↑↓で「デジタル放送通信設定」を選び、を押す



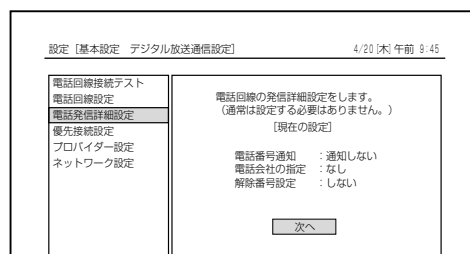
5

↑↓で「電話発信詳細設定」を選び、を押す



6

「現在の設定」を確認し、「次へ」でを押す



7 ↑↓で「設定しない」「186」「184」のいずれかを選び、**決定**を押す

「設定しない」……「186」「184」のどちらにも設定しません。
「186」……………番号を通知します。
「184」……………番号を通知しません。

→ 電話会社の指定番号設定

- 電話回線での通信に利用する電話会社の指定番号を登録します。

8 ↑↓←→で利用している電話会社の指定番号を選び、**決定**を押す

[電話会社の指定]			
なし	0033	0071	0086
0077	0081	0080	0081
0088	0038	0083	0060
0036	0039		

- 指定番号がわからないときは、電話会社にお問い合わせください。

→ 解除番号設定

- マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するよう設定することができます。

9 ←→で「する」または「しない」を選び、**決定**を押す

「する」……マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。
「しない」……マイラインプラスを解除しないで発信します。

10 ○(終了)を押し、設定を終了する

地域と郵便番号を設定する

- 緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送などは、地域によって放送される内容が異なります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

→ 地域選択

- かんたん設定の「地上デジタル設定」を行ったときは、80ページ「郵便番号設定」の手順8から設定してください。

1 ① テレビの電源を入れる ② テレビの入力切替を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする

2 リモコンの○(電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

3 ① **システム**を押す ② ↑↓で「設定」を選び、**決定**を押す

4 ① ←→で「視聴・再生設定」を選ぶ ② ↑↓で「デジタル放送視聴設定」を選び、**決定**を押す

5 ↑↓で「地域選択」を選び、**決定**を押す

北海道	東北
関東	甲信越/北陸
中部/東海	近畿
中国/四国	九州/沖縄

6 ↑↓←→でお住まいの地域を選び、**決定**を押す

7 ↑↓←→でお住まいの都道府県を選び、を押す

設定 [視聴・再生設定 デジタル放送視聴設定] 4/20 [木] 午前 9:45

字幕表示 PPV制限 PPV購入金額制限 視聴年齢制限 地域選択 郵便番号設定 双方向サービス設定 個人情報初期化	お住まいの地域を選択してください。 <table border="1"> <tr> <td>茨城</td> <td>栃木</td> </tr> <tr> <td>群馬</td> <td>埼玉</td> </tr> <tr> <td>千葉</td> <td>東京</td> </tr> <tr> <td>東京 豊田</td> <td>神奈川</td> </tr> </table>	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	東京 豊田	神奈川
茨城	栃木								
群馬	埼玉								
千葉	東京								
東京 豊田	神奈川								

- 手順5の画面に戻ります。

→ 郵便番号設定

8 ↑↓で「郵便番号設定」を選び、を押す

設定 [視聴・再生設定 デジタル放送視聴設定] 4/20 [木] 午前 9:45

字幕表示 PPV制限 PPV購入金額制限 視聴年齢制限 地域選択 郵便番号設定 双方向サービス設定 個人情報初期化	お住まいの郵便番号を入力して下さい。 0000 - 00000
---	--

9 数字ボタン(①～⑩)で郵便番号を入力し、を押す

- 入力した番号を修正したいときは、←→で修正したい欄を選び、数字ボタンで入力し直します。

10 ○(終了)を押し、設定を終了する

💡ちょっと一言

システムメニュー画面について

- システムメニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作をしてください。

地上デジタル放送を視聴するための準備

地上デジタル放送のチャンネル設定について

- 地上デジタル放送を視聴するためのチャンネル設定です。
- チャンネル設定をする前に次の接続・設定をしておいてください。
 - ① UHFアンテナを接続するー基本的な接続(地上デジタル放送を見る)(**21・22**ページ)
 - 地上デジタル放送の受信には、UHFアンテナが必要です。
 - ② 地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備を行う(**75**ページ「アンテナレベルを確認する」～ **80**ページ)
- チャンネル設定項目について

メニュー項目	内 容
番組表取得設定 → 85ページ	地上デジタル放送の電子番組表(EPG)情報を取得するための設定です。
自動設定 → 83ページ	- お住まいの地域で受信可能な地上デジタル放送のチャンネルを自動登録するときに選びます。 - 最初のチャンネル設定は、必ず「自動」で行ってください。また、引っ越しなどでお住まいの地域が変わった場合も再度、自動登録をしてください。 - かんたん設定で地上デジタル設定を行ったときは、チャンネル設定は済んでいます。
自動追加設定 → 92ページ	- 設定後、新しく開始された放送チャンネルを追加登録するときに選びます。 - すでに登録されているチャンネルはそのまま残ります。
確認／変更 → 89～91ページ	- 登録した放送チャンネルを一覧表示して、確認することができます。 - 登録したチャンネルの、番号重複時の変更や⊕⊖(チャンネル+/-)でのチャンネルスキップを設定することができます。

地上デジタル放送の受信チャンネル番号・枝番について

- 地上デジタル放送では、チャンネルボタン(①～⑫)のチャンネル番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3桁チャンネル番号は、放送地域内(都府県、北海道は7地域)ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁チャンネル番号が重複するケースがあります。このケースでは、さらにもう1桁(これを「枝番」といいます)を入力して選局することになります。

地上デジタル放送のケーブルテレビ(CATV)放送対応について

- 本機で地上デジタル放送が受信できるケーブルテレビ(CATV)の方式は、「CATVパススルー方式」*です。(「トランスモジュレーション方式」には対応していません。)

*CATVパススルー方式とは: ケーブルテレビ(CATV)配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままCATV網に流す放送方式です。
この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。本機で受信できるのは、「UHF帯」、「VHF帯」、「ミッドバンド(MID:C13～C22)帯」、「スーパーハイバンド(SHB:C23～C63)帯」です。

地上デジタル放送のチャンネル設定の手順

- 地上デジタル放送を楽しむため、次のステップで設定を行ってください。

1. アンテナを接続する →地上デジタル放送を視聴するとき(21・22ページ)



- #### 2. 電話回線やLANに接続する →電話回線を接続するとき(40ページ)、電話回線の設定をするとき(76ページ) →LAN接続するとき(99ページ)、ネットワーク設定するとき(100ページ)
- 地上デジタル放送の双方向サービスなどを楽しむために接続します。



- #### 3. B-CASカードを本機にセットする(73ページ)
- 地上デジタル放送は、B-CASカードをセットしないとご覧になれません。
 - 同梱のはがきまたはホームページでユーザー登録を行ってください。(登録は無料です。)



- #### 4. 地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備を行う(75ページ「アンテナレベルを確認する」～80ページ)
- デジタル放送では、地域ごとに特有の放送が行われている場合があります。
お住まいの地域特有の放送が受信できるように、地域設定と郵便番号設定は必ず行ってください。



- #### 5. 地上デジタル放送のチャンネルを自動設定する(83ページ)
- かんたん設定で地上デジタル設定を行ったときは、チャンネル設定は済んでいます。



- #### 6. 地上デジタル放送の番組表取得設定をする(85ページ)
- 電子番組表(EPG)データを取得するための設定です。

※ 地上デジタル放送は、2003年12月から開始された放送です。

関東、中部、近畿の3大都市圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも2006年までに放送が開始される予定です。

お住まいの地域でデジタル放送が開始されていない場合は視聴できません。

地上デジタル放送のチャンネルを自動設定する

- はじめて受信登録するときや、引っ越しなどでお住まいの地域が変わった場合に設定します。
- チャンネル設定の前に、必ず地域と郵便番号の設定(79ページ)をしておいてください。



💡 ちょっと一言

システムメニュー画面について

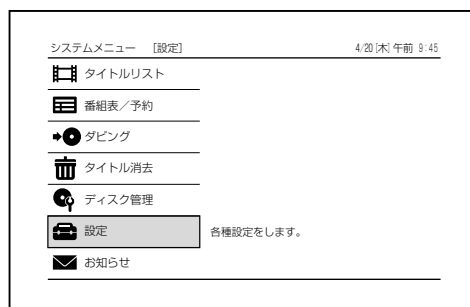
- システムメニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作をしてください。

準備

- 地上デジタル放送の受信には、UHFアンテナが必要です。UHFアンテナを接続してください。(21・22ページ)
- ○(放送切換)を何回か押して「地上デジタル放送」を選び、(決定)を押します。
- 地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備を、はじめに行ってください。(75ページ「アンテナレベルを確認する」～80ページ)

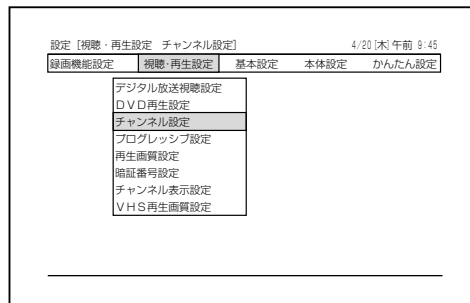
1

- ① [システムメニュー]を押す
- ② ↑↓で「設定」を選び、(決定)を押す



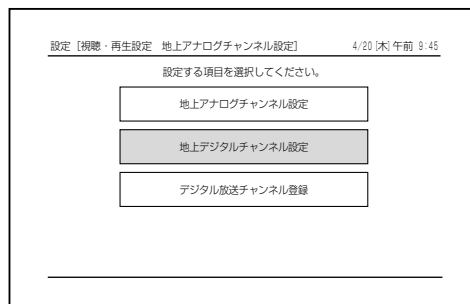
2

- ① ←→で「視聴・再生設定」を選ぶ
- ② ↑↓で「チャンネル設定」を選び、(決定)を押す

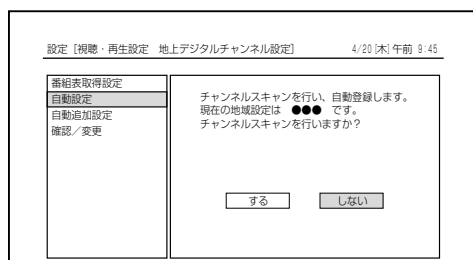


3

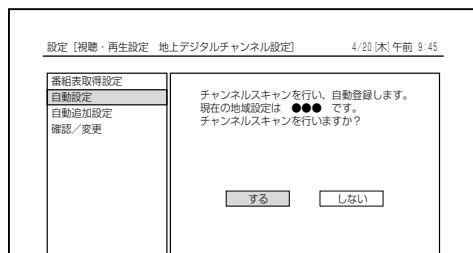
- ③ ↑↓で「地上デジタルチャンネル設定」を選び、(決定)を押す



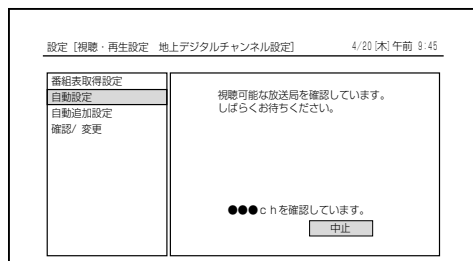
4 ↑↓で「自動設定」を選び、を押す



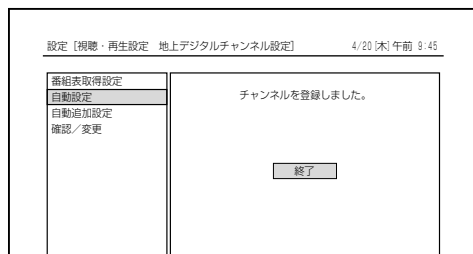
5 ←→で「する」を選び、を押す



6 • 自動設定が開始され、確認中の画面が表示されます。



• 自動設定が終了すると、登録終了の画面になります。



- 途中で中止を押したときは、チャンネル設定がされません。再度設定し直すときは、地上デジタルチャンネル設定で設定し直してください。

7 「終了」でを押す

8 ○(終了)を押し、設定を終了する

アンテナレベルを確認する

- 受信した地上デジタル放送のアンテナレベル(受信強度)を確認します。

1 76ページの手順6で「地上デジタル受信確認」を選び、を押す

2 76ページの手順7～9を行い、アンテナレベルを確認する

地上デジタル放送の番組表取得設定をする

- 地上デジタル放送の電子番組表(EPG)の情報は、送信している各放送チャンネルから取得する必要があります。地上デジタル放送の電子番組表情報を取得するには、地上デジタル放送の各チャンネルを選局するか、番組表取得設定を「する」に設定し、電源を切ることで取得することができます。

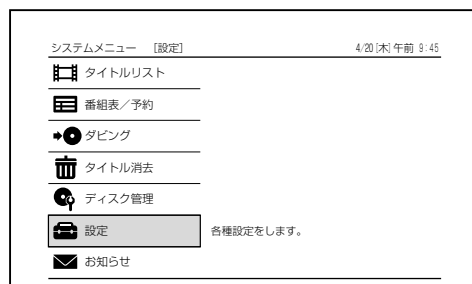


- ① テレビの電源を入れる
- ② テレビの入力切替を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする

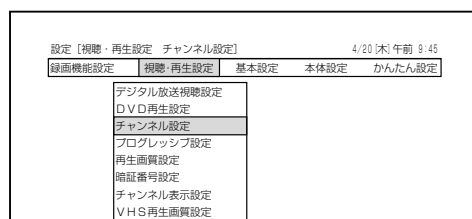
- 2 リモコンの $\odot$ (電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

- 3 $\odot$ (放送切替)を何回か押して「地上デジタル放送」を選び、 $\odot$ (決定)を押す

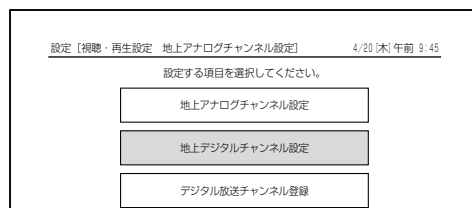
- 4 ① $\square$ (システムメニュー)を押す
② $\uparrow\downarrow$ で「設定」を選び、 $\odot$ (決定)を押す



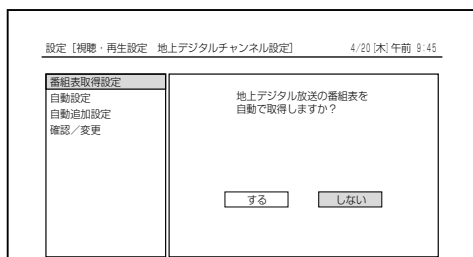
- 5 ① $\leftarrow\rightarrow$ で「視聴・再生設定」を選ぶ
② $\uparrow\downarrow$ で「チャンネル設定」を選び、 $\odot$ (決定)を押す



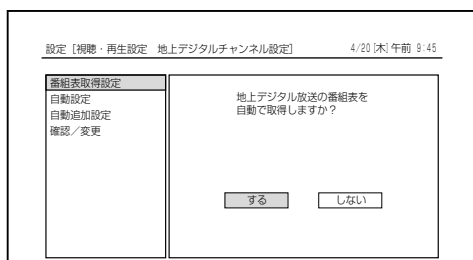
- 6 $\uparrow\downarrow$ で「地上デジタルチャンネル設定」を選び、 $\odot$ (決定)を押す



7 ↑↓で「番組表取得設定」を選び、決定を押す



8 ←→で「する」または「しない」を選び、決定を押す



- 「する」に設定したときは、電源を「切」にすると電子番組表 (EPG) 情報を取得します。
- 「しない」に設定したときは、視聴している放送局のみ番組表 (EPG) 情報を取得します。

9 ○(終了)を押し、設定を終了する

地上デジタル放送の電子番組表 (EPG) 情報を取得する

1 本機の電源を切る

- 電源を「切」にすると、自動的に電子番組表 (EPG) 情報を取得します。
- 電子番組表 (EPG) 情報を取得しているときは、内部の電源が入っているため、本体表示窓に「地上D番組表取得中」と表示され、本体後面ファンが回っています。情報を取得し終わると、内部の電源が自動的に切れます。

取得中の本体表示窓
地上D番組表取得中

●ご注意

- 電波状態 (受信状態) によっては、電子番組表 (EPG) 情報が取得できない場合があります。
- 番組表取得設定を「する」に設定しているときは、電源を切るたびに電子番組表 (EPG) 情報を取得します。電子番組表 (EPG) 情報の取得には、最大で約30分かかることがあります。
- 電子番組表 (EPG) 取得中は本体内部の電源が入っているため「リモコンモードを設定する」(105ページ) は設定できません。

電子番組表 (EPG) について

- 電子番組表 (EPG) の表示のしかたや使いかたについては、「操作編」の「デジタル放送を電子番組表 (EPG) で予約する」をご覧ください。

→ 工場出荷時に設定されているチャンネル一覧

地上デジタル放送チャンネル

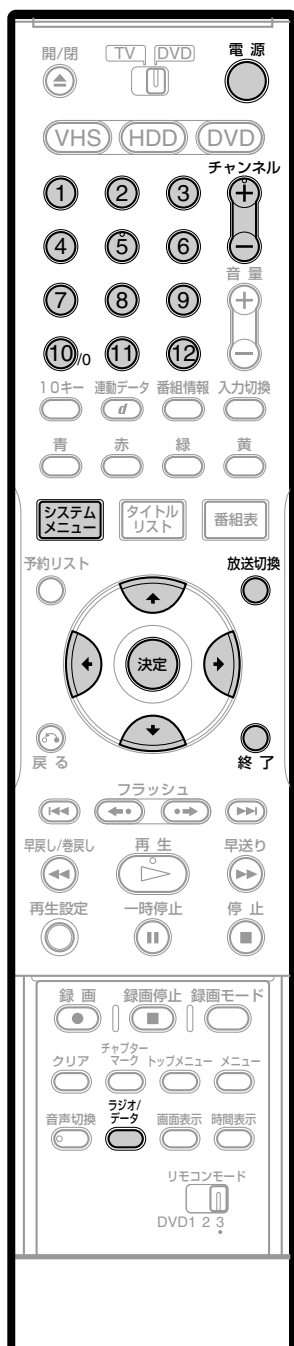
チャンネルボタン	放送局名	チャンネル番号
①	NHK総合	011
②	NHK教育	021
③	—	—
④	日本テレビ	041
⑤	テレビ朝日	051
⑥	TBS	061
⑦	テレビ東京	071
⑧	フジテレビジョン	081
⑨	東京MXテレビ	091
⑩	—	—
⑪	—	—
⑫	放送大学	121

※2006年1月現在

リモコンに登録されているチャンネルを確認する(BS・110度CSデジタル放送)

はじめにお読みください

- リモコンの数字ボタンに現在登録されているチャンネルを確認することができます。
- 現在登録されていないチャンネルを追加登録することもできます。(88ページ)
- チャンネル登録画面を表示中にリモコンふた内の $\odot$ (ラジオ/データ)を押すと、放送の種類が切り換わり、登録されているチャンネルを確認できます。



ふたを開ける

1

① テレビの電源を入れる

2

② テレビの入力切換を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする

3

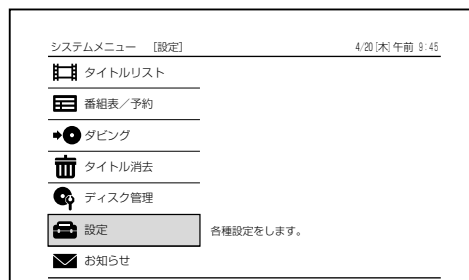
リモコンの $\odot$ (電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

確認したい放送を選び、 $\boxed{\text{システムメニュー}}$ を押す

- BSデジタル放送のチャンネルを確認するときは、 $\odot$ (放送切換)を何回か押して、「BSデジタル放送」を選び、 $\odot$ (決定)を押します。
- CSデジタル放送のチャンネルを確認するときは、 $\odot$ (放送切換)を何回か押して、「CS1デジタル放送」または「CS2デジタル放送」を選び、 $\odot$ (決定)を押します。

4

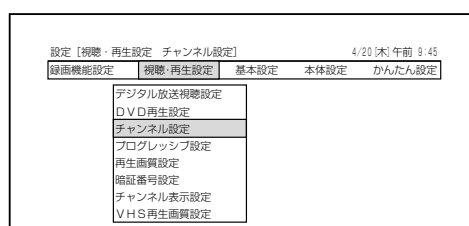
$\uparrow\downarrow$ で「設定」を選び、 $\odot$ (決定)を押す



5

① $\leftarrow\rightarrow$ で「視聴・再生設定」を選ぶ

② $\uparrow\downarrow$ で「チャンネル設定」を選び、 $\odot$ (決定)を押す



6 ↑↓で「デジタル放送チャンネル登録」を選び、決定を押す

設定 [視聴・再生設定 地上アナログチャンネル設定] 4/20 [木] 午前 9:45

設定する項目を選択してください。

地上アナログチャンネル設定

地上デジタルチャンネル設定

デジタル放送チャンネル登録



- 登録されているチャンネルの一覧が表示されます。
[例]BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

チャンネル登録 [BSデジタル・・・テレビ] 4/20 [木] 午前 9:45

172 BSジャパン2 現在選局しているチャンネル

①	②	③
101	102	103
④	⑤	⑥
141	151	161
⑦	⑧	⑨
171	181	191
⑩	⑪	⑫
200		

視聴しているチャンネルの登録や、自動登録された初期設定に戻します。

登録 初期化

▶で選択し(決定)を押す(確認/登録)で終了

- 確認後、画面表示を消すときは○(終了)を押します。

チャンネルボタンにBS・110度CSチャンネルを追加登録する

- 1 ① テレビの電源を入れる
- ② テレビの入力切替を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする

- 2 リモコンの○(電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

- 3 ① BSデジタル放送に切り換え、⊕⊖(チャンネル+/-)で登録したいチャンネルを選局する

- ② システムメニューを押す
- ③ ↑↓で「設定」を選び、決定を押す

- 4 ① ←→で「視聴・再生設定」を選ぶ
- ② ↑↓で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

5 ↑↓で「デジタル放送チャンネル登録」を選び、決定を押す

設定 [視聴・再生設定 地上アナログチャンネル設定] 4/20 [木] 午前 9:45

設定する項目を選択してください。

地上アナログチャンネル設定

地上デジタルチャンネル設定

デジタル放送チャンネル登録

6 ←→で「登録」を選び、決定を押す

チャンネル登録 [BSデジタル・・・テレビ] 4/20 [木] 午前 9:45

172 BSジャパン2 現在選局しているチャンネル

①	②	③
101	102	103
④	⑤	⑥
141	151	161
⑦	⑧	⑨
171	181	191
⑩	⑪	⑫
200		

視聴しているチャンネルの登録や、自動登録された初期設定に戻します。

登録 初期化

▶で選択し(決定)を押す(確認/登録)で終了

7 登録したいリモコンの数字ボタン(①～⑫)を押す

- ↑↓←→でも選べます。選択後、決定を押します。

[例]「BSジャパン2」(172チャンネル)を⑪に登録する場合は、リモコンの数字ボタン⑪を押します。

チャンネル登録 [BSデジタル・・・テレビ] 4/20 [木] 午前 9:45

172 BSジャパン2

①	②	③
101	102	103
④	⑤	⑥
141	151	161
⑦	⑧	⑨
171	181	191
⑩	⑪	⑫
200		

登録先の数字キーを押してください。

▶で選択し(決定)を押す(確認/登録)で終了

8 ←→で「する」を選び、決定を押す

チャンネル登録 [BSデジタル・・・テレビ] 4/20 [木] 午前 9:45

172 BSジャパン2

①	②	③
101	102	103
④	⑤	⑥
141	151	161
⑦	⑧	⑨
171	181	191
⑩	⑪	⑫
200	172	

登録しますか？

する しない

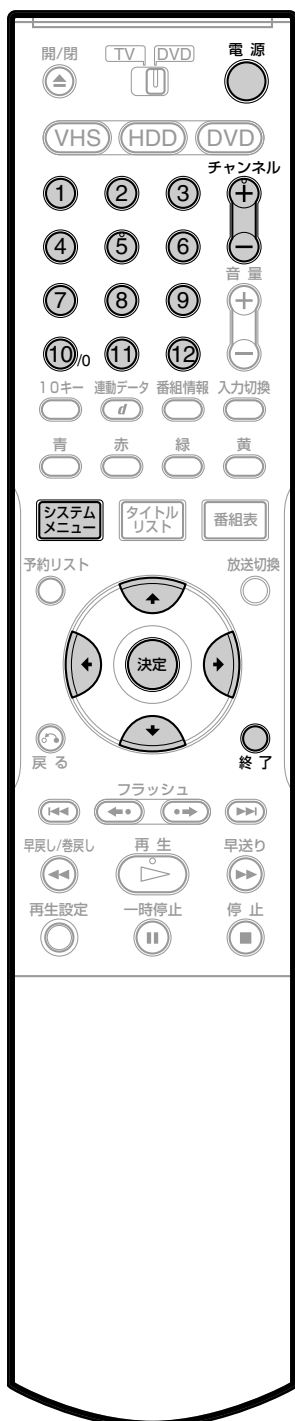
▶で選択し(決定)を押す(確認/登録)で終了

9 ○(終了)を押し、設定を終了する

リモコンに登録されているチャンネルを確認する (地上デジタル放送)

はじめにお読みください

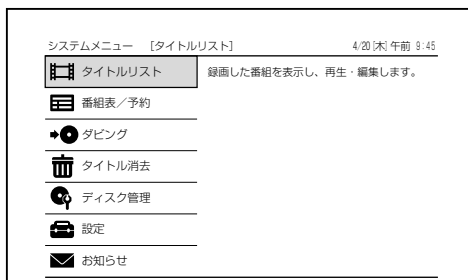
- 「地上デジタル放送のチャンネルを自動設定する」(83ページ)で設定したチャンネルを一覧表示して、確認することができます。
- 登録されたチャンネルの設定内容を変更することができます。
「リモコンキー」
登録先のリモコン数字ボタンを変更します。
「枝番」
チャンネル番号の4桁め(枝番)を変更します。
「スキップ」
⏮⏭(チャンネル+/-)での選局時に、スキップするかしないかを設定します。



→ 登録されたチャンネルを確認する

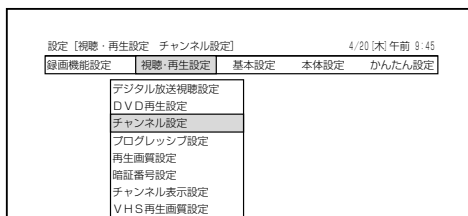
- 登録された放送チャンネルを一覧表示します。

- ① テレビの電源を入れる
② テレビの入力切換を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする
- リモコンの●(電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる
- 地上デジタル放送を視聴中に $\boxed{\text{システムメニュー}}$ を押す



- ④ ↑↓で「設定」を選び、 $\boxed{\text{決定}}$ を押す

- ⑤ ① ←→で「視聴・再生設定」を選ぶ
② ↑↓で「チャンネル設定」を選び、 $\boxed{\text{決定}}$ を押す



リモコンに登録されているチャンネルを確認する（地上デジタル放送） つづき

6 ↑↓で「地上デジタルチャンネル設定」を選び、**決定**を押す

7 ↑↓で「確認/変更」を選び、**決定**を押す

- 登録された放送チャンネルが一覧表示されます。
- ↑↓で放送チャンネルをスクロールすることができます。

- ここで操作を終えるときは、**終了**を押します。

→ 登録先の数字ボタンを変更する

- 登録された放送チャンネルの、登録先リモコン数字ボタンを他の数字ボタンに変更します。

8 ↑↓で変更したい放送チャンネルを選び、**決定**を押す

9 ←→で「リモコンキー」を選び、**決定**を押す

- リモコンキー入力欄が表示されます。
- 「戻る」を選んで**決定**を押すと、1つ前の画面に戻ります。

10 変更するリモコンキーの番号を、リモコンの数字ボタン(①～⑫)で入力し、**決定**を押す

【例】3に変更する場合、**3**を押す

- 入力した数字が他のチャンネルの数字ボタンと重複している場合は、「リモコンキーが重複しています。置き換えますか」の確認画面が表示されます。置き換える場合は「確認」で**決定**を押してください。
- 「戻る」を選んで**決定**を押すと、1つ前の画面に戻ります。

11 ←→で「確認」を選び、**決定**を押す

- 放送チャンネルの一覧表示が変更されます。
- 「戻る」を選んで**決定**を押すと、1つ前の画面に戻ります。
- ここで操作を終えるときは、**終了**を押します。

→ 枝番を変更する

- 受信された放送局の中で、3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め(枝番)を変更して区別することができます。

12 ↑↓で変更したい放送チャンネルを選び、**決定**を押す

13

←→で「枝番」を選び、決定を押す

- 枝番入力欄が表示されます。
- 「戻る」を選んで決定を押すと、1つ前の画面に戻ります。

14

変更する枝番の数字をリモコンの数字ボタン(①～⑩₀)で入力し、決定を押す

- 入力した枝番の数字が他チャンネルの枝番と重複している場合は、「枝番を置き換えますか」の確認画面が表示されます。置き換える枝番の数字を入力して決定を押してください。
- 「戻る」を選んで決定を押すと、1つ前の画面に戻ります。

15

←→で「確認」を選び、決定を押す

- チャンネルの枝番が変更されます。
- 「戻る」を選んで決定を押すと、1つ前の画面に戻ります。
- ここで操作を終えるときは、○(終了)を押します。

ご注意

- 枝番「0」は変更できません。

→ 視聴しないチャンネルをスキップする

- (+)(-)(チャンネル+/-)でチャンネル選局をしたときに、視聴しない放送チャンネルなどを飛ばして選局するよう、設定することができます。

16

↑↓でスキップしたい放送チャンネルを選び、決定を押す

17

←→で「スキップ」を選び、決定を押す

- スキップ選択画面が表示されます。

18

←→で「する」を選び、決定を押す

- スキップしないときは、←→で「しない」を選び、決定を押します。

- 放送チャンネル一覧のスキップ欄に「する」が表示されます。

19

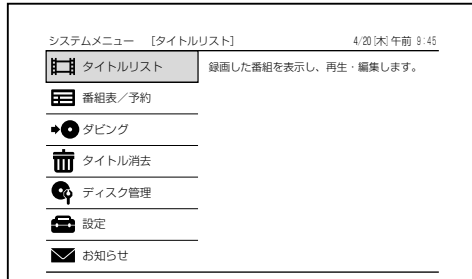
○(終了)を押し、設定を終了する

設定

チャンネルを追加設定する

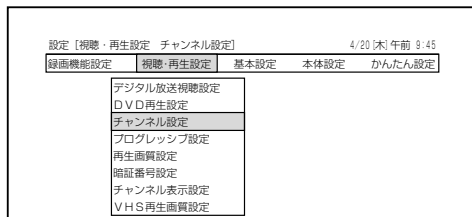
- 自動設定で登録した後、新しく開始された放送チャンネルを追加するときに行います。

- ① テレビの電源を入れる
② テレビの入力切換を本機を接続した外部入力チャンネル(ビデオ1、外部入力1など)にする
- リモコンの $\odot$ (電源)、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる
- 地上デジタル放送を視聴中に $\square$ を押す

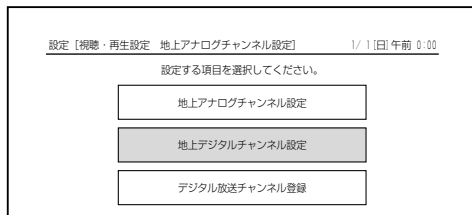


- ④ $\uparrow\downarrow$ で「設定」を選び、 $\odot$ を押す

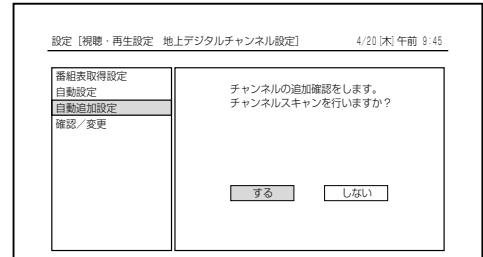
- ① $\leftarrow\rightarrow$ で「視聴・再生設定」を選ぶ
- ② $\uparrow\downarrow$ で「チャンネル設定」を選び、 $\odot$ を押す



- ⑥ $\uparrow\downarrow$ で「地上デジタルチャンネル設定」を選び、 $\odot$ を押す

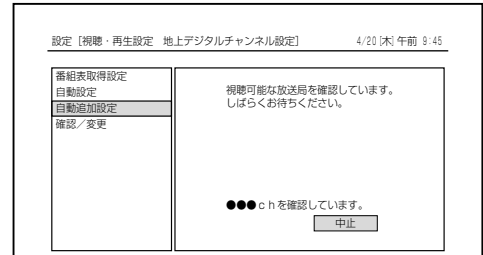


- ⑦ $\uparrow\downarrow$ で「自動追加設定」を選び、 $\odot$ を押す

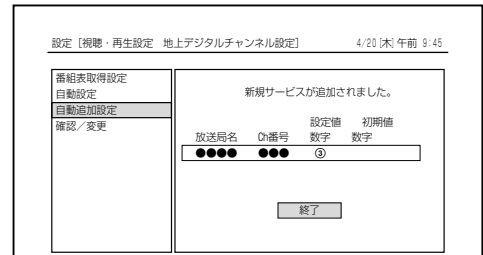


- ⑧ $\leftarrow\rightarrow$ で「する」を選び、 $\odot$ を押す

- 追加設定が開始され、確認中の画面が表示されます。



- 追加設定が終了すると、追加終了の画面が表示されます。



- ⑨ 「終了」で $\odot$ を押す

- ⑩ $\odot$ (終了)を押し、設定を終了する

文字入力のしかた

文字入力画面について

- プロバイダー設定(97ページ)を行うときに文字入力の必要な欄で $\odot$ を押すと、画面に文字入力画面が表示されます。この文字入力画面を使って、各入力欄に必要な文字・数字・記号を入力します。
- 予約名、グループ名、タイトル名などの、文字入力の必要な操作を選んだときも、文字入力画面が表示されます。



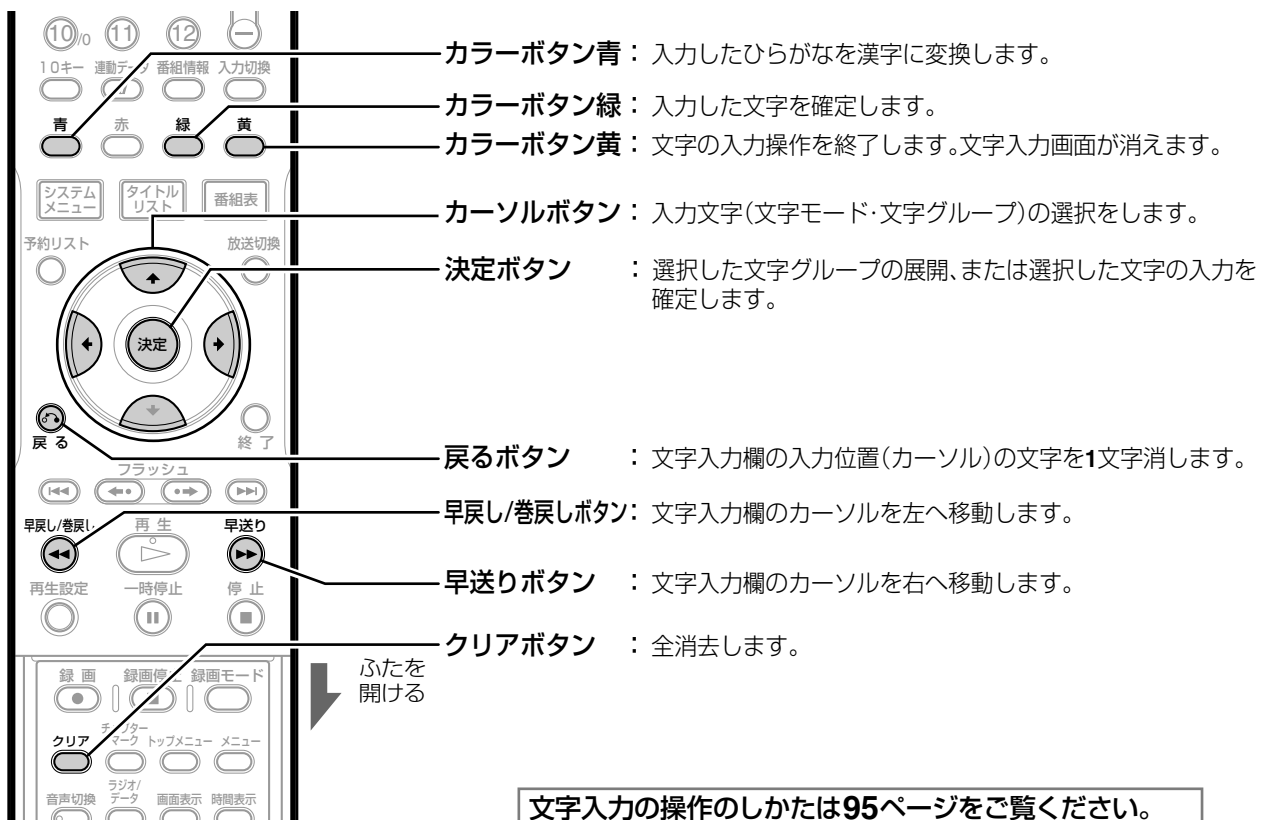
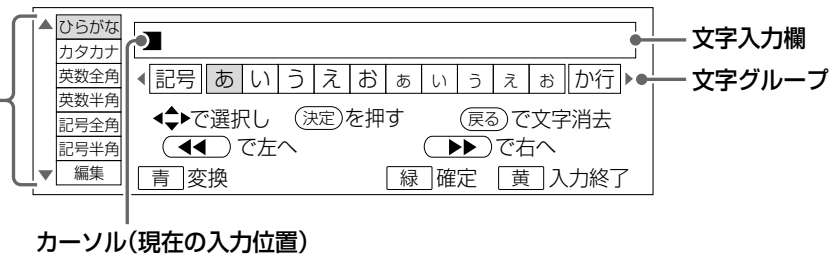
→ 文字入力画面の使いかた

- 文字入力画面は、 $\uparrow\downarrow\leftarrow\rightarrow$ (決定) (戻る) (青) (緑) (黄) を使って操作します。

▼文字入力画面表示

文字モード

メニュー画面の入力欄の内容により、入力に必要な文字モードが表示されます。



文字入力の操作のしかたは95ページをご覧ください。

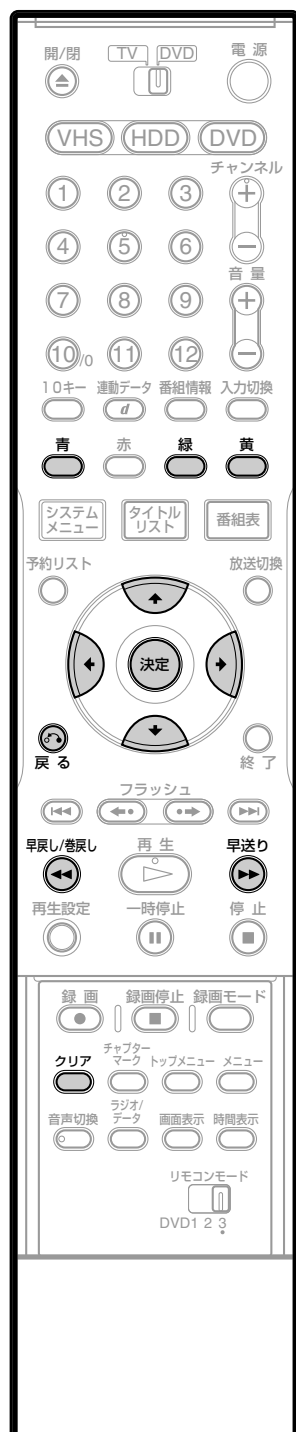
→ 入力文字一覧表

文字モード	文字グループ (展開表示)					
ひらがな	記号 あ行 か行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や行 ら行 わ行 空白					
	記号	一、。・「」ー (全角ハイフン)		あ行	あいうえおあいうえお	
	さ行	さしすせそゝ		た行	たちつとっゝ	
	は行	はひふへほゝゝ		ま行	まみむめも	
	ら行	らりるれろ		わ行	わをんわ	
カタカナ	記号 ア行 カ行 サ行 タ行 ナ行 ハ行 マ行 ヤ行 ラ行 ワ行 空白					
	記号	一、。・「」ー (全角ハイフン)		ア行	アイウエオアイウエオ	
	サ行	サシスセソゝ		タ行	タチツテトッゝ	
	ハ行	ハヒフヘホゝゝ		マ行	マミムメモ	
	ラ行	ラリルレロ		ワ行	ワヲンワ	
英数全角	数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白					
	数字	1234567890		ABC	ABCabc	
	GHI	GHIghi		JKL	JKLjkl	
	PQRS	PQRSpqrs		TUV	TUVtuv	
	空白	(全角スペース)				
英数半角	数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白					
	数字	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		ABC	A B C a b c	
	GHI	G H I g h i		JKL	J K L j k l	
	PQRS	P Q R S p q r s		TUV	T U V t u v	
	空白	(半角スペース)				
記号全角	@,.; ;_¥ \$%! ? &# + * = / _ " ' ^ ` () < > [] {} 空白					
	@,.; @ . , ;	;_¥ ; _ -		\$%! \$ % !		
	&# + * & # +	= / _ = / _		" ' ^ `   " ' ^ `		
	() < > () < >	[] {} [] {}		空白 (全角スペース)		
記号半角	@,.; ;_¥ \$%! ? &# + * = / _ () < > [] {} 空白					
	@,.; @ . , ;	;_¥ ; _ - ¥		\$%! \$ % ! ?		
	&# + * & # + *	= / _ = / _		" ' ^ `   " ' ^ `		
	() < > () < >	[] {} [] { }		空白 (半角スペース)		
編集	漢字変換 左へ 右へ 終了 文字削除					
	※入力文字ではありません。各キーを選び、  を押すと、カラーボタン（青、緑、黄）、戻るボタンの操作と同じ働きをします。					

💡ちょっと一言

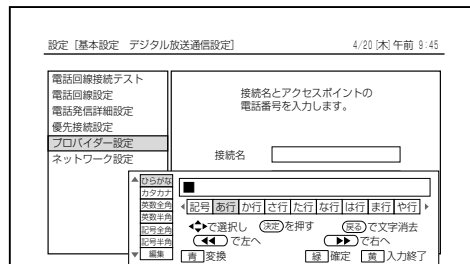
- 本体表示窓にタイトル名を表示したとき、記号半角の¥、\$、%、?、+、=、|、~、`、`、[]、{ }、<、>は、本体表示窓では表示できない文字のため、「*」で表示されます。

文字を入力する

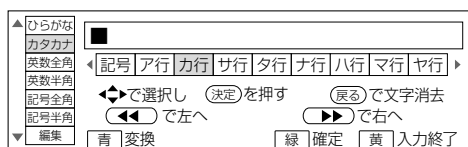


ふたを開ける

1 プロバイダー設定画面(97・98ページ)の入力欄で $\odot$ を押し、文字入力画面を表示する

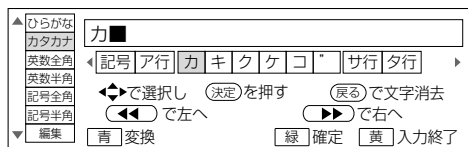
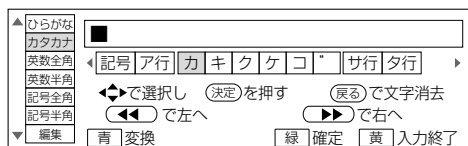


2 ① $\uparrow\downarrow$ で「文字モード」を選ぶ ② $\leftarrow\rightarrow$ で「文字グループ」を選び、 $\odot$ を押す



• 選んだ文字グループが展開されます。

3 $\leftarrow\rightarrow$ で入力する文字を選び、 $\odot$ を押す



- 文字入力欄に、決定した文字が表示されます。
- 続けて手順2～3を行い、文字を入力します。
- 文字グループを変更したいときは文字候補の先頭/最後で $\leftarrow$ または $\rightarrow$ を押します。
- 文字モードを変更したいときは $\downarrow$ を押します。

4 $\odot$ (黄:入力終了)を押し、入力を終了する

- プロバイダー設定画面の入力欄に完了した文字列が表示され、文字入力画面が消えます。

💡ちょっと一言

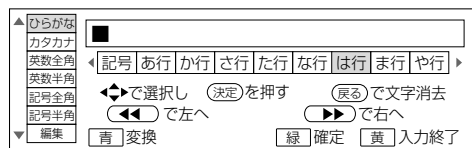
- 入力中に文字を消去する場合は、 $\leftarrow$ (左へ)または $\rightarrow$ (右へ)でカーソルを移動し、 $\odot$ (戻る)を押します。
- 入力した文字を一度に消去する場合は、リモコンふた内の $\odot$ (クリア)を押します。

次のページにつづく

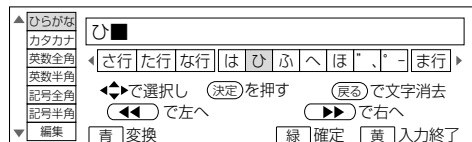
→ だく点「ゝ」や半だく点「゜」を付ける

[例]「び」を入力する

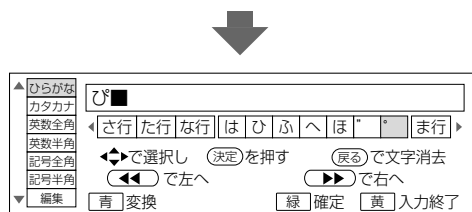
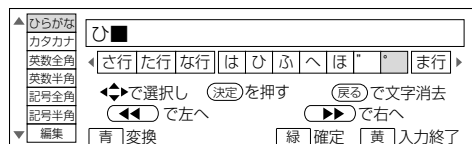
- ① **↑↓**で文字モード「ひらがな」を選ぶ
- ② **←→**で「は行」を選び、**決定**を押す



- ② **←→**で「ひ」を選び、**決定**を押す



- ③ **←→**で「゜」を選び、**決定**を押す



- 「゜」を選んで**決定**を押すと、「び」になります。

→ スペースを入力する

- ① **←→**で文字グループから「空白」を選び、**決定**を押す

- 文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

→ 漢字に変換する

- ひらがなを入力した後、漢字に変換することができます。漢字変換ができるのは、ひらがなを入力したときだけです。

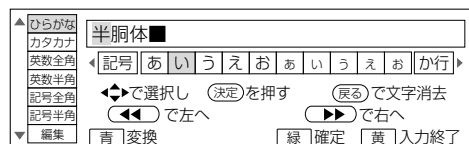
[例]「はんどうたい」を「半導体」に変換する

- ① **↑↓**で文字モード「ひらがな」を選ぶ
- ② **←→**で文字グループを選び、**決定**を押す

2 ひらがなで「はんどうたい」と入力する

3 **青:変換**を押す

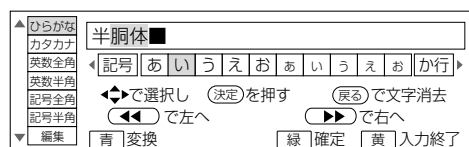
- 入力したひらがなの、変換候補が表示されます。



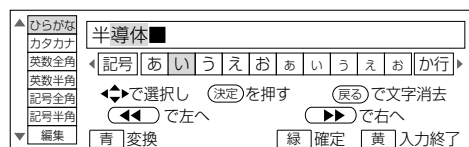
- **↑↓**で別の変換候補に切り換えることができます。

4 **決定**を押す

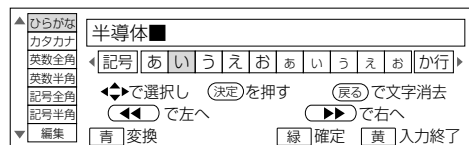
- 「半」が仮確定します。



5 **↑↓**で「導体」をさがす



6 **緑:確定**を押し、確定する



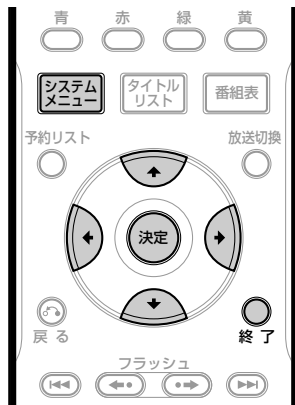
7 **黄:入力終了**を押し、入力を完了する

- プロバイダー設定画面の入力欄に完了した文字列が表示され、文字入力画面が消えます。

プロバイダー設定を行う

プロバイダー設定を行う

- パソコンなどで契約しているプロバイダーを使って、地上デジタル放送の双方向サービスで双方向通信を利用する場合に必要な設定です。(プロバイダーと契約していない場合は、双方向サービスが楽しめません。)



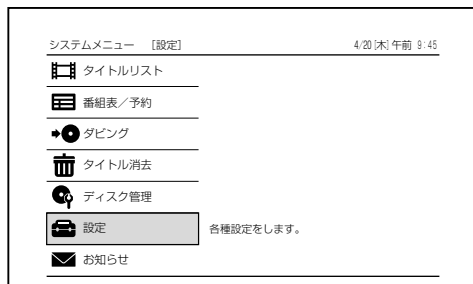
ちょっと一言

- 文字入力画面については93ページをご覧ください。

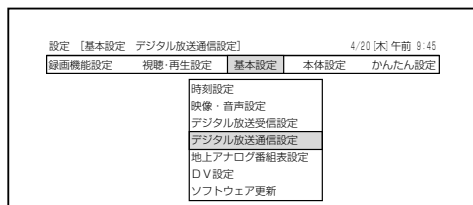
システムメニュー画面について

- システムメニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作をしてください。

- ① **システムメニュー**を押す
- ② **↑↓**で「設定」を選び、**決定**を押す

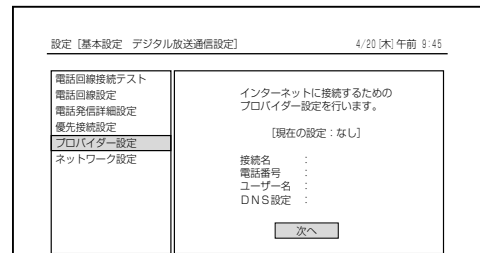


- ① **←→**で「基本設定」を選ぶ
- ② **↑↓**で「デジタル放送通信設定」を選び、**決定**を押す

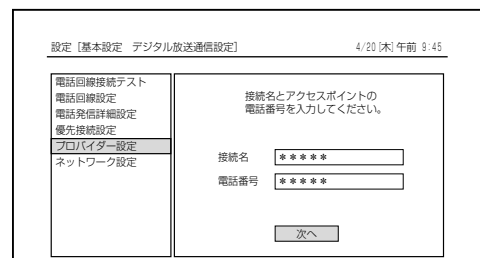


→ 接続名と電話番号設定

- ③ **↑↓**で「プロバイダー設定」を選び、**決定**を押す
- ② 「次へ」で**決定**を押す

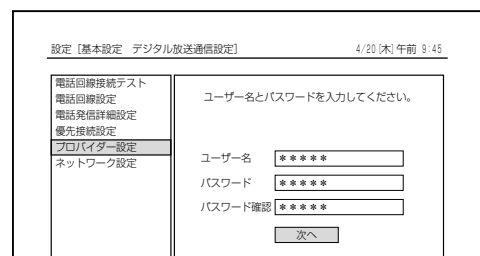


- ④ **決定**を押して文字入力画面を表示し、接続名を入力する
 - 通常は、契約しているプロバイダーの事業者名を入力します。
 - カーソルが「電話番号」の欄に移動します。
- ② **決定**を押して文字入力画面を表示し、電話番号を入力する
 - 契約しているプロバイダーの電話番号を入力します。
- ③ 「次へ」で**決定**を押す



→ ユーザー名とパスワード設定

- ⑤ **決定**を押して文字入力画面を表示し、ユーザー名を入力する
 - プロバイダーと契約した際に提供されたものを入力します。
 - カーソルが「パスワード」の欄に移動します。
- ② **決定**を押して文字入力画面を表示し、パスワードを入力する
 - プロバイダーと契約した際に提供されたものを入力します。
 - カーソルが「パスワード確認」の欄に移動します。
- ③ **決定**を押して文字入力画面を表示し、同じパスワードをもう一度入力する
- ④ 「次へ」で**決定**を押す



次のページにつづく→

→ DNS設定

6 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

- 「する」を選んだ場合は、「次へ」で決定を押します。手順8に進んでください。
- 「しない」を選んだ場合は、DNSのIPアドレスを入力します。入力後、手順7に進んでください。IPアドレスは、プロバイダーと契約した際に提供されたものを入力します。データのやりとりに使われる、3桁の数字4組で表された番号です。
「プライマリ」:1番目の番号
「セカンダリ」:2番目の番号

- ### 7
- ① 決定を押し、文字入力画面を表示する
 - ② 文字入力画面で、DNSのIPアドレスの「プライマリ」を入力する
 - ①、②を繰り返し、各入力欄に3桁の数字を入力します。

- ③ プライマリと同様に、DNSのIPアドレスの「セカンダリ」を入力する
- ④ 「次へ」で決定を押す

→ 詳細な設定をする

- 手順9では、通信速度を向上させるか、させないかの設定をします。契約しているプロバイダーがこれに対応していない場合は「しない」に設定してください。
- 手順10では、一定時間無通信だった場合に回線を切断するまでの時間を設定します。その時間に通信がなければ、回線を切断します。

8 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

- 「する」を選んだ場合は、手順9に進んでください。
- 「しない」を選んだ場合は、設定を終了してプロバイダー設定画面に戻ります。手順12に進んでください。

- ### 9
- ① ◀▶でヘッダ圧縮を「する」または「しない」を選び、決定を押す
 - ② ◀▶でソフトウェア圧縮を「する」または「しない」を選び、決定を押す
 - ③ 「次へ」で決定を押す

10 ◀▶で「60秒」「180秒」「300秒」のいずれかを選び、決定を押す

11 「完了」で決定を押す

12 ○(終了)を押し、設定を終了する

ネットワーク設定を行う

■ 本機を電話回線につなぐとデジタル放送のデータ放送の双方向サービスを利用できますが、プロバイダーの提供するブロードバンドサービス等を利用すれば、通信速度が向上し、双方向サービスをさらに快適に楽しむことができます。この場合、LAN接続*の設定が必要となります。

■ パソコンなどのインターネット環境をお持ちでない場合は、つぎのような接続機器が必要になります。また、回線業者やプロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。

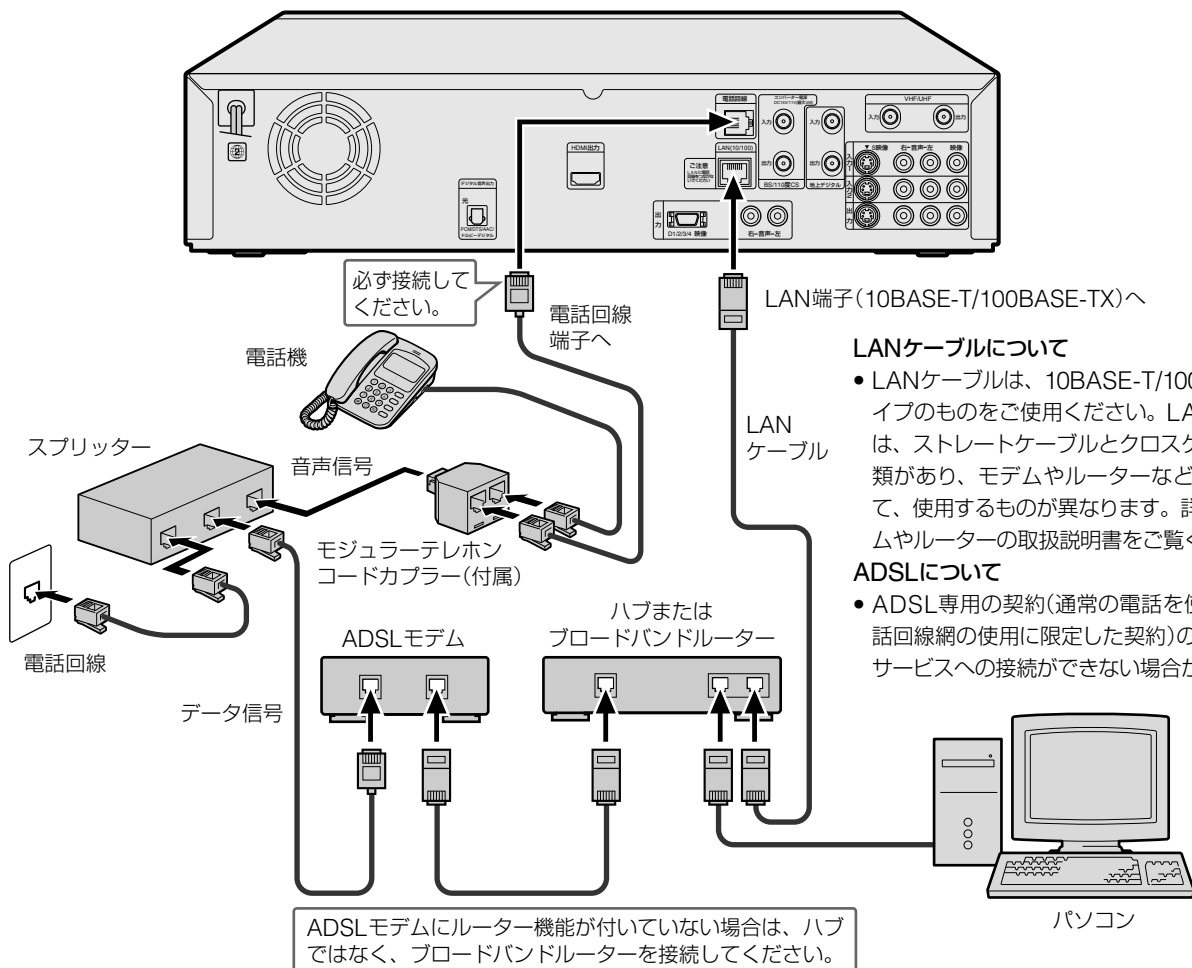
* LAN(Local Area Network)…デジタル放送の双方向通信。

LAN接続のしかた

(ADSLでの接続の一例です)

- ADSLなど、ブロードバンドサービスの接続は、専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- LAN接続した場合でも、放送事業者から提供されるデータ放送によっては電話回線のみで通信が行われることがありますので、必ず電話回線端子にも接続してください。

▼本体後面



接続後は、必ず、電話回線設定(76ページ)、プロバイダー設定(97ページ)、および ネットワーク設定(100ページ)を行ってください。

● ADSLモデム

本機やコンピュータなどをADSL回線に接続する際に必要となる、信号変換のための機器です。公衆電話回線網を通じて送られてくるADSL信号をイーサネットの信号に変換します。

ADSLの規格は事業者ごとに異なるため、事業者を変更した場合や設置地点を変更した場合には、同じADSLモデムではご利用いただけないことがあります。

● ハブ

複数の機器をLANに接続するための集線機器です。

● ブロードバンドルーター

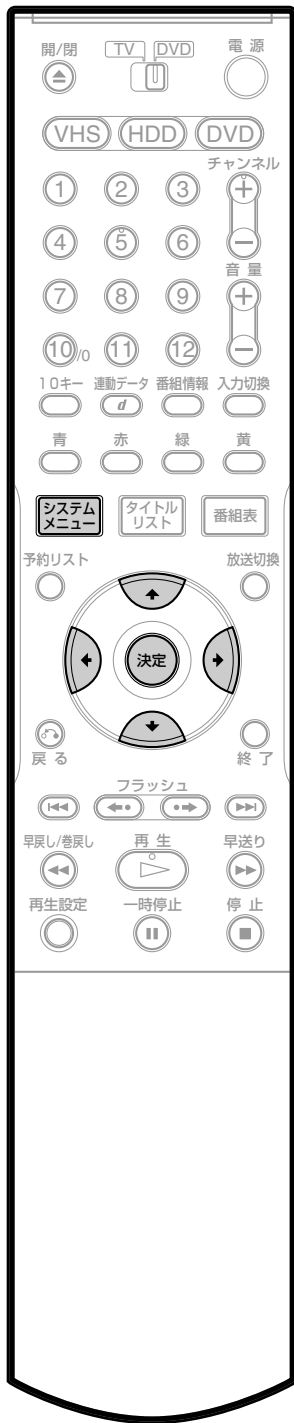
広帯域のデータ信号を他のネットワークに接続するための中継機器です。

● スプリッター

ADSLでは音声信号とデータが同じ回線の中を流れてくるため、これをそれぞれ電話機とADSLモデムとに分ける必要があるため、スプリッターを接続し、そこから電話機とADSLモデムに信号を振り分けます。

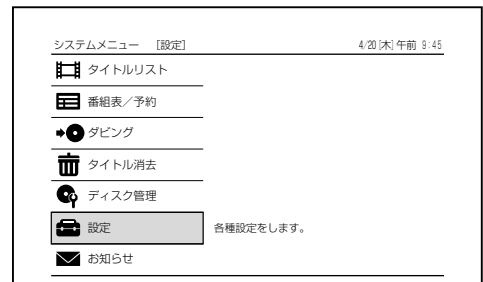
ネットワーク設定を行う

- ネットワーク接続によってデータ放送との双方向通信を行う場合、プロバイダーを利用したネットワークの設定が必要となります。



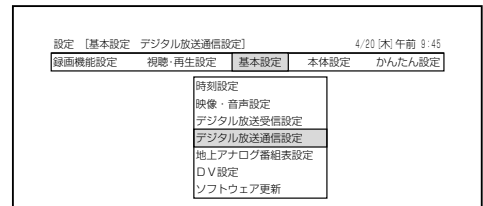
1

- ① **システムメニュー**を押す
- ② **↑↓**で「設定」を選び、**決定**を押す



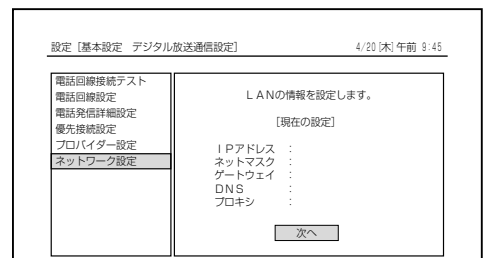
2

- ① **←→**で「基本設定」を選ぶ
- ② **↑↓**で「デジタル放送通信設定」を選び、**決定**を押す



3

- ① **↑↓**で「ネットワーク設定」を選び、**決定**を押す
- ② 「次へ」で**決定**を押す



4

- ① **←→**で「変更する」を選び、**決定**を押す



ちょっと一言

システムメニュー画面について

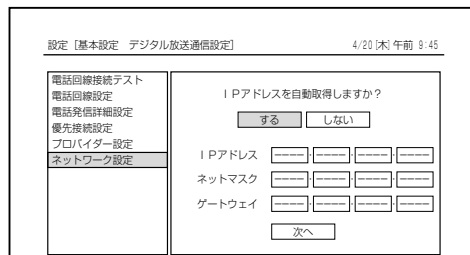
- システムメニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作をしてください。



→ IPアドレスを設定する

5 ←→で「する」または「しない」を選び、 決定を押す

- 「する」.....IPアドレスを自動で取得します。(モデムまたはルーターのDHCPサーバー機能を利用します。)
- 「しない」.....指定のIPアドレスを手動で入力します。



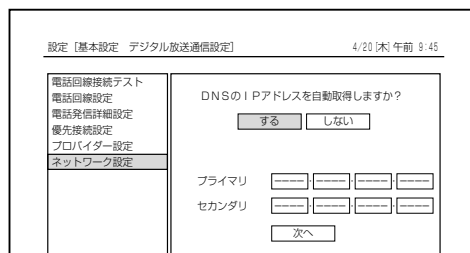
- 「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示にしたがって入力してください。

6 「次へ」で決定を押す

→ DNSアドレス設定

7 ←→で「する」または「しない」を選び、 決定を押す

- 「する」.....IPアドレスを自動で取得します。(モデムまたはルーターのDHCPサーバー機能を利用します。)
- 「しない」.....指定のIPアドレスを手動で入力します。



💡ちょっと一言

- 「しない」を選んだ場合は、ブロードバンドルーターの仕様を確認し、「プライマリ」と「セカンダリ」を入力してください。

8 「次へ」で決定を押す

→ プロキシサーバのアドレス設定

9 **←→で「する」または「しない」を選び、
決定を押す**

☝ちょっと一言

- 「する」を選んだ場合は、プロバイダーから指定されている「アドレス」「ポート」を入力してください。

10 **「次へ」で決定を押す**

→ 詳細な設定をする

- 通常は「しない」に設定してください。

11 **←→で「する」または「しない」を選び、
決定を押す**

- 「する」を選んだ場合は、手順12に進んでください。
- 「しない」を選んだ場合は、手順13に進んでください。

→ LAN接続スピードを設定する

12 **↑↓←→で「自動検出」を選び、決定を押す**

- 通常は設定の必要がありません。通信がうまくいかないなどのときに、設定を変更して確認します。

→ LANに接続するためのテストをする

- テスト実行は、IPアドレスを自動で取得する設定のときのみです。IPアドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」は選べません。

13 **設定内容を確認し、←→で「テスト実行」を選び、決定を押す**

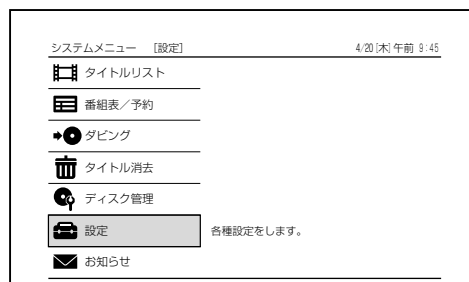
優先接続設定

- 双方向通信を行うとき、電話回線、LANのどちらで通信するかを設定します。



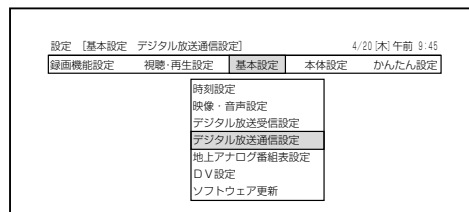
1

- ① システムメニューを押す
- ② ↑↓で「設定」を選び、決定を押す



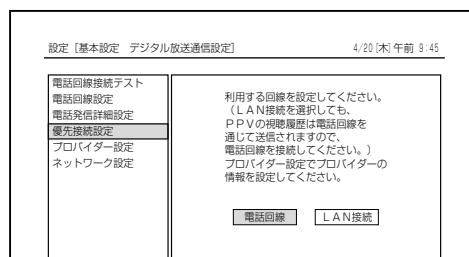
2

- ① ←→で「基本設定」を選ぶ
- ② ↑↓で「デジタル放送通信設定」を選び、決定を押す



3

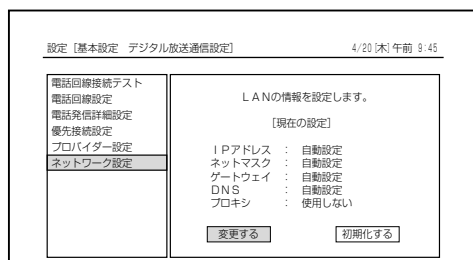
- ① ↑↓で「優先接続設定」を選び、決定を押す
- ② ←→で「電話回線」または「LAN接続」を選び、決定を押す



- 「電話回線」を選んだ場合は、電話回線設定(76ページ)とプロバイダー設定(97ページ)をしてください。
- 「LAN接続」を選んだ場合は、電話回線設定(76ページ)とプロバイダー設定(97ページ)をした上で、ネットワーク設定(100ページ)をしてください。

→ ネットワーク設定の内容を変更する

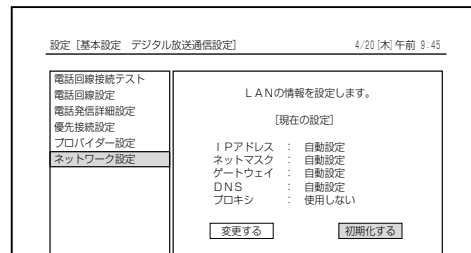
- 1 システムメニューで「設定」を選び、を押す
- 2 ① で「基本設定」を選ぶ
② で「デジタル放送通信設定」を選び、を押す
- 3 で「ネットワーク設定」を選び、を押す
- 4 で「変更する」を選び、を押す



- 5 101ページ～102ページの設定と103ページ「優先接続設定」の手順3を行い、再設定する

→ ネットワーク設定の内容を消去する

- 1 システムメニューで「設定」を選び、を押す
- 2 ① で「基本設定」を選ぶ
② で「デジタル放送通信設定」を選び、を押す
- 3 で「ネットワーク設定」を選び、を押す
- 4 で「初期化する」を選び、を押す



- 5 で「する」を選び、を押す

- 6 ○(終了)を押し、設定を終了する

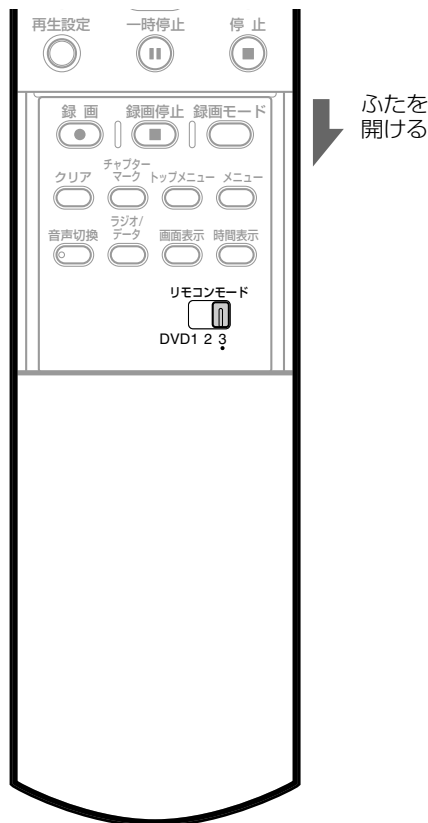
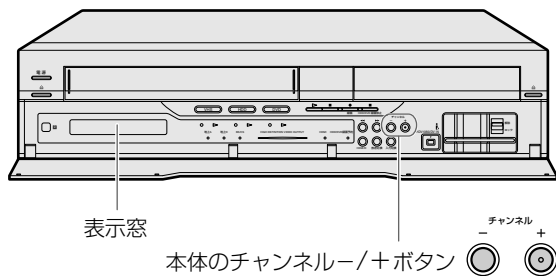
リモコンモードを設定する

はじめにお読みください

- 本機のリモコンが他のソニー製DVD機器を操作してしまう場合は、本体およびリモコンのリモコンモードを他の機器と違うリモコンモードに設定します。本体とリモコンのリモコンモードは、お買い上げ時には「DVD3」に設定されています。

ご注意

- 本体とリモコンは同じリモコンモードに設定してください。リモコンモードが違くと、リモコンで本体の操作が行えません。



→ リモコン側のリモコンモードを設定する

- 1 リモコンふた内のリモコンモードスイッチをDVD1、DVD2またはDVD3に切り換える

※お買い上げ時は「DVD3」に設定されています。

- 2 ●(電源)を押して本体の電源を入/切できるか確認する

- 本体の電源が入/切できないときは、本体側のリモコンモードと設定したリモコン側のリモコンモードが違います。手順3へ進んでください。

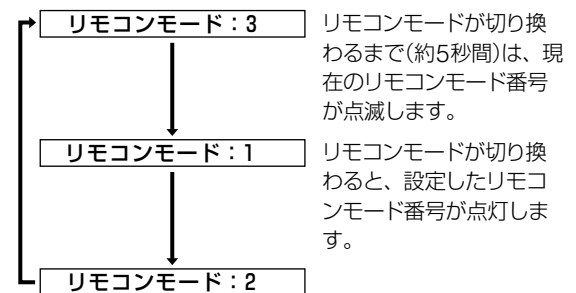
→ 本体側のリモコンモードを設定する

- 3 本体の電源を「切」にする

- 4 本体前面の チャンネル/＋ボタンを同時に5秒以上押す

- 押すたびにリモコンモードが、「リモコンモード:3」→「リモコンモード:1」→「リモコンモード:2」→「リモコンモード:3」…と切り換わります。

本体表示窓



- リモコンの●(電源)を押して本体の電源を入/切できるか確認します。

ご注意

- 「工場出荷設定」を行って本機をリセットした場合は、本体側のリモコンモードが「リモコンモード:3」に戻ります。

本体側のリモコンモードを設定するとき

- 「システムメニュー」→「設定」→「視聴・再生設定」→「チャンネル設定」→「地上デジタルチャンネル設定」の「番組表取得設定」(85ページ)を「する」に設定しているときは、本機の電源を「切」にしたとき、番組表(EPG)情報を取得します。番組表(EPG)情報取得中は本体内部の電源が入っているため、本体側のリモコンモード設定ができません。本体側のリモコンモード設定は、電源が切れるまで(約30分)待つか、「番組表取得設定」を「しない」に設定してから行ってください。電子番組表(Gガイド)データ取得中は、一度電源を入れて、電源を切ってから行ってください。
- 本機の電源を切っていても、本体内部の電源が入っているときは、本体側のリモコンモード設定が行えません(8ページ)。

次のページにつづく



ふたを開ける

→ リモコン操作ができないときは

- 1 本体の電源を「切」にする
- 2 リモコンの●(電源)を押し、本体表示窓に点滅している表示(「リモコンモード:1」、「リモコンモード:2」、「リモコンモード:3」のいずれか)を確認する
 - 点滅している番号が、本体側に設定されているリモコンモードです。
- 3 リモコンふた内のリモコンモードスイッチ(DVD1/DVD2/DVD3)を本体に合わせて切り換える
- 4 リモコンの●(電源)を押し、本体の電源を入/切できるか確認する

⚠️ ご注意

リモコンモードが点滅しないのに操作できないときは次のことを確認してください。

- 電池が正しくセットされていますか。
- 電池が古く寿命がきていませんか。
新しい電池と交換してください。
- 本体のリモコン受信部の前に障害物などありませんか。

リモコンで他機も操作できるようにする

はじめにお読みください

- メーカー番号を設定すれば、テレビのチャンネルや音量、電源などや、AVアンプの音量を、本機のリモコンで操作できます。
- ソニー製、アイワ製のテレビをお使いの場合は、数字ボタンでチャンネルを切り換えられる機種があります。



→ テレビのメーカーを指定する

1 リモコンの (TV/DVDスイッチ)を合わせる

- テレビを操作する設定のときは「TV」に、AVアンプのときは「DVD」にする。

2 ●(電源)を押したまま、メーカー番号を数字ボタンで順番に入力する

[例] メーカー番号10を入力する場合

①の次に⑩を押します。

- メーカー番号が複数あるときは、設定したい機器が操作できるまで、順に試してください。

3 入力した後、●(電源)をはなす

メーカー番号

テレビのメーカー	メーカー指定ボタン
ソニー	01*、12
アイワ	01*、17
NEC	09
三星電子(SAMSUNG)	18、19
三洋電機	07、15
シャープ	08、16
東芝	03
日本ビクター	06
パイオニア	10
日立製作所	04
富士通ゼネラル	11
フナイ	14
松下電器	02、13
三菱電機	05

AVアンプのメーカー **	メーカー指定ボタン
ソニー	78、79、80、91
オンキヨー	81、82、83
ケンウッド	92、93
山水電気	87
デノン	84、85、86
パイオニア	99
松下電器	97、98
ヤマハ	94、95、96

* お買い上げ時の設定です。メーカー番号01のソニー製・アイワ製の  マーク付きテレビなら、本機リモコンの数字ボタンで、テレビのチャンネルも切り換えられます。

** AVアンプのメーカー設定をしないとき(お買い上げ時の設定:90のままのとき)は、TV/DVDスイッチが「DVD」であっても、設定したテレビの音量を調節できます。

→ 各社のテレビに使えるボタン

TV/DVDスイッチを「TV」にすると、以下のボタンを使ってテレビを操作できるようになります。

押すボタン	できること
電源	テレビの電源を入/切する。
チャンネル+/-	テレビのチャンネルを切り換える
音量+/-	テレビの音量を切り換える。
入力切換	テレビの入力を切り換える。
数字ボタン	ソニー製テレビ、アイワ製テレビ(メーカー番号01)のチャンネルを切り換える。

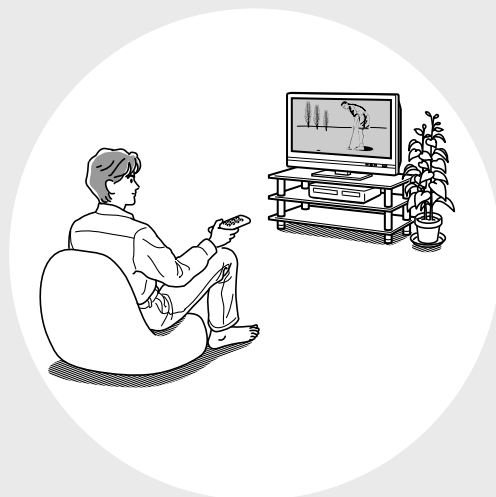
→ AVアンプの音量を調節する

 (TV/DVDスイッチ)を「DVD」に合わせてください。本機のリモコンをAVアンプに向けて、本機のリモコンの (音量+/-)で、AVアンプの音量を調節できます。

📌ご注意

- テレビによっては、メーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
- リモコンの乾電池を取り換えたときは、メーカー番号が自動的に買い上げ時の設定に戻ることがあります。その場合は、メーカー番号をもう一度入れ直してください。

ディスクについて



■ ここでは、HDDとDVDについて説明します。

目次

ページ

HDDやDVDに録画した番組の 構成について	110
HDDについて	111
本機で使えるディスクについて	112
本機で使えないディスク	114
DVDについて	115
ディスクの種類とフォーマットについて	115
新品のディスクを使う前に(初期化)	116
他のDVDプレーヤーで再生するときは (ファイナライズ)	116
本機の録画フォーマットとおもに できること	117
録画フォーマットの種類	117

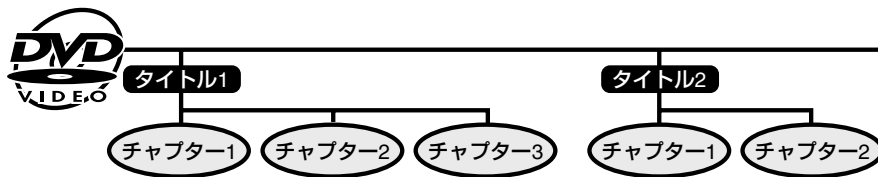
HDDやDVDに録画した番組の構成について

→ 録画した内容の構成

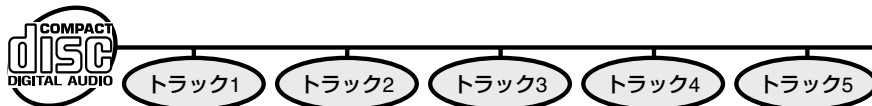
HDDやDVDに録画した番組は、「タイトル(録画した番組)」という単位でディスクに記録されます。タイトルは、さらに「チャプター(章)」という単位で構成されています。

- HDD、DVD-RW/-Rディスクに録画した場合は、1回の録画が1タイトルとなり、自動で10分ごとにチャプターが区切られます。(「自動チャプターマーク」の設定を10分に設定した場合)
- DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。(ディスクによって構成が異なる場合があります。)
- ビデオCDや音楽用CDでは、ディスクをトラックという単位で分けています。一般的には1曲が1つのトラックに対応していますが、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。

DVDビデオの例



音楽用CDの例



→ DVDビデオについて

DVDビデオにはいろいろな機能があり、つぎのようなマークでパッケージに表記されています。

音声トラック数	 1: 英語(オリジナル)ドルビーデジタル・ドルビーサラウンド 2: 日本語(吹替)ドルビーデジタル・5.1chサラウンド
画面サイズ	 シネマスコープサイズ
リージョン番号	 NTSC 日本市場用
収録時間	 約166分
字幕	 1: 日本語字幕 2: 日本語吹替用字幕

HDDについて

本体に内蔵されているHDDには、ハイビジョン放送をそのままのクオリティで録画できます。HDDにはデジタル放送(ハイビジョン放送を含む)の信号をそのままの形式で記録するため、デジタル放送の画質や音質を損なうことなく録画・再生ができます。(DR録画)

録画できる時間

放送	録画可能時間	画質
デジタル放送の「HD放送」(ハイビジョン放送)	約22時間(BS・110度CSデジタル放送) 約31時間(地上デジタル放送)	HD画質(ハイビジョン画質)
デジタル放送の「SD放送」(スタンダード放送)	約66時間10分	SD画質(スタンダード画質)
デジタル放送の「ラジオ放送」	約483時間	—
アナログ放送(XPモードのとき)	約59時間30分	高画質

※録画モードや、録画する映像によって、録画できる時間は変わります。「操作編」の「録画モードと録画時間」をご覧ください。

取り扱い上のご注意

本機の設置場所や取り扱いに十分な配慮が不足しますと、次のような症状が発生します。

- ・ HDDが故障する
- ・ HDDに録画した内容が損なわれる
- ・ 動作が中断する
- ・ ノイズが記録される

上記のようなことを避けるため、以下のことを守ってください。

次のような場所には置かないでください。

- ・ 本体後面の冷却用ファンや通風口をふさぐような狭いところ
- ・ 本体前面のドアが開けられないようなところ
- ・ 傾いたところ(水平に置いてください)
- ・ 振動の激しいところ(振動や衝撃は与えないでください)
- ・ 湿度の高いところ
- ・ 温度差の激しいところ
温度差の激しいところに設置すると、「結露(露つき)」が起こる場合があります。本機の内部に露つきが起こったままお使いになると、HDDに傷が付いて故障の原因になります。室内の温度変化は、毎時10℃以下に保つことをおすすめします。

電源が入っているときは次の点にご注意ください。

- ・ 電源プラグをコンセントから抜かない
- ・ 本機を設置してある場所のブレーカーを落とさない
- ・ 本機を移動させない
本機を移動させるときはかならず電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源を切ると、本体表示窓が「電源切」となり、表示が消えます。

エラーメッセージが表示されたら

- ・ 「ハードディスクにエラーが発生しました。放送視聴のみ可能です。」などのエラーメッセージが表示されたときは、HDDが故障していることがあります。HDDが故障した場合、ご自身でHDDを交換することはできません。HDDが故障しても再生が可能であれば、録画内容をDVD-RW/-RディスクまたはVHSテープに保存してください。その上で、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センター(裏表紙)にご連絡ください。
※本機をご自身で分解すると、保証が無効になります。
※録画した内容の修復はできません。
- ・ エラーメッセージが表示されたとき、症状によってはHDDを「初期化」することで改善されることがあります。初期化のしかたについては「操作編」の「初期化をする」をご覧ください。
※初期化をすると、録画した内容は全て消去されます。大切な録画内容は、初期化をする前にDVD-RW/-RディスクまたはVHSテープに保存してから初期化をしてください。

停電になったら

- ・ 録画中、または録画予約中に停電になると、録画中の内容が損なわれることがあります。
- ・ 再生中に停電になると、再生中の内容が損なわれることがあります。

大切な録画内容は

HDDが故障すると、HDDに録画した内容が失われることがあります。大切な内容は、DVD-RW/-RディスクまたはVHSテープに保存しておくことをおすすめします。

本機ではHDDの容量の一部を、システム管理領域として使用しています。

HDDの故障による録画・録音内容の損失など万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本機で使えるディスクについて

→ 本機で録画・再生できるディスク

ディスクの種類 ディスクの特長		録画と再生ができるディスク (必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをお使いください。)							
		DVD-RW 				DVD-R 			
録画フォーマット		VRモード		ビデオモード		VRモード		ビデオモード	
ディスク盤の大きさ	12cm	○		○		○		○	
	8cm ^{*1}	再生のみ可能		再生のみ可能		再生のみ可能		再生のみ可能	
繰り返し録画		○		○ ^{*2}		×		×	
追加録画		○		○ ^{*2}		○ ^{*3}		○ ^{*3}	
ディスクのバージョン		Ver.1.0 Ver.1.1	CPRM対応 Ver.1.1 Ver.1.1/2× Ver.1.2/4× Ver.1.2/6×	Ver.1.1 CPRM対応 Ver.1.1 Ver.1.1/2× Ver.1.2/4× Ver.1.2/6×		Ver.2.0 Ver.2.0/4× Ver.2.0/8×	CPRM対応 Ver.2.0 Ver.2.0/4× Ver.2.0/8× Ver.2.1/4× Ver.2.1/8× Ver.2.1/16×	Ver.2.0 Ver.2.0/4× Ver.2.0/8× Ver.2.1/4× Ver.2.1/8× Ver.2.1/16×	CPRM対応 Ver.2.0 Ver.2.0/4× Ver.2.0/8× Ver.2.1/4× Ver.2.1/8× Ver.2.1/16×
デジタル放送をDVDに録画する場合	録画可能	×	○	×		×	○	×	
	1回だけ録画可能	×	○	×		×	○	×	
	録画禁止	×	×	×		×	×	×	
デジタル放送をHDDに録画し、DVDにダビングする場合	録画可能	○コピー	○コピー	○コピー		○コピー	○コピー	○コピー	
	1回だけ録画可能	×	○移動(ムーブ)	×		×	○移動(ムーブ)	×	
	録画禁止	×	×	×		×	×	×	
新品のディスクを使うとき		VRモードで初期化が必要です。		ビデオモードで初期化が必要です。		VRモードで初期化が必要です。 ^{*4}		初期化の必要はありません。	
再初期化		○		○		×		×	
プレイリスト作成		○		×		○		×	
本機で録画した内容を他の機器で再生する		DVD-RW対応DVDプレーヤーでのみ再生ができます。 ^{*5}		本機で録画後にファイナライズ処理をすることで、他のDVDプレーヤーで再生できるようになります。		DVD-R(VRモード)対応機器でのみ再生ができます。 ^{*6}		本機で録画後にファイナライズ処理をすることで、他のDVDプレーヤーで再生できるようになります。	

上記ロゴマークがディスクレーベル面に入った、JIS規格に合格したディスクをご使用ください。規格外のディスクを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。また、再生できても、画質・音質の保証はいたしかねます。

- *1 ● DVD 8cm盤ディスクは、本機での録画は行えません。
- *2 ● ファイナライズ処理をすると、録画ができなくなります。(ファイナライズ解除をすると、再び録画ができるようになります。)
- *3 ● ディスクに空き容量がある限り、録画ができます。ただし、ファイナライズ処理をすると以降の録画ができなくなります。(ファイナライズ解除はできません。)
- *4 ● VRモードで初期化せずに録画をすると、ビデオモードで録画されます。
- *5 ● ファイナライズ処理が必要な場合もあります。
 - DVD-RW(CPRM対応)に録画した「1回だけ録画可能」の番組は、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生できます。
 - DVDプレーヤーによっては再生できないものもあります。
- *6 ● ファイナライズ処理が必要な場合もあります。
 - DVD-R(CPRM対応)に録画した「1回だけ録画可能」の番組は、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生できます。
 - DVDプレーヤーによっては再生できないものもあります。

移動(ムーブ)について

- HDDに録画した「1回だけ録画可能」の番組をDVDへダビングする場合は、移動(HDDの録画内容は消去)となります。(DVDに録画した「1回だけ録画可能」の番組は、HDDへダビングできません。)

DVD-R DL(2層)ディスクについて

- DVD-R DL(2層)ディスクは、Ver.3.0/4×まで対応しています。
- 本機の場合、DVD-R DL(2層)ディスクはビデオモードでのみご使用頂けます。(VRモードではご使用になれません。)
- 本機以外で録画したDVD-R DL(2層)ディスクは、記録状態によっては再生できない場合があります。

ファイナライズ後のディスクについて

DVD-RW(VRモード)をファイナライズしても…	→ 録画が行えます。
DVD-RW(ビデオモード)またはDVD-Rをファイナライズすると…	→ 再生専用のディスクになります。(録画は行えません。)

→ 再生できるディスク

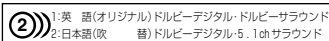
再生できる 条件 ディスクの 種類		録画方式 (フォーマット)	ディスクの大きさ	再生できる内容
  DVDビデオ	リージョン番号  または  の含まれる ディスク	ビデオモード	12cm盤	音声+映像 (動画)
			8cm盤	
 DVD-RW	 DVD-R	VRモード ビデオモード (ファイナライズ済ディスク)	12cm盤	音声+映像 (動画)
			8cm盤	
 DVD+RW	 DVD+R	ビデオモード (ファイナライズ済ディスク)	12cm盤	音声+映像 (動画)
			8cm盤	
DVD-RAM [カートリッジから ディスクを取り出せる タイプ]	4.7/9.4 GB Ver. 2.0/2.1/2.2	VRモード	12cm盤	音声+映像 (動画)
 ビデオCD		ビデオCDフォーマット	12cm盤	音声+映像 (動画)
			8cm盤	
 音楽用CD		音楽用CDフォーマット	12cm盤	音声
			8cm盤	
 CD-R CD-RW		音楽用CDフォーマット	12cm盤	音声
		ビデオCDフォーマット	12cm盤	音声+映像 (動画)
		*7 JPEG	8cm盤	静止画 (JPEGファイル)

*7 本機で再生できるCD-R/-RWのJPEGファイルは、「DCF」準拠のファイルです。

DVDビデオについて

・DVDビデオにはいろいろな機能があり、つぎのようなマークでパッケージに表記されています。

音声トラック数



字幕



画面サイズ



リージョン番号



収録時間

約166分

本機で使えないディスク

→ 録画・再生できないディスク

■ 次のディスクは、本機で録画・再生はできません。再生できても正常に再生されないことがあります。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。

CDG、フォトCD、CD-ROM、CD-TEXT、CD-EXTRA、SVCD、SACD、PD、CDV、CVD、DVD-ROM、DVDオーディオ、DVD+R DL(2層)、DVD-RW(JPEGファイル)、Blu-rayディスク、AVCHD記録ディスク、HD DVD

その他、特殊な形のディスク(♡ハート型や◇六角形のディスクなど)

→ 再生できない場合のあるディスク

■ 本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。

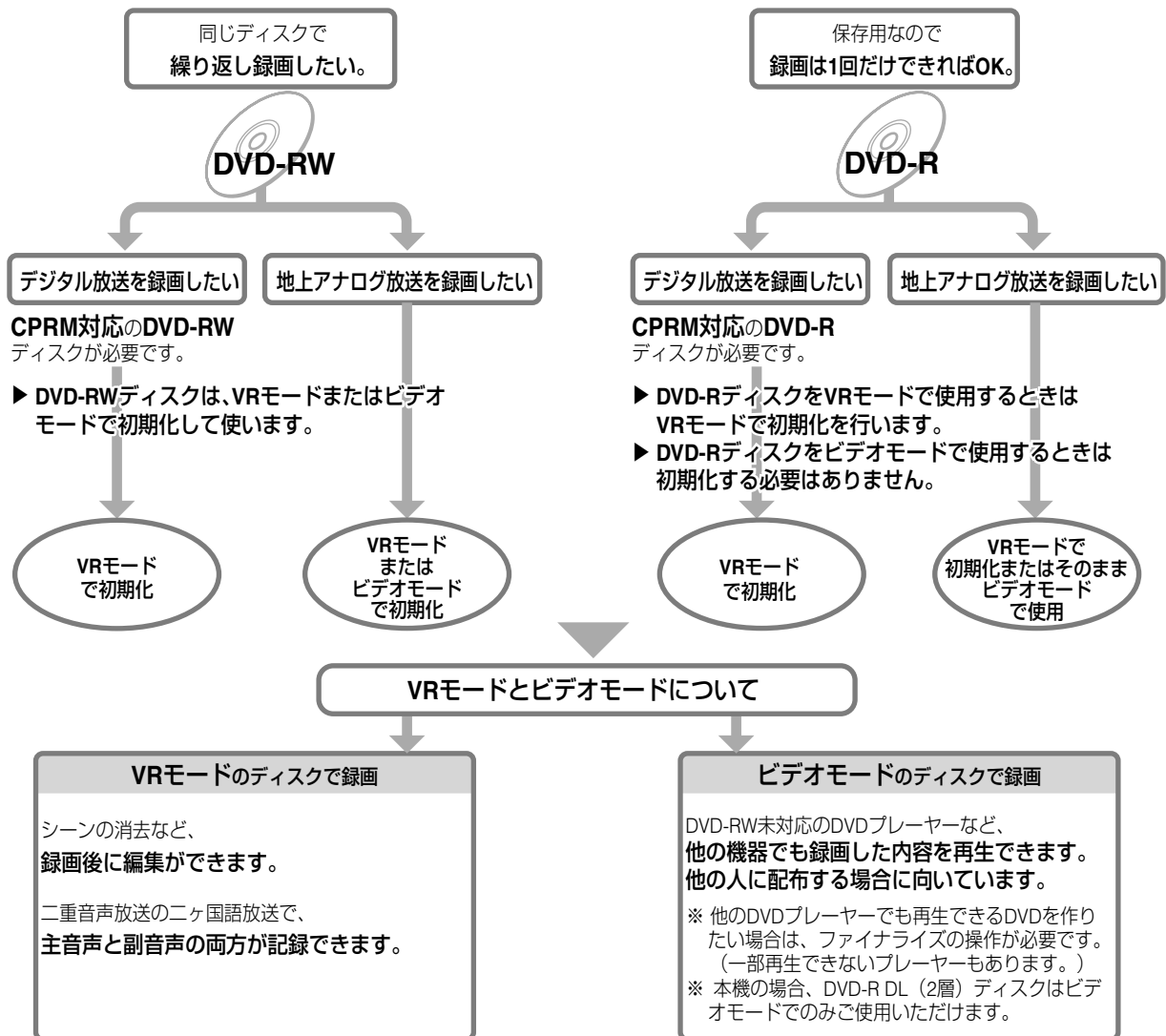
DVDビデオ	・リージョン番号「ALL」、「2」が含まれていないディスク(正式な販売地域以外のディスク) ・PAL方式、SECAM方式のディスク(海外で製造されたディスク) ・無許諾のディスク(海賊版のディスク) ・業務用のディスク
DVD-RW DVD+RW DVD-R DVD+R DVD-RAM DVD-R DL(2層)	・ビデオモードのDVD-RW/-Rに静止画(JPEGファイル)と動画が混在している場合は、動画しか再生することができないか、まったく再生できません。 ・ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。 ・他機で記録されて、ファイナライズされていないディスク

音楽用CD	・著作権保護を目的とした信号(コピーコントロール信号)の入ったCDは再生できない場合があります。 本製品は、CD(コンパクトディスク)規格に準拠した音楽用CDの再生を前提として設計されています。
ビデオCD CD-R CD-RW	・データが記録されていないディスク ・ファイナライズされていないディスク ・ビデオCD/音楽CDフォーマット以外のフォーマットで記録されたディスクや、JPEGファイル以外(MP3ファイル形式など)のデータが記録されたディスク ・音楽や映画などと静止画(JPEGファイル)が混在したディスクは、静止画(JPEGファイル)しか再生することができません。 ・または、ディスクによってはまったく再生できません。 ・ディスクの記録状態/ディスク自体の状態によっては、再生できません。 ・ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。 ・パケットライト方式で作成されたデータCDは再生できません。

DVDについて

ディスクの種類とフォーマットについて

- DVD-RW/-Rディスクとフォーマットの種類を、お使いになる目的に合わせてお選びください。



💡ちょっと一言

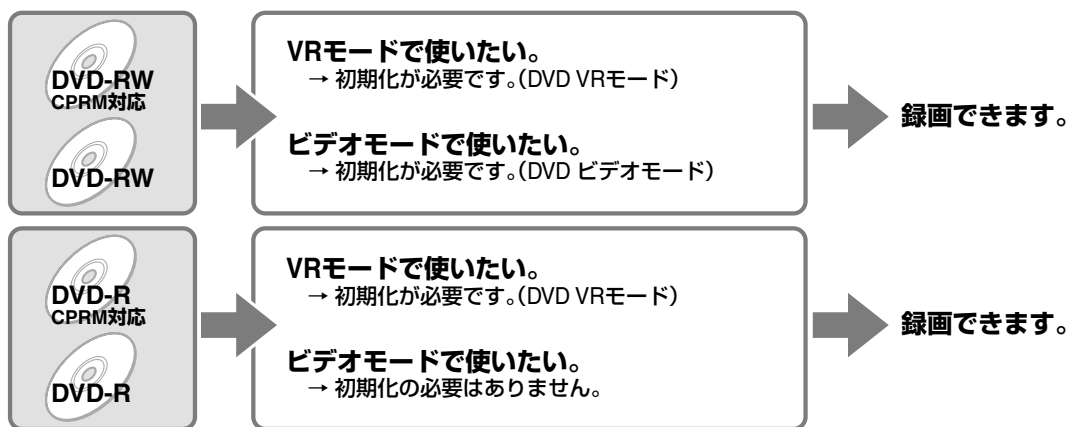
- デジタル放送などのコピー制御信号の含まれた番組を録画するときは、CPRM対応のDVD-RW/-Rディスクを使用してください。

新品のディスクを使う前に(初期化)

- 新品のディスクを使うときは、録画をする前に「初期化」という操作が必要です。

ディスクの種類

新品のディスクへの初期化(フォーマット)



DVD-RWを使うとき

- 初めに「初期化」という操作を行い、録画をするための準備をします。初期化をするときに、録画フォーマット(VRモードまたはビデオモード)を選びます。初期化のしかたについては、「操作編」の「初期化をする」をご覧ください。
- 本機をお買い上げの時点では、新品のDVD-RWをセットすると自動的にVRモードで初期化されます。
- DVD-RWをおもにビデオモードで使いたいときは、セットしたDVD-RWを自動的にビデオモードで初期化するように設定できます。設定のしかたは、「DVD-RW自動初期化」(「操作編」の「録画機能設定」)をご覧ください。
- 録画したディスクを新品同様に使いたいときは、もう一度初期化します。

※初期化すると、録画した内容はすべて消去されます。

DVD-Rを使うとき

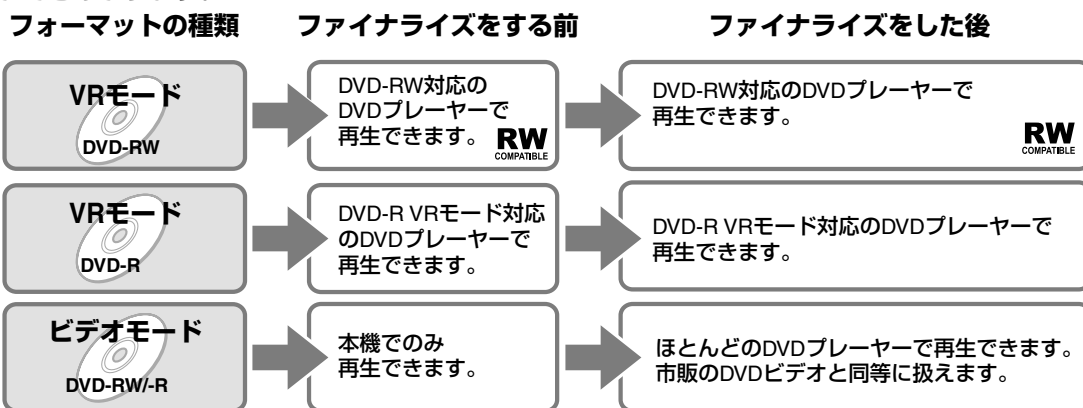
- 新品のDVD-Rをビデオモードで使うときは、「初期化」の操作は必要ありません。

DVD-R(VRモード)について

- 新品のDVD-Rは、VRモードで初期化できます。
- DVD-RをVRモードで初期化できるのは、未使用の状態で、1回だけです。(再初期化はできません。)
- 本機の場合、DVD-R DL(2層)ディスクはビデオモードでのみご使用いただけます。
- 編集で不要なタイトルやチャプターを削除できますが、削除した分のデータ容量は復帰しません。

他のDVDプレーヤーで再生するときは(ファイナライズ)

- 録画した後に「ファイナライズ」という操作をすると、他のDVDプレーヤーでも再生できる(互換性のある)ディスクができあがります。



- ファイナライズのしかたについては「操作編」の「ファイナライズをする」をご覧ください。

DVD-RWに録画したとき

- DVD-RWにビデオモードで録画したときは、「ファイナライズ」という操作を行います。ファイナライズをすることによって、本機で録画したディスクを他のDVDプレーヤーで再生できるようになります。(再生できない機器もあります。)
- DVD-RWにVRモードで録画したときは、DVD-RW対応のDVDプレーヤーで再生してください。ファイナライズをしなくても再生できます。DVD-RW対応のDVDプレーヤーでも再生できないときは、ファイナライズをしてください。DVD-RW(CPRM対応)に録画した「1回だけ録画可能」の番組は、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生できます。

DVD-Rに録画したとき

- DVD-Rを初期化しないで録画したディスクは、ファイナライズをすると、市販のDVDビデオと同じように扱うことができ、ほとんどのDVDプレーヤーで再生できます。(再生できない機器もあります。)
- DVD-RをVRモードで初期化して録画したディスクは、DVD-R VRモード対応のDVDプレーヤーで再生できます。DVD-R VRモード対応のDVDプレーヤーでも再生できないときは、ファイナライズをしてください。DVD-R(CPRM対応)に録画した「1回だけ録画可能」の番組は、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生できます。(再生できない機器もあります。)

本機の録画フォーマットとおもにできること

録画フォーマットの種類

●本機では、以下の4つのフォーマットで録画できます。

① HDDにデジタル信号をそのまま記録する「DR録画」

デジタル放送から送られてくる信号をそのままに録画する方式です。

ハイビジョン画質や5.1ch音声をそのまま録画できます。
(ただし、プレイリスト編集ができないなど、編集機能に制限があります。)

② HDDに録画モードを選んで記録する「モード変換録画」

任意の録画モード(XP、SP、LP、EP、MN)で録画することができます。

録画したタイトルは、さまざまな編集ができます。
(ただし、ハイビジョン画質や5.1ch音声などデジタル放送をそのままのクオリティで録画することはできません。)

③ DVDへの「VRモード録画」

任意の録画モードで録画することができます。

HDDへのDR以外の録画と基本的には同じ方式ですが、録画したディスクはVRモード対応のDVDプレーヤーでのみ再生できます。また、デジタル放送の「1回だけ録画可能」の番組をDVD-RW/-R (CPRM対応)ディスクに録画することができます。

④ DVDへの「ビデオモード録画」

任意の録画モードで録画することができます。

市販のDVDプレーヤーやDVD-ROMドライブと互換性のある録画方式です。

(ただし、編集機能には大きな制限があります。また、デジタル放送の「1回だけ録画可能」の番組を録画することはできません。)

●4つの録画フォーマットでの、おもにできること/できないこと

	HDD		DVD	
	① DR録画	② モード変換録画	③ VRモードで録画	④ ビデオモードで録画
デジタル放送録画	○	○	○ ^{*1}	×
アナログ放送録画	×	○	○	○ ^{*5}
ハイビジョン画質での録画	○	×	×	×
デジタル放送5.1ch音声記録	○	×	×	×
字幕記録	○	△ ^{*6}	△	△
連動データ記録	○	×	×	×
デジタルラジオ記録	○	×	×	×
ステレオニヶ国語音声記録	○	×	×	×
モノラルニヶ国語音声記録	○	○ ^{*2}	○	×
追いかけて再生	○	○ ^{*3}	×	×
同時録再	○	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○
デジタルスーパーピクチャー	×	○	○	○
バーチャルサラウンド	×	○	○	○
任意のチャプター設定	○	○	○	×
シーン消去	○	○	○	×
チャプター消去	○	○	○	×
プレイリスト編集	×	○	○	×
フレーム単位編集	○	○ ^{*2}	○	×
高速ダビング	×	○ ^{*4}	○	○ ^{*5}
プログレッシブ再生(525i→525p)	×	○	○	○

*1 DVD-RW/-R(CPRM対応)ディスクでのみ可能。

*2 高速ダビング設定を「切」に設定しているとき。

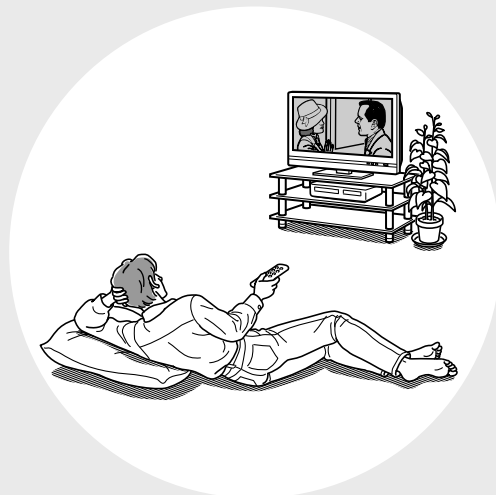
*3 デジタル放送録画時は不可。

*4 ビデオモードのDVDへダビングするときは、高速ダビング設定を「入」に設定しているときのみ高速ダビングが可能。

*5 ファイナライズ後は動きません。

*6 字幕が映像として送られてきている場合のみ可能です。(字幕の入/切の切換ができない映像のみ録画されます。)

その他



■ ここでは、接続や設定に関する補足説明とよくあるお問い合わせを紹介しています。

目次

ページ

接続に関する補足説明.....	120
アンテナとの接続に関する補足説明	120
テレビとの接続に関する補足説明	120
外部機器との接続に関する補足説明	121
設定に関する補足説明.....	122
よくあるお問い合わせ	123
索引	125

接続に関する補足説明

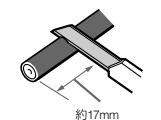
アンテナとの接続に関する補足説明

- アンテナ線がF型コネクタのついていない同軸ケーブルのときは、先端を加工してアンテナコネクタ(別売り)を取り付けます。

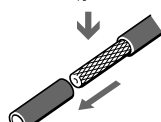
同軸ケーブルの先端加工のしかた

アミ線や芯線の長さは、取り付ける機器の説明書で確認してください。

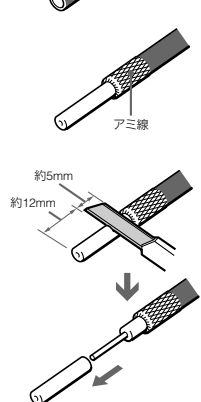
- 1 外側の黒いビニールだけにすじを入れて切り取る。



- 2 アミ線を折り返す。



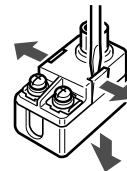
- 3 芯線にキズを付けないように、内側の白いビニールにすじを入れて切り取る。



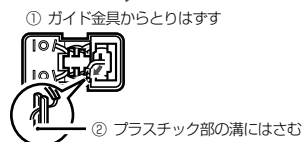
アンテナコネクタの取り付け例

アンテナコネクタ：EAC-35Bなど

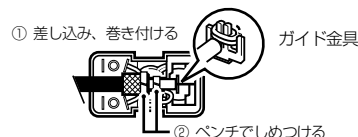
- 1 ツメを外側にひらき、カバーを外す。



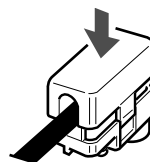
- 2 線をガイド金具から取り外し、プラスチックにはさむ。



- 3 同軸ケーブルの先端をガイド金具に巻き付ける。



- 4 カバーをもとどおりにはめ込む。



テレビとの接続に関する補足説明

■ ここでは本機とテレビを接続したときの補足説明をします。

→ 映像が乱れたり雑音聞こえる場合は

- 本機とテレビを接続しているコード類をアンテナ線と一緒に束ねないでください。テレビ放送を見るときに画面にノイズが出るなど、電波妨害の原因となることがあります。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるため、電源コードや他の接続コード類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。
- 「プログレッシブ設定」を「入」に設定しているときは、DVDの再生映像が乱れて見える場合があります。そのようなときは、「システムメニュー」→「設定」→「視聴・再生設定」→「プログレッシブ設定」を「切」に設定し直してください。〔操作編〕の「視聴・再生設定」

→ はじめて電源を入れたが、「かんたん設定」画面が表示されない

- 接続後、はじめて電源を入れたときに「かんたん設定」画面が表示されない場合は、次の操作をしてください。

① **システムメニュー**を押したあと、**↑↓**で「設定」を選び、**決定**を押す

② **←→**で「本体設定」を選ぶ

③ **↑↓**で「工場出荷設定」を選び、**決定**を押す

④ **←→**で「リセットする」を選び、**決定**を押す

- システムリセットされ、本機の電源が切れます。

⑤ 再度電源を入れ、「かんたん設定」画面を表示する

- 46ページの「設定のながれ」にそって設定を進めてください。

→ ケーブルテレビ(CATV)を受信して地上アナログ放送の電子番組表(Gガイド)をご使用になる場合について

- ケーブルテレビ(CATV)を受信しているときは、地上アナログ放送の電子番組表(Gガイド)データが受信できない場合があります。ケーブルテレビ(CATV)側で放送局の電波を改変せずに再送信している場合は、地上アナログ放送の電子番組表(Gガイド)が利用できます。ケーブルテレビ(CATV)会社にご確認ください。
- ケーブルテレビ(CATV)局より地上アナログ放送の電子番組表(Gガイド)データも送信されている場合は、次のように操作してください。

① お住まいの地域にもっとも近い地域番号を地域番号設定で入力する。

② 手動チャンネル設定で、放送が映るようにチャンネルを設定する。

※ ホームターミナルなどを本機の外部入力端子へ接続して使用する場合は、地上アナログ放送の電子番組表(Gガイド)データは受信できません。

→ 映像が映らないときは

- D-コンポーネント変換ケーブル・音声コードの接続(34ページ)をした場合、テレビによってはコンポーネント映像入力端子の切換え(メニュー設定やスイッチの切換えなど)が必要な場合があります。お使いのテレビの取扱説明書にしたがって操作してください。

→ テレビのオートワイド機能が働かないときは

- コンポーネント映像入力端子に接続したときは、テレビのオートワイド機能は働きません。

外部機器との接続に関する補足説明

■ ここでは本機と外部機器を接続したときの補足説明をします。

→ ビデオデッキを接続していて、テレビの映りが悪いときは

- ビデオデッキなどを中継してアンテナ線を接続すると、テレビの映りが悪くなる場合があります。そのときは、別売りのブースターをご使用ください。

→ ビデオデッキからの映像を正常に録画できないときは

- 市販のビデオソフトなど、コピー防止機能の入ったテープを再生すると、コピー防止機能の働きにより本機では録画(正常な録画)ができません。

→ 本機に接続したビデオデッキの再生映像が見られないときは

- 本機を使用(再生や録画)しているときは、接続したビデオデッキで再生しているビデオの映像が見られません。接続したビデオデッキからの映像を見るときは、本機の録画や再生を停止してからビデオデッキを接続している外部入力に切り換えてご覧ください。

→ ディスクの再生時に音声が正常に聞こえないときは

- オーディオ機器と接続したときは、「システムメニュー」→「設定」→「基本設定」→「映像・音声設定」→「オーディオDRC」で設定を「スタンダード」にすることをおすすめします。「テレビ」に設定すると、ディスク再生時に音声が正常に聞こえない場合があります。([操作編]の「基本設定」)

→ 「デジタル音声出力」の各項目の設定について

別売りの光デジタルケーブルを使ってオーディオ機器と接続したときは、接続するプロセッサやアンプ、オーディオ機器の種類に応じて、かんたん設定(51ページ)で次の設定を行ってください。

設定する項目	接続する機器			選ぶ内容	設定し直すとき
				HDD/DVD再生時	
オーディオ機器	2chオーディオ機器	———	———	ステレオオーディオ	「システムメニュー」→「設定」→「かんたん設定」→「オーディオ機器との接続」で設定し直します。(51ページ) • 「設定」の「基本設定」→「映像・音声設定」でも設定し直すことができます。 ([操作編]の「基本設定」)
	5.1chオーディオ機器	「AACデコーダー」	内蔵している	「5.1chオーディオ」→「AACデコーダー対応」	
			内蔵していない	「5.1chオーディオ」→「AACデコーダー非対応」	
		「ドルビーデジタルデコーダー」	内蔵している	「5.1chオーディオ」→「ドルビーデジタルデコーダー対応」	
			内蔵していない	「5.1chオーディオ」→「ドルビーデジタルデコーダー非対応」	

正しく設定されていないと、正常な音声が出力されません。

設定に関する補足説明

→ テレビとの接続設定について

付属の映像・音声コードまたは別売りのS映像コードを使用してテレビと接続したときは、かんたん設定(47ページ)で次の設定を行ってください。

設定する項目		選ぶ内容	設定し直すとき
映像端子名		ハイビジョン対応テレビとの接続: 「いいえ/わからない」 映像端子: 「映像入力端子」または「S映像」	「システムメニュー」-「設定」-「かんたん設定」-「テレビとの接続」で設定し直します。(48～50ページ)
テレビのタイプ設定	16:9ワイドテレビ	16:9(ワイド)	
	4:3サイズのテレビ	4:3(ノーマル)	

別売りのD端子ケーブルを使ってD映像入力端子付きテレビと接続したときは、かんたん設定(47ページ)で次の設定を行ってください。

設定する項目		選ぶ内容	設定し直すとき
映像端子設定 (接続したテレビの端子名)	D1、D2端子	ハイビジョン対応テレビとの接続: 「いいえ/わからない」 映像端子: 「D1映像入力端子」または「D2映像入力端子」 (接続したテレビの端子名を選びます)*	「システムメニュー」-「設定」-「かんたん設定」-「テレビとの接続」で設定し直します。(48～50ページ) • 「設定」の「基本設定」-「映像・音声設定」でも設定し直すことができます。 (「操作編」の「基本設定」)
	D3、D4端子	ハイビジョン対応テレビとの接続: 「はい」または「いいえ/わからない」 映像端子: 「D3映像入力端子」または「D4映像入力端子」 (接続したテレビの端子名を選びます)*	
テレビのタイプ設定	16:9ワイドテレビ	16:9(ワイド)	
	4:3サイズのテレビ	4:3(ノーマル)	

- 「D2」～「D4」に設定していて「プログレッシブ設定」を「入」に設定しているときは、DVDを再生したとき、DVDの再生映像が乱れて見える場合があります。「システムメニュー」-「設定」-「視聴・再生設定」-「プログレッシブ設定」を「切」に設定し直してください。(「操作編」の「視聴・再生設定」)

別売りのD-コンポーネント変換ケーブル(RCAピンタイプ)を使ってコンポーネント映像入力端子付きテレビと接続したときは、かんたん設定(47ページ)で次の設定を行ってください。

設定する項目		選ぶ内容	設定し直すとき
映像端子設定 (接続したテレビの端子名)	DVD入力用 Y, Cb, Cr端子	ハイビジョン対応テレビとの接続: 「いいえ/わからない」 映像端子: 「コンポーネント映像入力端子(Y, Cb, Cr)」	「システムメニュー」-「設定」-「かんたん設定」-「テレビとの接続」で設定し直します。(48～50ページ)
	ハイビジョン対応 Y, Cb, Cr端子 Y, Pb/Cb, Pr/Cr端子	ハイビジョン対応テレビとの接続: 「はい」 映像端子: 「コンポーネント映像入力端子(Y, Cb, CrまたはY, Pb/Cb, Pr/Cr)」	
テレビのタイプ設定	16:9ワイドテレビ	16:9(ワイド)	
	4:3サイズのテレビ	4:3(ノーマル)	

- テレビのプログレッシブ対応については、テレビの取扱説明書でご確認ください。
- テレビ映像をコンポーネント映像入力に設定していて、本機の「プログレッシブ設定」を「入」に設定しているときは、DVDを再生したとき、DVDの再生映像が乱れて見える場合があります。「システムメニュー」-「設定」-「視聴・再生設定」-「プログレッシブ設定」を「切」に設定し直してください。(「操作編」の「視聴・再生設定」)

別売りのHDMIケーブルを使ってHDMI入力端子付きテレビと接続したときの解像度とデジタル音声出力の設定は、システムメニューの「設定」(「操作編」の「基本設定」)で行います。

設定する項目	選ぶ内容
「システムメニュー」-「設定」-「基本設定」-「映像・音声設定」-「HDMI解像度」	「自動」「1125i」「750p」「525p」 • 通常は「自動」に設定します。
「システムメニュー」-「設定」-「基本設定」-「映像・音声設定」-「デジタル音声出力」	デジタル放送を視聴するときの音声信号形式 「PCM」「AAC」 DVDを再生するときなどの音声信号形式 「PCM」「ドルビーデジタル」「ドルビーデジタル/DTS」

よくあるお問い合わせ

■ アンテナの接続やチャンネル設定、電子番組表などでよくあるお問い合わせについて説明します。

よくあるお問い合わせ	回答
BSアンテナを接続したが、BS放送が映らない	● BS用アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けかかっていないかなどをご確認ください。 ● アンテナケーブルは「BS・110度CS放送用同軸ケーブル(別売り)」をお使いください。 ● 「システムメニュー」-「設定」-「基本設定」-「デジタル放送受信設定」-「アンテナ電源・アンテナレベル」で下記①②を行ってください。 ① ご自宅にアンテナを単独で設置された場合は、BS・CSアンテナ電源を「電源入」に設定してください。(74ページ) ② アンテナレベル(受信強度)が最高レベル(60以上)になるように、アンテナの向きを調整してください。(75ページ)
地上デジタル放送が映らない、映りが悪い	● お使いのアンテナはUHFアンテナですか。 地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。 ● 地上デジタル放送を視聴するための準備(地域設定)ができているか、ご確認ください。(79・81ページ) ● VHF/UHF用アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けかかっていないかなどをご確認ください。 ● アンテナケーブルは「VHF/UHF用アンテナケーブル(付属または別売り)」をお使いください。 ※状況が改善されない場合は、ご販売店にご相談ください。
地上アナログ放送が映らない、映りが悪い	● 地上アナログ放送のチャンネル設定ができているか、ご確認ください。(56ページ) ● VHF/UHF用アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けかかっていないかなどをご確認ください。 ● アンテナケーブルは「VHF/UHF用アンテナケーブル(付属または別売り)」をお使いください。 ※状況が改善されない場合は、ご販売店にご相談ください。
使わないチャンネルをスキップさせたい	● VHF/UHF(地上アナログ放送)の手動チャンネル設定で、「チャンネルスキップ」を「する」に設定してください。(62ページ)
本機のリモコンでテレビの操作もしたい	● リモコンに、テレビのメーカー指定の設定をしてください。(107ページ)
本機のリモコンで操作すると、他のソニー製DVD機器も動作してしまう	● リモコンモードを変更してください。(105ページ)
テレビ画面にシステムメニューが出ない	● テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を、本機を接続した外部入力(「ビデオ1」など)にしてください。 D映像出力端子またはHDMI出力端子にケーブルを接続したときは… ● S映像出力端子や映像出力端子からはシステムメニューや画面表示などの信号が出力されません。 ● D映像出力端子とHDMI出力端子の両方にケーブルを接続すると、どちらかの端子しか使えません。本体表示窓に「HDMI出力」または「D映像出力」が表示されるまで本体前面のHDMI/D切換ボタンを押し続けて、出力を切り換えてください。
操作の途中で画面が止まり、操作ボタンを受けつけない	● 一度電源を「切」にし、再度電源を入れ直してください。 ● 電源が切れない、または症状が改善しない場合は、本体表示窓に「RESET」が表示されるまで本体の電源ボタンを押し続けてください。(※リセットしても、録画したタイトルや予約情報などはそのまま保存されています。ただし、録画途中や保存前の情報は、残らない場合があります。) ● 本体の電源ボタンを押し続けてリセットしても改善されない場合は、電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。 ※状況が改善されない場合は、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センター(裏表紙)にご相談ください。
本機の電源コードを抜くと、テレビでBS放送が映らなくなる	● 本機の電源コードを抜かずにBS放送をご覧下さい。

よくあるお問い合わせ	回答
電子番組表(Gガイド)が表示されない	電子番組表(Gガイド)は、データを受信しないと表示されません。 • 時計合わせは行いましたか。(54ページ) • かんたん設定または地域番号によるチャンネル設定を行いましたか。(53・57ページ) • 電子番組表(Gガイド)のホスト局(TBS系列の放送局)は正しく設定されていますか。([地上アナログ番組表設定]でホスト局を設定します。[操作編]の[基本設定]) • 電子番組表(Gガイド)データ受信時刻の10分以上前に電源を切りましたか。本機は、電子番組表(Gガイド)データが送信される時刻の10分以上前に電源を切っておかないと番組表データが受信できません。 • 電子番組表(Gガイド)データの受信については70ページをご覧ください。
地上デジタル放送の番組表が表示されない	•  (放送切換)を何回か押して「地上デジタル放送」を選び、 を押したあと、「システムメニュー」→「設定」→「視聴・再生設定」→「チャンネル設定」→「地上デジタルチャンネル設定」→「番組取得設定」で、「する」に設定してください。その後、電源を切ると自動的に番組表を取得します。(放送を受信すると、その放送局の番組表は表示されます。)

索引

あ行

アンテナコネクター	20, 120
アンテナ線	20
アンテナ電源	47, 74
アンテナレベル	75
BS・110度CSデジタル	75
地上デジタル放送	84
映像・音声コード	32
映像設定リセット	49
枝番	81, 89, 90
オーディオ機器	38
オーディオ機器との接続設定	51
音楽用CD	113, 114

か行

外線発信番号	77
カラーボタン	93
かんたん設定	47
乾電池	42
共聴タイプのアンテナ	18
ケーブルテレビ(CATV)	30
混合器	20

さ行

再生できるディスク	113
時刻設定	54
システムメニュー	48
受信チャンネル	59, 61
出力端子	15
手動チャンネル設定	56, 59, 61
取得チャンネル	62
初期化	116
スキップ	89

た行

タイトル	110
地域番号一覧表	65
地域番号設定	56, 58
地域番号早見表	64
地上アナログ設定	53
地上デジタル設定	52
地上デジタル入力端子/出力端子	15
チャプター	110
チャンネルスキップ	59, 62, 91
チャンネル設定	
BS・110度CSデジタル放送	74
地上アナログ放送	56
地上デジタル放送	83
デジタル音声出力端子	14
デジタル放送	
BS・110度CSデジタル放送	72
地上デジタル放送	72, 81
電源プラグ	42
電子番組表(EPG)	86
電子番組表(Gガイド)	70
電話回線	40, 76
電話回線端子	14
電話番号通知設定	78

同軸ケーブルの先端加工	120
トラック	110
ドルビーデジタル	39, 51

な行

入力1/入力2端子	15
ネットワーク設定	99

は行

ハイビジョン対応テレビ	49
光デジタルケーブル	39
微調整	59, 61
ビデオデッキ	36
ビデオモード	112, 117
表示チャンネル	59, 61
ファイナライズ	116
フィーダー線	20
フォーマット	115
付属品	7
プロキシサーバ	102
プロバイダー設定	97
分波器	20
ホームターミナル	31
放送局名	59, 61
ポジション	59, 61
ホスト局	70

ま行

メーカー番号	107
モード選択ボタン	43
モード変換録画	117
文字入力	93
モジュージャック	41

や行

郵便番号設定	80
--------	----

ら行

リモコン	42
リモコンキー	89
リモコン受光部	42
リモコンモード	105
録画・再生できないディスク	114
録画・再生できるディスク	112
録画した番組の構成	110

数字/アルファベット

2chオーディオ機器	38
5.1chオーディオ機器	39
AACデコーダー	51
B-CASカード	72, 73
BS・110度CS入力端子/出力端子	14
CD-R/CD-RW	113
D-コンポーネント変換ケーブル	34
DNS	98, 101
DR録画	111, 117
DTS	39
DVD+R/DVD+RW/DVD-RAM	113
DVD-R/DVD-RW	112, 113
DVD-R DL(2層)	112
DVDビデオ	110, 113
D映像ケーブル	33
D映像出力	35, 44
D映像出力端子	14
EPG	86
F型コネクタ	20, 120
F接栓	23
Gガイド	70
Gコード	63
HDD	111
HDMIケーブル	35
HDMI出力	35, 44
HDMI出力端子	14
IPアドレス	101
LAN接続	99, 102
LAN端子	14
S映像コード	32
VHF/UHF(地上アナログ放送)	56
VHF/UHF入力端子/出力端子	15
VRモード	112, 117

「Q&A」ホームページ

お客様からよくあるお問い合わせと解決法に関する情報を、以下のホームページで確認できます。

<http://www.sony.co.jp/faq/sugoroku/>

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*.....  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は*..... 03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1：修理受付
- 2：使用方法や故障と思われるご相談
- 3：お買物相談
- 4：その他のご相談

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。



2-684-492-02 (1)